

# 年 報

第 33 号

令和元年度  
(2019 年度)

大阪がん循環器病予防センター

年

報

第三十三号

令和元年度(二〇一九年度)

大阪がん循環器病予防センター

## はじめに

令和2年は新型コロナ騒動で始まった。中国武漢で発生したウイルス感染は瞬く間に世界に広がり、多くの国で都市のロックダウンを、また日本では寄港したクルーズ船内の集団感染、そして各地でクラスターの発生を見た。マスコミは発生患者数や重症者数を、また対策の甘さを連日報道し、多くの国民は恐怖に怯えながら予防のためにマスク着用、手洗い、密を避けるためのソーシャルディスタンスに努め始めた。しかし感染拡大は収まらず、3月には第一回の緊急事態宣言を出すに至った。これを受け各市町村はがん検診をストップ、また国の指示を受けた日本ドック学会は検診施設に対して検診中止の通知を出した。コロナ対策としては適切な判断であり、当センターでも4、5月はすべての検診をストップしたところである。6月より検診は再開されたが、この影響は10月頃まで続いた。がん検診は早期発見と早期治療により命を救うことにあるのだが、毎年全国で約40万近くの方ががんで亡くなっていることを思えば、今ではどちらの対策も並行して進めてもらっても問題はなかったのではと思っている。現在第3次緊急事態宣言の真っ最中であり、感染予防の切り札として一刻も早いワクチン接種が行われることを待つばかりだが、この度は検診ストップの指示はなく、検診受診者数も元に戻りつつあり、万全のコロナ対策を講じながら対処しているところである。

一昨年は台風のため講演会は急遽やむなく中止したのだが、昨年はコロナの影響でこれまた中止のやむなきに至った。そこで初めてホームページ上での啓発に切り替えたところ、おおきな反響があり、今後の活動の仕方に大きな示唆を与えている。

当センターのがん検診部門においては、コロナ対策に万全を期しながら精度の高い各種がん検診を実施してきた。さらに精度管理センターを中心に、市町村が実施する検診事業の実態把握に努めるとともに検診率向上と精度管理について助言指導を行っている。

循環器部門については、継続して行っている地域や職域の検診データの解析による効果的な健康指導方法の指導、国保などビックデータの解析など行っている。

この度は令和元年の事業内容を年報として取りまとめた。ご覧いただければ幸いです。

令和3年5月

公益財団法人 大阪府保健医療財団

理事長 高 杉 豊

# 目 次

## 総 括 編

I 概 要	1
1 大阪がん循環器病予防センターの沿革	3
2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ	4
(1) 設 立 趣 旨	4
(2) 沿 革	5
3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ	6
(1) 設 立 趣 旨	6
(2) 沿 革	6
II 管 理	7
1 組 織	9
2 理事会・評議員会等の開催状況	10
3 評議員・役員名簿	11
4 幹部職員・職員数	12
5 主要事業開始日	13
6 施設認定および職員の認定資格	14
7 施 設 概 要	15
8 主要備品一覧表	18
9 会 計	24
III 検診・健診事業	27
1 がん検診事業	28
(1) 胃がん検診	30
(2) 子宮がん検診	32
(3) 乳がん検診	34
(4) 肺がん検診	36
(5) 大腸がん検診	37
2 総合健診	39
3 所外健診	40
4 検 査	41
5 医療機関との連携	43
6 精度管理と研修	44
7 循環器病予防活動	47
IV 広 報 活 動	51
1 概 要	52
2 がん予防キャンペーン大阪2019	52
3 マスメディア	52

4	講 師 派 遣	55
5	そ の 他	59
V	受診者満足度調査	61
1	概 要	62
2	アンケート結果についての対応	63
VI	研究及び研究支援	65
1	概 要	66
2	国などの研究班への参加	66
3	各種役員・委員	68
4	学会及び学術集会主催	70
5	学会発表及び学術講演	70
6	研究論文・著書	72
7	受賞及び表彰	75
8	大阪がん予防対策基金	76

---

資 料 編

---

VII	がん検診結果集計資料	83
1	胃 が ん 検 診	
(1)	胃がん検診実績表（施設検診・車検診号車別）	84
(2)	胃がん検診結果集計表	85
(3)～(6)	胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）	86
(7)	胃がん精検機関別精検受診数	90
(8)	市町村別胃がん検診精密検査機関	91
2	子 宮 が ん 検 診	
(1)	子宮がん検診結果集計表	92
(2)	子宮がん検診結果集計表（年齢階級別）	93
(3)	子宮がん精検機関別精検受診数	94
(4)	市町村別子宮がん検診精密検査機関	95
3	乳 が ん 検 診	
(1)	乳がん検診結果集計表	96
(2)	乳がん検診結果集計表（年齢階級別）	97
(3)	乳がん精検機関別精検受診数	98
(4)	市町村別乳がん検診精密検査機関	99
4	肺 が ん 検 診	
(1)	肺がん検診結果集計表	100
(2)	肺がん検診（CT）結果集計表（性・年齢階級別）	101
(3)	肺がん検診（X線）結果集計表（性・年齢階級別）	102

5 大腸がん検診	
(1) 大腸がん検診結果集計表	103
(2)～(5) 大腸がん検診結果集計表(性・年齢階級別)	104
(6) 大腸がん精検機関別精検受診数	108
(7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関	109
編集後記	110

# 總 括 編



# I 概 要



## 1 大阪がん循環器病予防センターの沿革

大阪がん循環器病予防センターは、大阪がん予防検診センターと大阪府立健康科学センターとの統合により平成24年4月1日に発足致しました。

これら2施設の設立の経緯を辿りますと、両者共に大阪府立成人病センターの設立当初からの事業に関わっています。

大阪府立成人病センターは、大阪府の成人病予防行政の一環として、昭和34年9月に、高血圧、心臓疾患、がんなどのいわゆる成人病の予防、早期発見およびこれらの調査、研究等を行い、府内における成人病に関する医療水準の向上を図るための中核施設として設置されました。(大阪府立成人病センター設立の趣旨より抜粋) この目的のために、成人病センターでは設立当初より循環器集団検診事業を、昭和36年より胃集団検診事業を開始しました。

その後、昭和62年に(財)大阪がん予防検診センターが設立され、胃検診部門の検診車集検、施設集検業務が移管されました。

また、平成13年には大阪府立健康科学センター((財)大阪府保健医療財団)が設立され、循環器集団検診事業が移管されました。

平成24年に両センターが統合され、昭和30年代から続けられてきた、大阪府におけるがん予防事業と循環器病予防事業を、再びひとつの施設で行うこととなりました。

以下に統合までの両施設の沿革を掲載します。

## 2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ

### (1) 設立趣旨

がんによる死亡は、年々増加しており、我が国では昭和56年以降死因順位のトップを占めつづけております。この傾向は人口構造の高齢化に伴い今後ますます増加するものと予想され、がん制圧は我が国のみならず人類共通の課題となっております。

大阪府でも昭和46年以降死因のトップを占め、現在、がんで亡くなる人は年間1万2千名を越え、その数は今なお年々増加しております。また、がんは主として中高年齢層をおそい、その及ぼす影響は、本人や家庭ばかりでなく社会にとっても大きな問題であります。このようなことから、がんに対する住民の不安は大きなものがあり、また、がん対策に強い期待がかけられております。

一方、近年の医療の長足の進歩によって、がんについても早期に発見し適切な治療を受ければ、その殆どは治るようになっております。国においても、老人保健事業としてがん検診の一層積極的な推進を図るほか、対がん10か年総合戦略を策定し、がんの本態解明を目指すなど、がん対策には特に力を入れつつあります。

このような状況に応じ、がん対策をより効果的に推進するためには、地域医療機関、高度医療機関、行政等が機能・特色を生かして一層の連携を図り、がんの早期発見を促し、早期治療に結びつけるとともに、がん対策に関し府内全体の水準の向上を図る必要があります。また、がん予防についての府内全域にわたるきめ細かい対応が必要であります。

このようなことから、社団法人大阪府医師会、大阪府が中心となり、府内におけるがん予防活動の推進体として、財団法人大阪がん予防検診センターの設立を検討してきましたが、さらに大阪市も参画・出捐して法人の発足を図り、がん予防に関する知識の啓発普及、各種のがん検診、細胞検査、専門技術者に対する各種の研修、調査研究、その他がん予防に関する必要な事業を行い、今後の高齢化社会に向けてますます重要となる府民の健康の保持増進と地域保健の向上に寄与しようとするものであります。

(「設立趣意書」より)

## (2) 沿 革

昭和61年10月	財団法人大阪がん予防検診センター 設立認可	平成元年9月	「がん予防キャンペーン大阪'89」 コンピューターによる危険度判定と 保健指導、街頭・店頭キャンペーン、 がん予防テレホンサービスキャブテン システムによるがん予防情報サービス
昭和62年4月	胃がん検診：車検診開始（間接X線 撮影装置10台） 肺がん（所外）検診：4市3町の住民 対象に実施	平成5年2月	「創立5周年記念講演会」開催
4月	大阪がん予防検診センター（建物） を引継ぐ	10月	第47回保健文化賞受賞
5月	細胞診検査、組織診検査業務開始 大阪がん予防検診センター（附属診 療所）開所式典 子宮がん検診：車検診開始（細胞診 検査1台） 三笠宮寛仁親王殿下御夫妻御視察 胃がん検診：施設での集団検診開始 （間接X線撮影装置2台）	平成9年4月	総合健診：施設において大阪市住民 を対象に開始
6月	子宮がん検診：施設での一次、二次 検診開始	6月	総合健診：車検診 職域を対象に 開始（1台）
10月	検診結果のコンピュータ処理開始 胃がん検診：施設での精密検査開始 （胃X線直接撮影装置「FCR 対応」 1台、内視鏡） 乳がん検診：施設での一次検診（視・ 触診）二次検診開始 （乳房X線撮影装置「FCR 対応」1台、 超音波診断装置1台）	11月	施設において禁煙クリニックを開始
11月	「がん予防キャンペーン大阪'87」 街頭・店頭キャンペーン、世界の がん予防ポスター展 「喫煙と健康教育大阪セミナー」開催	平成13年4月	乳がん車検診：超音波検診車をマン モグラフィ検診車に変換、検診開始
昭和63年2月	第1回禁煙コンテスト開催	平成14年6月	肺がん検診：精密検査でヘリカルCT 検 査を開始
3月	昭和62年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（3件）	平成15年3月	がん予防クリニック開設
4月	大腸がん検診：一次検診開始（便潜 血検査）	平成17年4月	肺がん検診：車CT 検診開始 （ヘリカルCT 撮影装置1台、喀痰細 胞診検査）
5月	肺がん検診：施設での一次検診開始 （胸部X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	平成18年4月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（2台）、検診開始 乳がん車検診：デジタルマンモグラ フィ検診車検診開始（1台）
6月	肺がん検診：施設での精密検査開始 （断層X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	6月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
7月	乳がん検診：車検診開始（超音波診 断装置1台）	平成19年3月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
9月	がん危険度セルフチェックキャン ペーン、街頭・店頭キャンペーン、 世界のがん予防ポスター展	平成20年3月	施設検診システム稼働 胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1台）、検診開始
平成元年3月	昭和63年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（10件）	平成22年3月	肺がん車検診：デジタル化に変換 検診開始
		4月	財大阪府保健医療財団と法人統合
		9月	乳がん車検診：乳がん検診強化の為 デジタルマンモグラフィ検診車購入 （1台）
		平成24年4月	大阪がん予防検診センターと大阪 府立健康科学センターとの事業統合 大阪がん予防検診センターから大阪 がん循環器病予防センターに名称 変更
		平成25年3月	公益財団法人への移行認定
		4月	公益財団法人への移行登記
		平成29年2月	日本人間ドック学会の定める人間ド ック健診施設機能評価に認定

### 3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ

#### (1) 設立趣旨

大阪府では、従来から他府県に比較して平均寿命が短く、中高年の死亡率が高いこと、特に循環器病やがんによる死亡率が高いことが行政課題となっています。これらの課題の解決のために、府民の健康度の変化を早期に把握し、生活習慣を改善するとともに環境の改善や必要な医療へ繋げていくことが必要となっています。そのためには、科学的根拠に基づく効果的な健康づくり技法の開発、健康情報の普及啓発、指導者育成、実践活動を行う拠点施設が必要であることが強く認識され、健康科学センターの設置へと繋がりました。

#### (2) 沿革

昭和34年に、脳卒中、心疾患、がん等の成人病の研究および対策を確立するため、大阪府では全国に先駆けて、大阪府立成人病センターをオープンし、死因の第一位で国民病と言われた脳卒中の予防を図るため、調査部集検一科を設置しました。当時、脳卒中の原因はおろか死亡や発生の実態すら十分に把握されていない状況でしたが、旧健康科学センター顧問の小町喜男氏が先駆的に循環器病の予防のための疫学研究と実践活動を開始され、さらに集団検診第一部へと発展した組織で活動を展開され、日本の循環器病予防の疫学研究と対策の進展に先導的な役割を果たされてきました。

平成4年には、「大阪府衛生対策審議会」が成人病予防から治療に至る一貫した体制を整備するため、生活習慣に関する専門施設(大阪府立成人病センター、大阪がん予防検診センター、大阪府立公衆衛生研究所)が集中する森ノ宮地区に府民の健康づくりの拠点施設を整備し、これまで以上に積極的な健康づくり施策を推進していくとした「森ノ宮健康ゾーン構想」を打ち出しました。

平成7年には「大阪府森ノ宮健康ゾーン推進計画書」が自治省「リーディングプロジェクト」先導的な地域づくり対策に対する支援、地域総合整備事業債の適用を受けることとなり、健康づくりの拠点施設の設置の実現性が高まりました。

平成8年には、大阪府が「成人病克服おおさか10か年プラン」を策定し、府民の自主的な健康づくり活動の支援を行うため、その拠点施設として、大阪府立成人病センター集団検診第一部等を基盤に、大阪府立健康科学センターを設置することとしています。

平成13年には、2月議会で設置条例が可決され、3月に本体建物が竣工し、4月には(財)大阪府保健医療財団へ管理運営を委託して、7月に大阪府立健康科学センターとしての事業を開始しました。

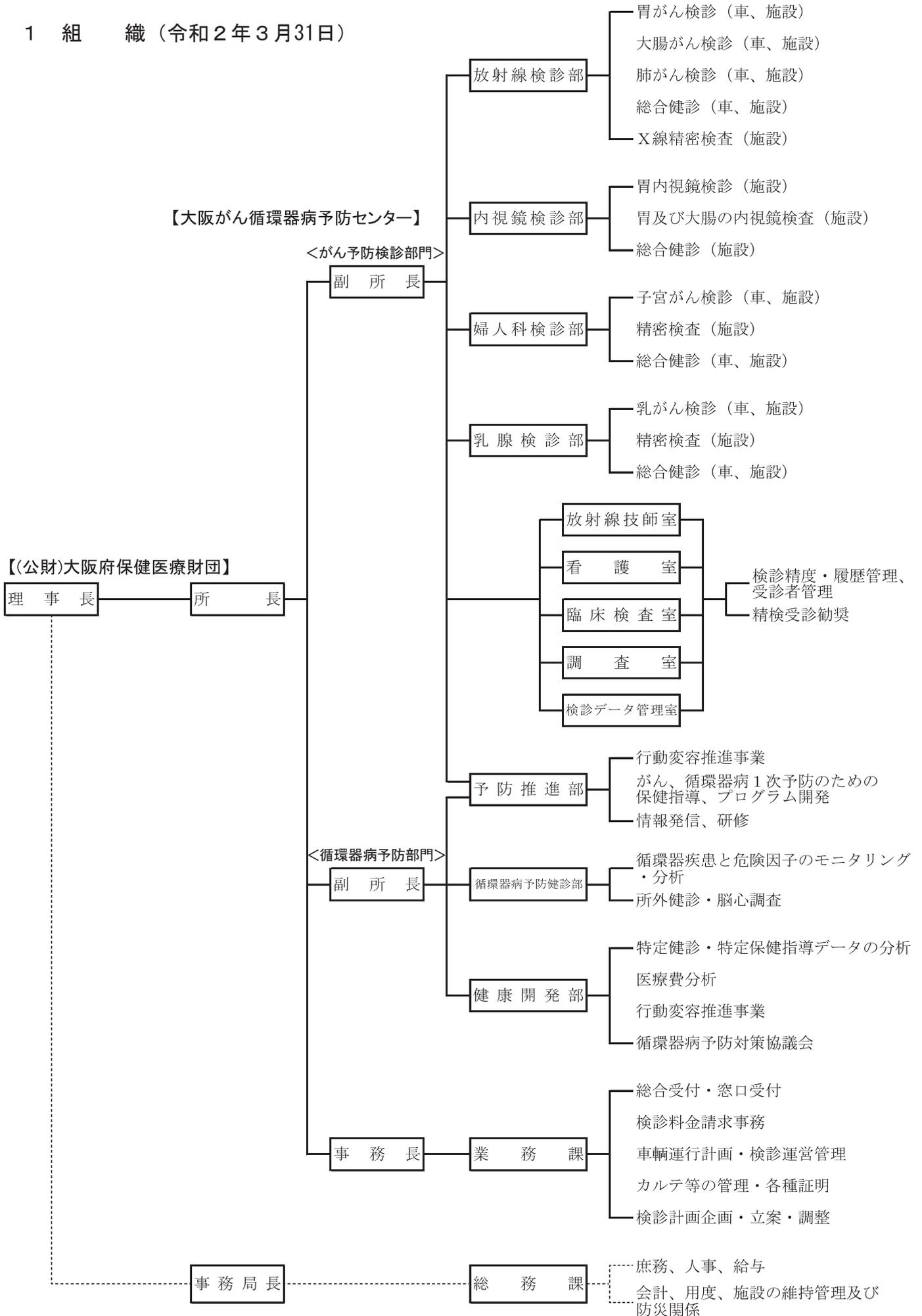
平成20年には、大阪府の財政非常事態宣言で財政再建プログラム素案が出され、大阪府立健康科学センターの廃止が提示されましたが、府民はもとより全国から存続嘆願の署名22,320人が集まり、知事に提出され、廃止案は後退しました。しかし、同プログラム案で、運動フロアでのフィットネス、展示施設の廃止、健診事業の内容精査、(財)大阪がん予防検診センターと統合の方針が出され、さらに府派遣職員の全員引揚げ方針が出された結果、組織・財源の大幅な見直しが行われました。

平成23年9月議会で、平成23年度末で大阪府立健康科学センターの公の施設としては廃止する条例が可決され、平成24年度から、大阪府立健康科学センターと大阪がん予防検診センターの統合による新センターが設置されることとなりました。

# II 管 理



1 組 織 (令和2年3月31日)



## 2 理事会・評議員会等の開催状況

【第301回理事会】 令和元年6月10日

- ・議案
  - 第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算の件
  - 第2号議案 定時評議員会の招集の件

- ・報告事項 平成30年度における職務執行状況について

【第302回理事会】 令和元年7月2日

- ・議案
  - 第1号議案 理事長の選定の件
  - 第2号議案 評議員選定委員会外部委員の選任の件

【第303回理事会】 令和2年3月18日

- ・議案
  - 第1号議案 令和元年度収支予算書補正の件
  - 第2号議案 令和2年度事業計画の件
  - 第3号議案 令和2年度収支予算書の件
  - 第4号議案 大阪がん予防対策基金募集及び運営要領の改正の件
  - 第5号議案 臨時評議員会の招集の件

- ・報告事項 令和元年度における職務執行状況について

【令和元年度定時評議員会】 令和元年6月26日

- ・議案
  - 第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算の件
  - 第2号議案 任期満了に伴う理事の選任の件

- ・報告事項 第301回理事会の概要について

【令和元年度臨時評議員会】 令和2年3月27日

- ・議案
  - 第1号議案 令和元年度収支予算書補正の件
  - 第2号議案 令和2年度事業計画書の件
  - 第3号議案 令和2年度収支予算書の件

- ・報告事項
  - (1) 第303回理事会の概要について
  - (2) 令和元年度の経営目標達成状況等について

### 3 評議員・役員名簿

[評議員名簿]

(令和2年3月31日現在)

名 称	氏 名	摘 要
評 議 員	磯 博 康	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	太 田 謙 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 会長
評 議 員	佐々木 洋	一般社団法人 大阪府病院協会 会長
評 議 員	祖父江 友 孝	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	藤 井 睦 子	大阪府健康医療部長
評 議 員	茂 松 茂 人	一般社団法人 大阪府医師会 会長
評 議 員	山 口 浩 明	大阪市健康局長
評 議 員	藤 垣 哲 彦	一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長
評 議 員	松 浦 成 昭	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 総長

[役員名簿]

(令和2年3月31日現在)

名 称	氏 名	所 属
理 事 長	高 杉 豊	公益財団法人 大阪府保健医療財団
理 事	伊 藤 壽 記	大阪がん循環器病予防センター 所長
理 事	福 島 俊 也	大阪府医療監
理 事	中 出 美 樹	大阪市健康局健康推進部長
理 事	長 井 詳 昭	公益財団法人 大阪対がん協会 専務理事
理 事	北 村 良 夫	一般社団法人 大阪府医師会 理事
理 事	高 田 俊 明	一般社団法人 大阪府病院協会 常務理事
理 事	西 洋 壽	一般社団法人 大阪府薬剤師会 副会長
理 事	吉 岡 慎 郎	一般社団法人 大阪府歯科医師会 常務理事
監 事	蒲 生 武 志	公認会計士
監 事	南 部 英 幸	元大阪府会計管理者

#### 4 幹部職員・職員数

[幹部職員]

(令和2年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
所 長	伊 藤 壽 記
副 所 長 兼 乳 線 検 診 部 長 兼 検 診 デ ー タ 管 理 室 長	和 田 公 子
副 所 長 兼 循 環 器 病 予 防 健 診 部 長	木 山 昌 彦
婦 人 科 検 診 部 長	杉 田 道 夫
放 射 線 検 診 部 長 兼 総 合 健 診 部 長	欠 員
内 視 鏡 検 診 部 長	石 田 哲 士
予 防 推 進 部 長	岡 田 武 夫
健 康 開 発 部 長	清 水 悠 路
放 射 線 技 師 室 長	三 浦 一 利
看 護 長	前 田 智 聰
臨 床 検 査 室 長	田 路 英 作
調 査 室 長	池 宮 城 賀 恵 子
事 務 長	豊 藏 定

[常勤職員数 (現員)]

(令和2年3月31日現在)

職 種	職 員 数
医 師	8
診 療 放 射 線 技 師	11
臨 床 検 査 技 師	4
看 護 師	14
保 健 師	4
シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	1
事 務	9
運 転 手	2
合 計	53

## 5 主要事業開始日

事業区分		開始日	
胃がん検診	車検診	昭和62年 4月 1日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 5月19日
		精密検査	昭和62年10月 5日
子宮がん検診	車検診	昭和62年 5月12日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 6月 2日
		精密検診	昭和62年 6月 2日
乳がん検診	車検診	昭和63年 7月 4日	
	施設検診	一次検診	昭和62年10月 8日
		精密検診	昭和62年10月 8日
肺がん検診	車検診(胸部X線車)		平成11年 4月16日
	車検診(ヘリカルCT車)		平成17年 4月11日
	施設検診	一次検診	昭和63年 5月11日
		精密検査	昭和63年 6月14日
大腸がん検診	一次検診(郵送方式)		自 昭和63年 4月 1日 至 平成 4年 3月31日
	車検診(胃と同時検診)		平成 4年 6月10日
	施設検診	一次検診	平成 4年 4月 1日
		精密検査	平成 4年 7月13日
総合健診	車検診	平成10年 6月 4日	
	施設検診	一次検診	平成 9年 4月 1日
		精密検査	平成10年 6月25日
特定保健指導		平成21年 4月 1日	
細胞診・組織診検査		昭和62年 5月 6日	

## 6 施設認定および職員の認定資格

### (1) 施設認定

- ・日本臨床細胞学会 細胞診認定施設
- ・日本臨床細胞学会 教育研修認定施設
- ・日本消化器がん検診学会 認定指導施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
マンモグラフィ検診施設画像認定
- ・日本医師会臨床検査精度管理調査
- ・日本臨床細胞学会コントロールサーベイ
- ・全国労働衛生団体連合会  
腹部超音波検査精度管理調査優判定
- ・CDC/CRMLN による総コレステロール等の  
国際標準化プログラム合格機関
- ・日本人間ドック学会 機能評価認定施設

### (2) 職員の保有する認定資格

#### 【医師】

##### (医療法に基づく広告可能な専門医資格)

- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本消化器病学会 消化器病専門医
- ・日本超音波医学会 超音波専門医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科専門医
- ・日本産科婦人科学会 産婦人科専門医

##### (その他の専門資格)

- ・日本外科学会 外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医
- ・日本移植学会 認定医
- ・日本統合医療学会 統合医療指導医
- ・日本補完代替医療学会 補完代替医療学識医
- ・日本内科学会 認定内科医・指導医
- ・日本臨床内科医 認定医
- ・日本プライマリケア学会 認定医・指導医
- ・日本医学放射線学会 放射線診断専門医
- ・日本超音波医学会 指導医
- ・日本消化器内視鏡学会 指導医
- ・日本消化器がん検診学会 認定医・指導医  
認定医検診学会認定医 (肝胆膵)
- ・日本がん検診診断学会認定医
- ・日本人間ドック学会  
人間ドック認定医・専門医・指導医
- ・日本乳癌学会 認定医
- ・社会医学系専門医協会 社会医学系指導医・専門医
- ・日本公衆衛生学会 認定専門家
- ・日本医療情報学会医療情報技師育成部会認定  
上級医療情報技師育成指導者  
医療情報技師育成指導者
- ・日本医師会 認定産業医
- ・日本医師会 認定健康スポーツ医

- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
マンモグラフィ読影認定医師  
超音波認定医師
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・肺がんCT検診認定機構  
肺がんCT検診認定医師
- ・J A B T S (乳房超音波認定)
- ・International Academy of Cytology Fellow (FIAC)

#### 【診療放射線技師】

- ・日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構  
検診マンモグラフィ撮影技術認定
- ・日本診療放射線技師会  
ADVANCED R. T. (アドバンスド診療放射線技師)  
SENIOR R. T. (シニア診療放射線技師)  
MASTER R. T. (マスター診療放射線技師)
- ・肺がんCT検診認定機構  
肺がんCT検診認定技師
- ・日本消化器がん検診精度管理評価機構  
胃がんX線検診読影部門B資格検定
- ・ピンクリボンアドバイザー
- ・業務拡大に伴う統一講習会認定

#### 【臨床検査技師】

- ・日本臨床細胞学会 国際細胞検査士
- ・日本臨床細胞学会 細胞検査士
- ・日本超音波医学会 超音波検査士  
(健診・循環器・体表臓器・消化器)
- ・日本臨床検査同学院 二級臨床検査士 (病理)
- ・J A B T S (乳房超音波認定)

#### 【看護師】

- ・日本消化器内視鏡学会 認定消化器内視鏡技師
- ・第一種 衛生管理者
- ・介護支援専門員
- ・ピンクリボンアドバイザー
- ・3学会合同呼吸療法認定士

(令和2年3月 現在)

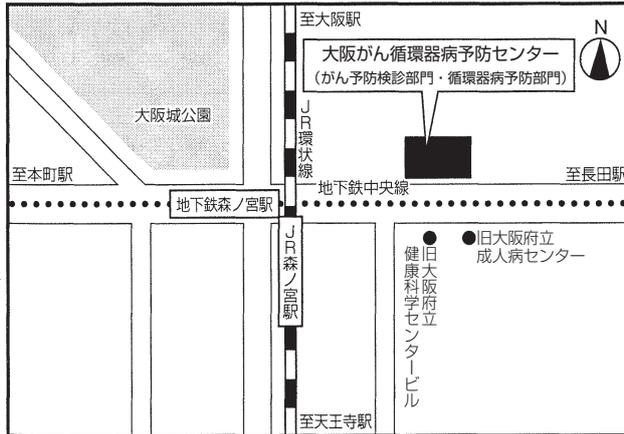
## 7 施設概要

### ○ がん予防検診部門・循環器病予防部門

- 所在地 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号
- 設立 昭和61年10月
- 階数 地下1階 地上6階—一部7階
- 面積 2,178.51㎡
- 延床面積 5,208.57㎡（車庫棟含む）

施設配置図

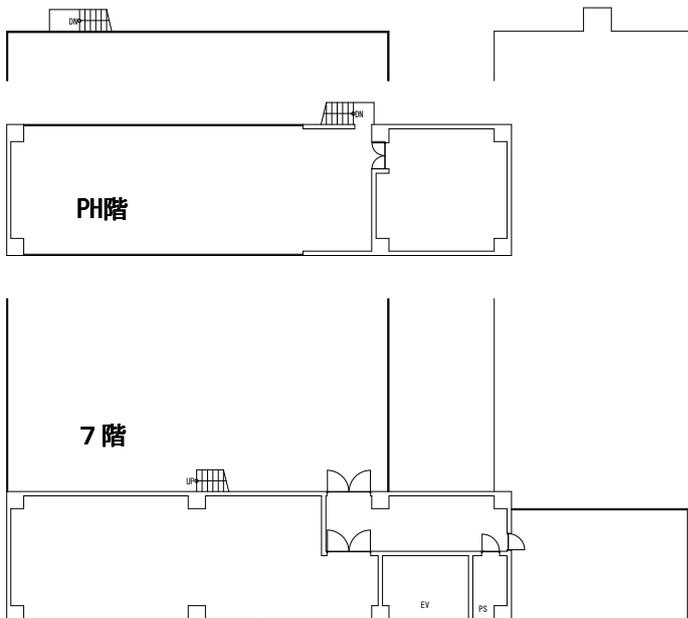
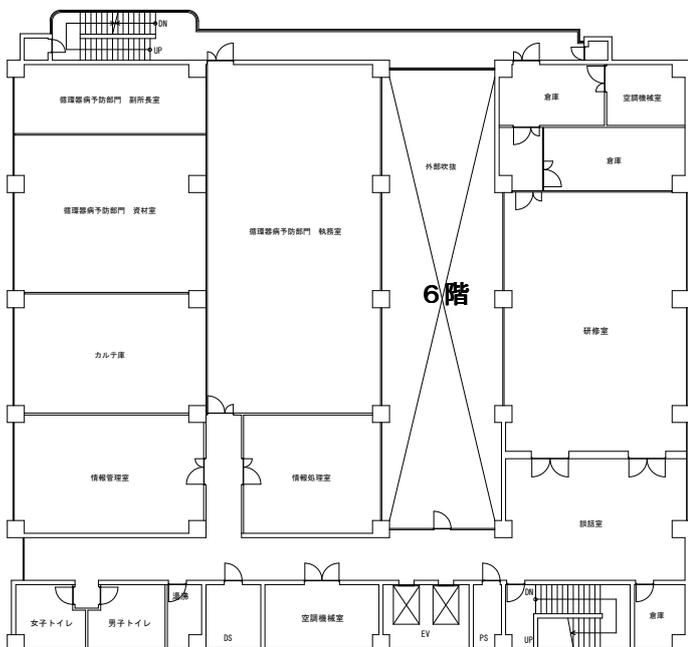
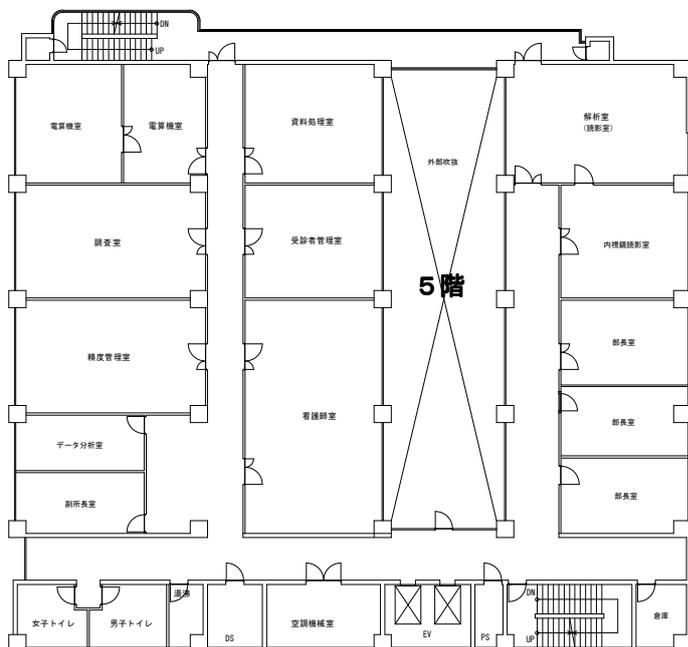
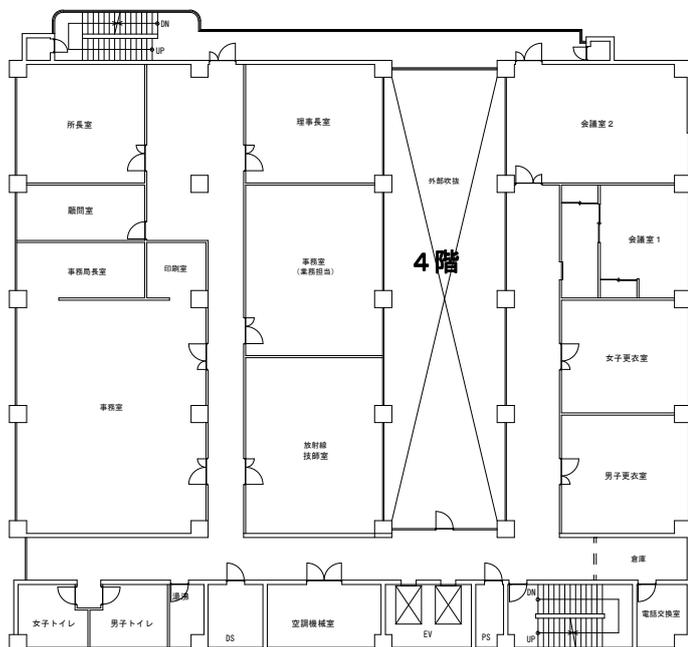
7階	機械室
6階	循環器病予防部門（副所長室・資材室・執務室）・情報管理室・情報処理室・カルテ室・研修室
5階	副所長室・部長室・看護師室・読影室・電算機室・調査室・検診データ管理室
4階	事務室・理事長室・所長室・技師室・会議室
3階	総合健診室・標本作製室・部長室
2階	X線撮影室・内視鏡室・診察室
1階	ロビー・待合室・受付・診察室・問診室
B1階	機械室



※ JR環状線「森ノ宮」下車 北出口

※ 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車④号出口東へ徒歩2分





## 8 主要備品一覧表

### 主要備品

[1 F 婦人科及び診察室関連]

(令和2年3月31日現在)

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
心電計	1	フクダエム・イー 503FB	S62年5月
ヒステロスコープ	一式	トーイツ HS-401	〃
ヒステロファイバースコープ (専用カメラ付、専用光源付)	1	富士写真 HYS-F FG-110H FIL-FS	〃
ワイサップコアグレーター	一式	ワイサップ社	S62年6月
吊下式アーム型ステレオколポスコープ・側視鏡	1	トーイツ CP-600	H8年2月
医事会計システム	1	富士通ビジネスシステム HOPE/ST-3230	H8年9月
全自動身長体重計	1	ウエダ製作所 ユーウェル2	H10年3月
吊下式アーム型ステレオколポスコープ・側視鏡	1	トーイツ CP-600	H11年12月
超音波診断装置	1	東芝 ECCOCEE SSA-340白黒	H12年3月
超音波診断装置 (車搭載用)	1	東芝 DYRO-US	H13年3月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 SPA-750型	H17年3月
電動検診台	1	トーイツ セリーナ800R	〃
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-371E	H18年3月
電動検診台	1	タカラベルモント DG-7000E	〃
超音波診断装置	1	持田シーメンス C-3000	H19年1月
全自動血圧計	2	エルクエスト UDEX-Twin タイプII	H20年1月
磁気カードリーダー	1	富士通 3150R-USB	H22年7月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-100N	H23年4月
AED装置	1	ハートスター FR2	H25年2月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-WS110	H27年1月
колポスコープ	1	オリンパス コルポスコープ OCS-500	H27年12月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-271E	H28年2月
婦人科半導体レーザー	1	飛鳥メディカル社製 ADL-20	H28年3月
超音波診断装置	一式	シーメンス社製 SONOVISTA FXRE	H30年3月
OCRスキャナー	1	富士通(株) fi-7480	R1年9月
肺精検用モニター	一式	富士フイルム社製 3M2面参照用ビューワ等	R1年12月
小型採血管準備装置	1	テクノメディカ BC-ROB007	R2年3月

## 〔2 F レントゲン室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
胸部ファントム	1	アルダーソン社 XA-209型	S62年 5月
ファントム (胃)	1	BMU-1型	〃
胸部X線撮影装置	1	東芝メディカル KX0-50F	S63年 4月
自動現像機	1	富士フィルムメディカル CEPROS-M2	H11年 4月
X線出力アナライザー	1	ビクトリン社 6000B型 NERO	H15年 4月
線量計 (500型プローブ3本)	1	ビクトリン社 ラドコン線量計	〃
内臓脂肪CTソフト	1	東芝メディカル Fat Scan	H19年 3月
ポータブル濃度計	1	伊原テクニク TM-S	H19年 6月
骨密度連携システム	1	富士通	H22年 3月
乳房X線撮影装置	一式	富士メディカルシステム アミュレット	H22年 3月
富士医用画像情報システム	1	富士フィルムメディカル SYNAPSE STD 一式	H24年 3月
放射線管理システム	一式	DELL	〃
胃X線TVデジタル透視撮影装置 (6TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C 形	H25年 3月
線量計 ACCU-GOLD	1	Radcal 社	〃
線量計 (イオンビームチェンバー)	1	Radcal 社 10X6-6型	〃
給茶器	1	東芝製 HTP-360 MIPB-0	H25年 7月
胃X線TVデジタル透視撮影装置 (5TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C 形	H25年 9月
全身用X線CT装置	1	シーメンス・ジャパン製 ハイエンド画像診断装置	H26年 3月
線量計 (CTDI 用チェンバー)	1	Radcal 社 10X6-3CT 型	〃
線量計 (マンモ用チェンバー)	1	Radcal 社 10X6-6M 型	H26年12月
医用X線高電圧装置	一式	キヤノン社製 KX0-50SS	H30年 3月
超音波骨密度測定装置	2	日立製作所製 AOS-100SA	H30年 9月
島津 FPD 搭載アイト方式 X線 TV システム	1	島津製作所製 SONIALVISION	H31年 4月

## 〔2 F 内視鏡室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
内視鏡検診台	4	タカラベルモント TR-83	S62年 9月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260	H15年 4月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H15年 4月
カラービデオプリンター	1	オリンパス OEP-3	H16年 4月
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H16年4月
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H18年1月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260N	H19年3月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H19年4月
内視鏡用汎用トロリー	1	オリンパス WM-NP-1	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
カラービデオプリンター	1	オリンパス OEP-3	H19年9月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H20年3月
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス GIF-P260NS	H22年3月
内視鏡ビデオスコープ	2	オリンパス GIF-PQ260	〃
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス PCF-Q260AI	〃
医療用画像情報システム(内視鏡)	5	オリンパス IT-1	〃
医療用吸引装置	1	オリンパス KV-5	H24年10月
AED装置	1	ハートスタート FR2	H25年2月
ベッドサイドモニター	1	日本光電 PVN-2701	H28年6月
内視鏡用DICOMコンバータ	4	富士フイルム社製 VT-318D	H30年3月

[3F検査・総合検診室関連]

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
ギムザ染色装置(細)	1	サクラ精機 RSG-50	S62年5月
クリオスタット	1	ライヘルト社 クライオカットE	〃
顕微鏡カラーテレビシステム	一式	ニコン	〃
顕微鏡側光装置	1	ニコン P-1システム	〃
自動現像機	1	甲南電気 オートデベ6型	〃
純水装置	1	オルガノ オスモクリア R0-100	〃
生物顕微鏡	13	ニコン	〃
マルチティーチングマイクロスコープ	2	ニコン XB-MTH-21	〃
落射蛍光・位相差顕微鏡	一式	ニコン FX-1	〃
落射蛍光システムパソコン	一式	PC-9801 VX41	S63年3月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
ファインビューア	1	富士レビオ 300800	H4年5月
ファステック	1	富士レビオ 104	H6年6月
マイコン心電計	1	フクダ電子 FCP-4720	H10年3月
尿自動分析装置	1	栄研化学 US-2100	H10年5月
デジタルフィルムレコーダ（富士通パソコン付）	1	ラサー グラフィックス LFR Plus	H13年4月
パラフィン包埋ブロック作成装置	1	千代田製作所 ティシュー・テック TECS	H13年9月
細胞診業務支援システム	1	ニコインステック	H14年2月
小型高圧蒸気滅菌器	1	サクラ ACV-3023	H15年6月
電子スピロメーター	1	ミナト医科学 システム7	H17年3月
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-F	H18年3月
遺伝子増幅装置	1	アプライドバイオシステム Gene Amp PCR System9700	H19年10月
オージオメーター	1	リオン AA-S6	〃
ゲル読影装置	1	アトーププリントグラフ AE-6932CXCF-U	〃
デジタル眼底カメラ	1	キャノン CR-1	H20年12月
乳腺超音波装置	1	日立メディコ EUB-7500	H21年3月
乳腺比較読影システム	1	GE 横河メディカル Prefetch	〃
腹部エコー	1	東芝メディカル Nemio XG	H21年5月
医療用画像情報システム（腹部エコー2台）	2	富士フィルムメディカル synapse	H22年3月
デジタルマンモ装置	1	富士フィルムメディカル AMULET	〃
乳腺超音波カードリーダー	1	日立メディコ PDC-816	〃
腹部エコー	2	GEHealthcare LOGIO P5	〃
乳腺超音波診断装置	1	日立メディコ EVB-7500	H22年11月
自動染色封入装置	1	グリーンホスピタルサプライ	H23年3月
バイオメディカルフリーザー	1	エルクコーポレーション MDF-U730M	〃
薬用冷蔵ショーケース	1	サンヨー MDF-U730M	H23年9月
心電図サーバー	1	フクダ電子 EFS-8000	H24年3月
超音波ピペット洗浄機	1	シャープマニュファクチャリング UT-55	〃
臨床化学自動分析装置	1	東芝メディカルシステムズ TBA-2000FR	〃
マンモグラフィ専用パソコン	1	DELL optiplex990 ミニタワー	H25年1月
便潜血測定装置 OC センサー DIANA250	1	栄研化学 OC センサー DIANA250タイプ	H25年3月
AED装置	1	ハートスター FR2	H25年6月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	一式	GE ヘルスケアジャパン LOJIQE9	H25年9月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	1	GE ヘルスケアジャパン LOJIQe	〃

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
ニコン顕微鏡	1	ニコン エクリプス Ci-L	H27年1月
椅子型電動診察台	1	タカラベルモント製 イクスフィール	〃
解析付心電計	1	フクダ電子 FCP-8800	H27年3月
密閉式自動固定包埋装置	1	サクラファインテック ETP ティッシュ・テック	〃
自動視力計	1	ニデック社製 NV-350-N	H27年6月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 F1-271E	H28年2月
オートスパイロメータシステム	一式	メディセオ S7WNRD	H28年4月
全自動身長体重計	1	エー・アンド・ディ AD-6228A	H29年1月
デジタル無散眼底カメラ	一式	キャノン社製 CR-2 AF	H30年3月
オージオメーター	1	リオン AA-58	H30年3月
超音波診断装置	1	キャノン製 腹部エコー Xario100Platinum	H31年1月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	〃
バードマグナム（自動生検装置）	1	㈱メディコン製 MG1522	R1年5月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	R2年3月

〔4 F 事務局関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
コピー機	1	リコー MP6000RC	H22年3月
PCA 法人給与経理システム	1	NEC デスクトップ MKL36/B-5	R1年9月
リソグラフ	1	理想科学工業製 オルフィス FW2230	H31年4月

〔5 F 検診解析及び調査部関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置年月日
次期基本システム（基本設計）	一式	富士通	H20年3月
総合検診システム	一式	富士通	H24年3月
検診システム（追加分）	一式	富士通	H25年3月
健診システム（健太くん）	一式	ミエデン Win10移行作業	R2年3月

[検 診 車]

検 診 車 名	メ ー カ ー ・ 型 式	取得年月日
デジタル胸部X線検診車(すこやか1号) (大阪府から無償貸与)	日野・KC-RR1JJAA	H11年3月24日
肺がんヘリカルCT検診車 (大阪府から無償貸与)	日野・KS-FWIEXWG 改	H17年1月26日
デジタルマンモグラフィ検診車(1号車)	日野・ADG-FE8JPWG	H18年2月6日
デジタル胃X線検診車(1号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月24日
デジタル胃X線検診車(2号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月29日
デジタル胃X線検診車(12号車): 岸和田 HC	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年6月7日
デジタル胃X線検診車(8号車): 八尾 HC	日野・PB-RR7JJAA	H19年3月26日
婦人科検診車	日野・PB-RR7JJA	H19年3月26日
デジタルマンモグラフィ検診車(2号車)	日野・BDG-FE8JPWG	H22年9月30日

## 9 会 計

### 貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
流動資産合計	258,192,572	21,749,570
2. 固定資産		
(1)基本財産		
基本財産合計	22,000,000	0
(2)特定資産		
特定資産合計	494,464,371	0
(3)その他固定資産		
その他固定資産合計	302,574,978	2
固定資産合計	819,039,349	2
資 産 合 計	1,077,231,921	21,749,572
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
流動負債合計	170,901,377	18,810,439
2. 固定負債		
固定負債合計	512,859,949	0
負 債 合 計	683,761,326	18,810,439
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 指定正味財産	243,935,130	0
(うち基本財産への充当額)	( 22,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 221,935,130)	( 0)
2. 一般正味財産	149,535,465	2,939,133
(うち特定資産への充当額)	( 69,529,241)	( 0)
正味財産合計	393,470,595	2,939,133
負債及び正味財産合計	1,077,231,921	21,749,572

# 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益	290,400	0
特定資産運用益	2,780,402	0
事業収益	861,161,449	36,148,586
受託事業収益	62,170,467	95,599,859
受取補助金等	0	0
雑収益	7,257,881	96
経常収益計	933,660,599	131,748,541
(2) 経常費用		
事業費	932,440,540	128,741,675
経常費用計	932,440,540	128,741,675
当期経常増減額	1,220,059	3,006,866
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	552,189	0
(2) 経常外費用		
有形固定資産除却損	3,367	0
指定正味財産への繰入金	0	0
経常外費用計	3,367	0
当期経常外増減額	548,822	0
当期一般正味財産増減額	1,768,881	3,006,866
一般正味財産期首残高	147,766,584	△67,733
一般正味財産期末残高	149,535,465	2,939,133
II 指定正味財産増減の部		
受取寄付金	12,000	0
一般正味財産からの繰入金	0	0
当期指定正味財産増減額	12,000	0
指定正味財産期首残高	243,923,130	0
指定正味財産期末残高	243,935,130	0
III 正味財産期末残高	393,470,595	2,939,133



### Ⅲ 検診・健診事業

## 1 がん検診事業

当センターで実施している検診には、市町村や企業等からの依頼を受け、検診車を派遣して実施する巡回検診（以下「車検診」という。）と、施設内において行う検診がある。

車検診は、胃がん検診車4台、子宮がん検診車1台、乳がんマンモグラフィ検診車2台、胸部エックス線検診車1台で実施している。

施設検診は、胃がん検診（一次検診、精密検査）、子宮がん検診（一次検診、精密検査）、乳がん検診（一次検診、精密検査）、肺がん検診（一次検診、精密検査）、大腸がん検診（一次検診、精密検査）を実施している。

表1に検診項目別の検査件数を示した。一次検診の結果、要精密検査と判定された者については本人の希望に沿い地域の医療機関を紹介し、又は当センターにおいて精密検査を実施している。

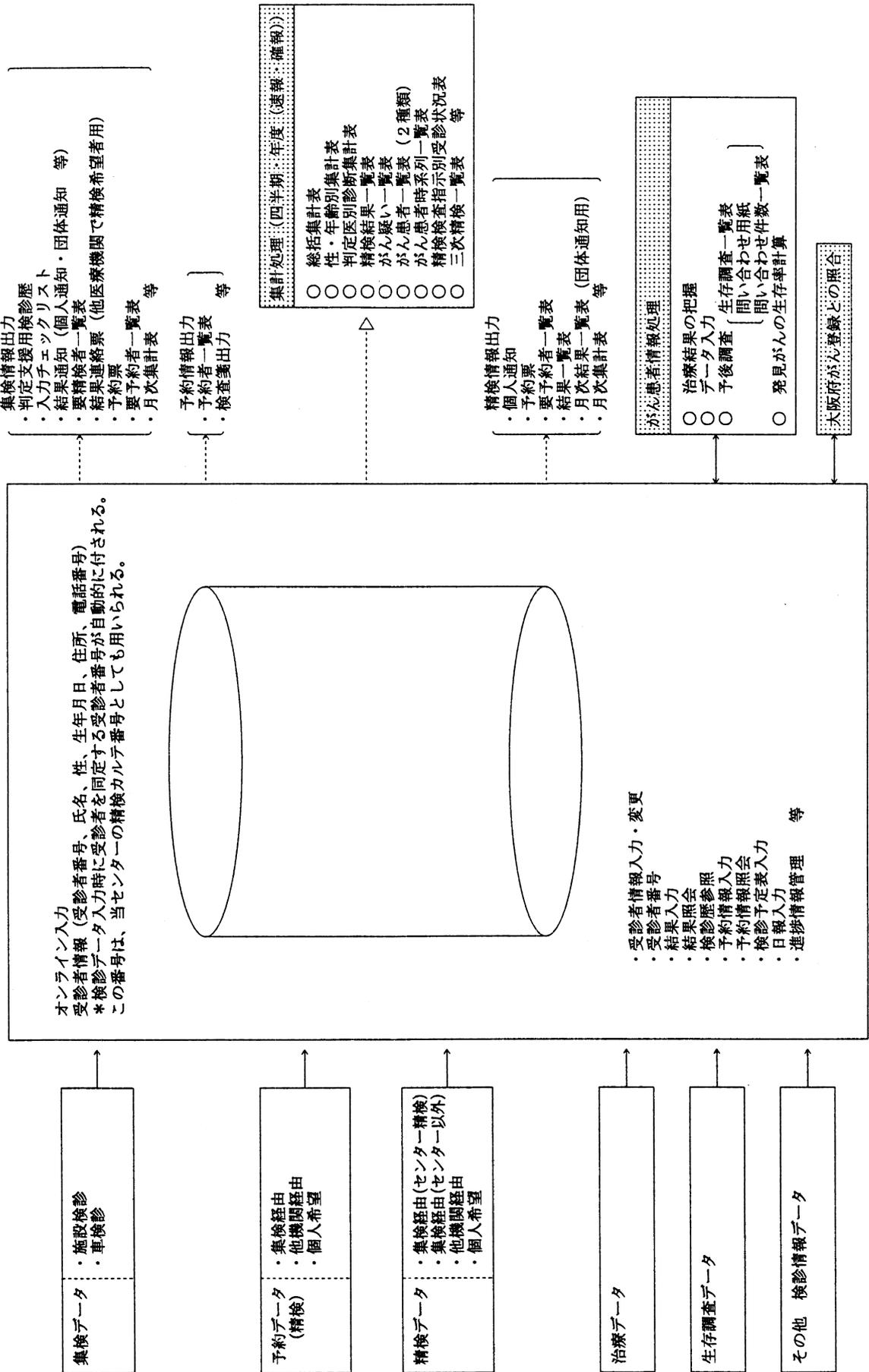
なお、当センターの精密検査において治療が必要と診断された者については、当センターは治療設備をもたない検診専門機関であるため、本人や家族と相談した上で適切な医療機関を紹介している。

受診者のデータの管理や結果通知・集計等の作業、並びに受診団体と協力しての精検未受診者に対する受診勧奨や、がん患者の追跡調査等にはコンピュータを活用している。図1に胃がん検診を例としてコンピュータ処理の概要を示した。

表1 検査件数

検 診 項 目			検 査 件 数 (延べ数)	
			令和元年度	前 年 度
胃 がん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	27,100	30,640
		施 設 検 診	11,038	11,094
	精 密 検 査		2,598	3,073
	小 計		40,736	44,807
子 宮 がん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	10,677	10,074
		施 設 検 診	6,537	6,186
	精 密 検 査		1,403	1,310
	小 計		18,617	17,570
乳 がん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	13,486	14,053
		施 設 検 診	7,830	7,509
	精 密 検 査		2,678	2,530
	小 計		23,994	24,092
肺 がん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	13,348	15,145
		施 設 検 診	9,669	9,339
	精 密 検 査		1,693	1,505
	小 計		24,710	25,989
大 腸 がん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	24,255	25,007
		施 設 検 診	13,420	13,116
	精 密 検 査		11	27
	小 計		37,686	38,150
が ん 検 診 合 計			145,743	150,608

図1. 大阪がん循環器病予防センターのがん検診情報処理の概要（胃がん検診を例として）



## (1) 胃がん検診

胃がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（主としてX線8枚撮影によるスクリーニング）と精密検査（胃X線16枚撮影並びに胃内視鏡検査及び生検）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

令和元年度の受診者総数は38,138人、車検診受診者数27,100人、施設検診受診者数11,038人であった。

車検診は、胃がん検診車4台を保有し、当センターの敷地内に4台（1, 2, 8, 12号車）を配置して、主に近隣の地域の市町村や職域等の集団検診を実施している。

令和元年度の稼働回数は検診車4台合計で延べ682回であった。

表2に車検診、施設検診別の胃がん検診の成績を示した（月毎の実績は資料1(1)、P83を参照）。

令和元年度受診者38,138人のうち、要精密検査と判定された者は2,132人で、要精検率は5.6%であった。精検受診率は87.9%、発見胃がん患者は40人、うち早期胃がんは28人、発見率は、受診数に対して各々0.10%、0.07%であった。

当センターでは、昭和62年度開設当初より検診の胃X線間接写真の読影・判定に異時ダブルチェ

ックを行ってきた。2度目の読影医師は、1度目の読影医師が「異常なし」と判定したものについてその情報を知った上で読影し「要精検」とすべきものを追加する異時ダブルチェック方式を採用している。

令和元年度胃X線検査での要精検数は2,104人であったが、このうち1,500人が1度目の読影で要精検と判定され、604人が2度目の読影で要精検と判定されたものであった。

検診発見胃がん38人のうち2度目の読影でチェックしたものは8人、このうち早期胃がんは26人であった（資料1(2)の末尾、P85）。

表3には検診対象別の胃がん検診の成績を示した。府内市町村が実施主体となり、地域住民を対象として行った胃がん検診数は27市町村の27,469人であった（資料1(2)、P85）。

これに対し、事業所等職域を対象として行った胃がん検診数は144団体7,961人、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った胃がん検診数は145人であった（資料1(2)、P85）。

当センターで精検を受診する精検実施割合は地域で11.7%、職域で46.5%、総計では16.1%を占めていた（資料1(7)、(8)、P90、P91）。

表2 胃がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分	受 診 者 数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		胃 が ん		う ち 早 期 が ん		
		人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車 検 診	1号車	7,616	481	6.3	430	89.4	11	0.14	3	0.03
	2号車	7,619	516	6.8	449	87.0	8	0.11	7	0.09
	8号車	6,591	459	7.0	414	90.2	12	0.18	9	0.14
	12号車	5,274	406	7.7	354	87.2	5	0.09	3	0.06
施設検診	11,038	270	2.4	228	84.4	4	0.04	3	0.03	
合 計	38,138	2,132	5.6	1,875	87.9	40	0.10	28	0.07	
前年度計	41,734	3,032	7.3	2,735	90.2	75	0.18	56	0.13	

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 施設検診には、内視鏡検診分を含む。

表3 胃がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受 診 者 数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		胃 が ん		う ち 早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和元年度	27,469	1,839	6.7	1,626	88.4	37	0.13	25	0.09
	前年度	30,709	2,395	7.8	2,174	90.8	68	0.22	51	0.17
職 域	令和元年度	7,961	261	3.3	222	85.1	1	0.01	1	0.01
	前年度	8,738	608	7.0	532	87.5	3	0.03	1	0.01
検 診 友の会等	令和元年度	145	4	2.8	3	75.0	0	0	0	0
	前年度	161	13	8.1	13	100.0	0	0	0	0

注) 表2に同じ。大阪市個別検診及び総合健診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、当センター実施の集団検診の要精検者、並びに他の集検機関及び医療機関からの紹介者を対象に実施している。

表4に胃がん検診の精密検査件数を示した。X線直接撮影による検査は19件、内視鏡による検査

は2,579件、この内生検による病理組織診検査は218件であった。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの紹介者は286人であった(表5)。

表4 胃がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和元年度	前 年 度
X 線 直 接 撮 影	19	33
内 視 鏡 (うち、生検実施)	2,579 (218)	3,270 (230)
合 計 (うち、生検実施)	2,598 (218)	3,303 (230)

表5 胃がん 精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	胃 が ん (うち早期が ん)	胃 腺 腫 胃ポリープ	胃 潰 瘍	そ の 他	異 常 な し
集検機関	56	0(0)	9	4	36	7
医師紹介	8	0(0)	1	0	6	1
個 人	222	2(2)	47	2	163	8
合 計	286	2(2)	57	6	205	16

## (2) 子宮がん検診

子宮がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（細胞診によるスクリーニング等）と精密検査（細胞診、組織診、コルポスコピー等）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

車検診は、子宮がん検診車1台を保有し、大阪府内全域の市町村や職域等の検診を実施している。令和元年度の稼働回数は延べ186回であった。

表7に車検診、施設検診別の子宮がん検診の成績を示した。令和元年度の受診者数は車検診の頸部がん検診が10,677人、施設における頸部がん検診受診者が6,523人（うち125人が体がん検診も受診）であった。

当センターで実施した一次検診受診者総数は頸部がん検診17,200人、体部がん検診125人で、この内要精密検査（二次検診）となった者は頸部がん検診が373人、要精検率は2.2%、体部がん検診が3人、要精検率は2.4%であった。

頸部がん検診の精密検査受診者は324人で、受診率は86.9%、体部がん検診の精密検査受診者は3人で受診率は100%であった。発見した頸部がん患者は2人、体部がん患者は0人、がん発見率は一次検診受診者数に対し各々0.01%、0%であった。

なお、頸部がん患者2人のうち微小浸潤がん患者は1人であった。

表8には検診対象別の子宮がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象として行った子宮がん頸部検診数は26市町村の11,542人であった。

これに対して、職域を対象として行った子宮がん頸部検診数は112団体5,037人で、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った子宮がん頸部検診数は621人であった（資料2(1)、P92）。

当センターの行う子宮がん検診で要精検になった者のうち、当センターで精検を実施したものの割合は地域が43.3%、職域で74.4%、総計では57.8%を占めていた（資料2(3)、(4)、P94、P95）。

表7 子宮がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分	部 位	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		子宮頸がん 子宮体がん		うち微小 浸潤がん 人
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車 検 診	頸部	10,677	216	2.0	181	83.8	0	0	0
	(体部)	0	0	0	0	0	0	0	0
施 設 検 診	頸部	6,523	157	2.4	143	91.1	2	0.03	1
	(体部)	125	3	2.4	3	100.0	0	0	0
合 計	頸部	17,200	373	2.2	324	86.9	2	0.01	1
	(体部)	125	3	2.4	3	100.0	0	0	0
前年度計	頸部	16,248	314	1.9	279	88.9	3	0.02	2
	(体部)	138	3	2.2	3	100.0	0	0	0

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表 8 子宮（頸部）がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		子 宮 頸 がん		う ち 微 小 浸 潤 がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
地 域	令和元年度	11,542	216	1.9	182	84.3	0	0	0
	前年度	10,481	189	1.8	163	86.2	0	0	0
職 域	令和元年度	5,037	143	2.9	129	90.2	2	0.04	1
	前年度	5,115	116	2.3	107	92.2	2	0.04	1
検 診 友の会等	令和元年度	621	14	2.3	13	92.9	0	0	0
	前年度	652	9	1.4	9	100.0	1	0.15	1

注) 表 7 に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診の要精検者及び他の集検機関や一般医療機関からの紹介者を対象に頸部及び体部の細胞診検査を 1,512 件、組織診検査を 372 件、コルポスコピー1,159 件、下腹部エコー264 件、合計 3,307 件実施した（表 9）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は頸部受診者が 27 人、体部受診者が 3 人であった（表 10）。

表 9 子宮がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容		検 査 件 数	
		令和元年度	前 年 度
細 胞 診	頸 部	1,400	1,305
	体 部	112	110
	小 計	1,512	1,415
組 織 診		372	348
コ ル ポ ス コ ピ ー		1,159	1,081
下 腹 部 エ コ ー		264	263
合 計		3,307	3,107

表 10 子宮がん精検依頼分の成績

依 頼 元		件 数	が ん (うち微小浸潤がん)	CIN3 異 型 増 殖	CIN2 複 雑 型 増 殖	CIN1 単 純 型 増 殖	そ の 他	異 常 な し
集 検 機 関	頸 部	9	1 (0)	0	1	1	5	1
	体 部	0	0	0	0	0	0	0
医 師 紹 介	頸 部	13	0 (0)	0	1	0	12	0
	体 部	1	0	0	0	0	0	0
個 人	頸 部	5	0 (0)	0	0	0	5	0
	体 部	2	0	0	0	0	0	0
合 計	頸 部	27	1 (0)	0	2	1	22	1
	体 部	3	0	0	0	0	0	0

### (3) 乳がん検診

乳がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診として視触診及び乳房撮影（マンモグラフィ）と精密検査としてX線撮影及び超音波検査、乳頭分泌物検査あるいは腫瘍穿刺検査による細胞診等を実施している。

#### 〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。車検診は、デジタルマンモグラフィ検診車2台を保有し、大阪府内市町村や職域等の検診を実施している。

市町村が実施主体となり実施する地域検診は、原則、視触診とマンモグラフィのセット検診を行っており、職域等はマンモグラフィのみの検診を実施している。

なお、令和元年度の稼働回数は2台で189回であった。

表11に令和元年度の車検診、施設検診別の乳がん検診の成績を示した。一次検診受診者総数は

21,290人で、車検診受診者は13,486人、施設検診受診者は7,804人であった。

一次検診の結果、要精密検査となった者は907人で要精検率は4.3%であった。精密検査受診者数は839人、精検受診率は92.5%、発見した乳がん患者は92人、うち早期乳がん患者62人、発見率は一次検診受診者に対し各々0.43%、0.29%であった。

表12には検診対象別の乳がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象に行った乳がん検診数は27市町村15,633人であった。

これに対して職域を対象に行った乳がん検診数は108団体4,616人、大阪対がん協会や検診友の会会員、原爆被爆者等を対象に行った乳がん検診数は1,041人であった（資料3(1)、P96）。

当センターの乳がん検診で要精密検査となった者のうち当センターで精検を実施した者の割合は地域で54.4%、職域81.8%、総計では61.6%を占めていた（資料3(3)、(4)、P98、P99）。

表11 乳がん検診成績（車検診・施設検診別）

区分	年度	受診者数	要精検者		精検受診者		乳がん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
車検診	令和元年度	13,486	559	4.1	500	89.4	64	0.47	45	0.33
	前年度	14,053	456	3.2	423	92.8	52	0.37	33	0.23
施設検診	令和元年度	7,804	348	4.5	339	97.4	28	0.36	17	0.22
	前年度	7,508	262	3.5	259	98.9	24	0.32	15	0.20
合計	令和元年度	21,290	907	4.3	839	92.5	92	0.43	62	0.29
	前年度	21,561	718	3.3	682	95.0	76	0.35	48	0.22

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計した。

表 12 乳がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		乳 が ん		う ち 早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和元年度	15,633	700	4.5	641	91.6	79	0.51	52	0.33
	前年度	15,236	567	3.7	537	94.7	63	0.41	39	0.26
職 域	令和元年度	4,616	171	3.7	163	95.3	10	0.22	8	0.17
	前年度	5,128	119	2.3	113	95.0	8	0.16	6	0.12
検 診 友の会等	令和元年度	1,041	36	3.5	35	97.2	3	0.29	2	0.19
	前年度	1,197	32	2.7	32	100.0	5	0.42	3	0.25

注) 表 11 に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診からの要精検者及び他の集検機関、一般医療機関等からの紹介者を対象に、超音波検査を2,422件、X線撮影を2,674件、乳頭分泌物あるいは腫瘍穿刺による細胞診を182件、分泌 CEA を3件、合計5,281件実施した（表13）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は87人であった（表14）。

表 13 乳がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和元年度	前 年 度
超 音 波	2, 4 2 2	2, 3 0 1
X 線 撮 影	2, 6 7 4	2, 5 3 0
細 胞 診	1 8 2	9 4
分 泌 C E A	3	2
合 計	5, 2 8 1	4, 9 2 7

表 14 乳がん精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	乳 が ん (うち早期が ん)	線維腺腫	乳 腺 症	そ の 他	異 常 な し
集 検 機 関	31	2(2)	2	1	16	10
医 師 紹 介	14	2(1)	1	2	7	2
個 人	42	4(2)	2	2	21	13
合 計	87	8(5)	5	5	44	25

#### (4) 肺がん検診

肺がんの早期発見を主目的として、市町村及び企業などを対象に一次検診（胸部低線量CT検査、胸部直接X線検査、喀痰細胞診によるスクリーニング）と精密検査（胸部CT検査、喀痰細胞診）を実施している。

##### 〈一次検診〉

一次検診は、施設において胸部直接X線検査、胸部低線量CT検査及び喀痰細胞診（三日蓄痰粘液融解法）による検診を実施するほか、車集検として、総合健診車での胸部直接X線検査及び喀痰細胞診による検診を実施している。

表15に施設（車）検診の成績を示した。

令和元年度の成績は、施設検診及び車検診で18,687人が受診し、要精密検査となった者870人、要精検率は4.7%、精検受診率は92.5%、結果、肺がんと診断された者は19人、がん発見率は、集検受診者に対して0.10%であった（資料4(1)、P100）。

なお、表16に検査内容別の検診成績を示した。

##### 〈精密検査〉

精密検査は、施設における一次検診の要精検者などを対象に、胸部直接X線検査、CT検査、喀痰細胞診（三回法）を行っている。

令和元年度は胸部直接X線検査13件、CT検査1,692件、喀痰細胞診4件を実施した（表17）。

表15 肺がん検診成績（施設（車）検診別）

区 分	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	(%)
施設（車）検診	令和元年度	18,687	870	4.7	805	92.5	19	0.10
	前年度	20,199	786	3.9	732	93.1	27	0.13
合 計	令和元年度	18,687	870	4.7	805	92.5	19	0.10
	前年度	20,199	786	3.9	732	93.1	27	0.13

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。なお、大阪市個別検診は施設検診に含まれている。  
2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表16 肺がん検診成績（検査内容別：延べ数）

検査内容	区 分	年 度	検査件数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん	
				人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
X 線 直 接	施設(車)検診	令和元年度	18,687	870	4.7	805	92.5	19	0.10
		前年度	20,199	786	3.9	732	93.1	27	0.13
喀痰細胞診	施 設 検 診	令和元年度	844	0	0	0	0	0	0
		前年度	1,121	0	0	0	0	0	0
合 計		令和元年度	19,531	870	4.5	805	92.5	19	0.10
		前年度	21,320	786	3.7	732	93.1	27	0.13

注) 表15に同じ。

表17 肺がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和元年度	前 年 度
胸 部 直 接 X 線 検 査	13	3
C T 検 査	1,692	1,503
喀 痰 細 胞 診	4	8
合 計	1,709	1,514

## (5) 大腸がん検診

大腸がんの発見を目的として、市町村、職域、検診友の会会員等を対象に一次検診（免疫学的便潜血検査：2日法）と精密検査（全大腸鏡検査及び生検）を実施している。

### 〈一次検診〉

一次検診は、胃集団検診とセットで胃・大腸集団検診として地域住民を主に、職域、検診友の会会員等を対象に実施した。

表 18 に検診対象別の大腸がん検診の成績を示した。

市町村が実施主体となり行った大腸がん検診は 23 市町村 27,436 人、職域 100 団体 9,855 人、検診友の会会員等 384 人であった（資料 5(1)、P103）。

大腸がん検診受診者総数 37,675 人のうち、便潜血検査の結果、陽性で要精密検査と判定された者は 1,807 人、要精検率 4.8%、精検受診者は 1,480 人、精検受診率 81.9% で、発見した大腸がん患者 92 人、うち早期大腸がん 60 人、発見率は集検受診者に対して各々 0.24%、0.16% であった。

当センターの行う大腸がん検診で要精密検査となった者のうち、当センターで精密検査を受診した者の割合は、地域が 0%、職域 0.3%、総計で 0.1% を占めていた。また、精密検査の検査内容別にみると、地域・職域ともにすべての精密検査は、内視鏡検査で行われていた（資料 5(6)、(7)、P108、P109）。

表 18 大腸がん検診成績

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		が ん		早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和元年度	27,436	1,379	5.0	1,152	83.5	80	0.29	52	0.19
	前年度	27,971	1,345	4.8	1,153	85.7	72	0.26	52	0.19
職 域	令和元年度	9,855	408	4.1	314	77.0	12	0.12	8	0.08
	前年度	9,755	371	3.8	265	71.4	9	0.09	4	0.04
検 診 友の会等	令和元年度	384	20	5.2	14	70.0	0	0	0	0
	前年度	393	12	3.1	12	100.0	1	0.25	1	0.25
合 計	令和元年度	37,675	1,807	4.8	1,480	81.9	92	0.24	60	0.16
	前年度	38,119	1,728	4.5	1,430	82.8	82	0.22	57	0.15

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 精密検査の中で精密検査を他機関で受診した者の成績は、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 大阪市個別検診は地域に含めた。

### 〈精密検査〉

精密検査は、集団検診の要精検者及び他の集検機関等からの紹介者を対象に実施した。

市町村が実施主体の大腸がん検診からの精密検査は、原則として厚生労働省「がん検診実施のための指針」に基づき、1次精検として、全大腸鏡検査を行っている。また、職域等における大腸がん検診の精密検査についても、全大腸鏡検査を行っている。

表 19 に大腸精密検査件数を示した。

全大腸鏡検査 3 件、生検による病理組織診は 1 件であった。

なお、他の集検機関や医療機関等からの紹介者は 0 人であった（表 20）。

表 19 大腸がん検診精密検査件数（検査内容別）

検査内容	検査件数	
	令和元年度	前年度
注腸X線検査	0	0
全大腸鏡 (うち生検実施)	3 (1)	15 (1)
合計 (うち生検実施)	3 (1)	15 (1)

表 20 大腸がん精検依頼分の成績

依頼元	件数	大腸がん	大腸腺腫	大腸ポリープ	憩室その他	異常なし
集検機関	0	0	0	0	0	0
医療機関	0	0	0	0	0	0
個人	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

## 2 総合健診

施設内においては、協会けんぽが実施する生活習慣病予防健診、定期健康診断、特定健康診査、循環器健診を実施し、これらの健康診査とがん検診を同時に受診することができる態勢をとっている。また、総合的な人間ドック健診も行っている。

協会けんぽの生活習慣病予防健診は3,844人で、前年度より285人増加した。労働安全衛生法に規定する定期健康診断は1,351人で、前年度より312人の増加となった。

特定健康診査は1,245人で、前年度より69人の減少となった。

人間ドックは2,967人で、充実コース人間ドック

172人を含んでおり、前年度より133人の減少となった。

循環器健診は2,990人で、前年度より276人増加した。

その他の健診は3,762人で、前年度より199人の増加となった。

また、平成10年度から実施している検診車を活用した総合的な健康診査は、平成28年度より施設での健診に変更された。

上記の一次健康診査に引き続いて精密検査を実施したのは、がん検診の精密検査を除き1,100人となり、前年度より135人の増加となった。精密検査の内容は、腹部造影エコーや血液検査、尿検査などである。

表21 総合健診検査人数

(人)

健 診 種 別	令和元年度	前 年 度
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,844	3,559
定 期 健 康 診 断	1,351	1,039
特 定 健 康 診 査	1,245	1,314
人 間 ド ッ ク	2,967	3,100
循 環 器 健 診	2,990	2,714
そ の 他 の 健 診	3,762	3,563
上 記 合 計	16,159	15,289
検 診 車 を 活 用 し た 総 合 健 診	0	0

### <特定健康診査・特定保健指導>

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査及び特定保健指導が開始され、当センターにおいても平成21年度から実施している。

特定健康診査及び定期健康診断や人間ドックを実施している団体の中で、特定保健指導の実施について依頼のあった団体の受診者のうち、生活習慣の改善が必要とされる対象者に対して特定保健指導を実施した。

12の健康保険組合と特定保健指導実施の契約を締結し、その組合員を対象とした特定保健指導を実施した。

令和元年度実績（次年度以降、初回面接実施者含む）

- ・ 特定健康診査 1,245人
- ・ 特定保健指導 548人
  - うち 動機づけ支援 270人
  - 積極的支援 278人

### <保健指導等>

保健指導の契約がある8団体で循環器健診コースの受診者について、がん予防と循環器病予防の観点から、肥満の有無に関わらず、ハイリスク者に焦点を当てて、当センターの定めた基準に従って医師と保健師・管理栄養士が保健指導を行っている。平成29年度より開始した労災二次健診では、全受診者へ保健指導を実施した。

充実コースの結果説明では、ハイリスク者であるか否かにかかわらず、生活アドバイスとして受診者全員に保健指導を実施している。

令和元年度実績

- ・ 保健指導（労災二次健診受診者含む） 347人
- ・ 生活アドバイス 168人

### 3 所外健診

府民の健康状態や生活習慣の動向、疾病罹患の要因などを明らかにするために、健康科学センターから引き続き、地域住民と職域勤務者に対する「所外健診」を行っている。所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施している。地域、職域ともに、当センターのスタッフ自らが現場に出向いて健診に従事し、健診方法や結果判定についての精度管理を継続して行うとともに、調査研究や保健指導を行って地域や職域の実情に応じた予防対策の立案に役立てている。

そして、「所外健診」で得られた分析結果や健診・保健指導のノウハウを、将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」等保健指導ツールの開発や市町村の予防対策に対するデータ分析や具体的な指導・助言などの支援に活かしている。

#### ○八尾市南高安地区

大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が、脳卒中、虚血性心疾患の発生状況及び主要リスクファクターの推移を明らかにするための疫学研究として昭和38年から継続して健診を行ってきた。平成13年、府立健康科学センターの設立に伴い、同センターが研究を引き継ぎ、平成24年4月の同センターと大阪がん予防検診センターとの統合により、大阪がん循環器病予防センターがさらに引き続いて実施している。

本地区の健康づくりは住民主体の活動となっており、その中核として活動している組織が「南高安地区成人病予防会」である。

同会の事業である交流会、総会、骨密度測定検査、健康相談、成人病健診、健診結果説明会、健康増進歩く会、会報作成などにも当センターのスタッフが参画している。

また、予防対策事業の評価の一環として、八尾市、八尾市医師会、関係医療機関、大阪府等と協力して、脳卒中、虚血性心疾患発症者調査を実施している。

#### ○秋田県井川町

この地区も前述の八尾市南高安地区と同様に大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が研究事業として昭和38年に健診を開始し現在も当センターが引き続いて実施している。

当時、東北地方は脳卒中の死亡率が高い地域であり、特に秋田県は全国一の高死亡率であった。脳卒中予防対策を希望する当時の秋田県衛生科学研究所職員、井川村村長、保健所長らの熱い思いと、大阪府内の地域・職域を中心に循環器健診を実施し着実に実績を上げつつあった成人病センターとの結びつきが脳卒中予防のための健診を共同で実施するきっかけになった。

同町における循環器健診と脳卒中発生状況の調査、食生活の実態調査の結果を大阪の成績と比較することにより、秋田の脳卒中の特徴が次第に浮き彫りになり、その報告をもとに以後の予防対策が推進され、発生率の低下や死亡率の減少など大きな成果を上げるに至った。逆に、両府県におけるデータの比較が大阪の循環器疾患の特徴の解明につながり、大阪での予防対策の発展に大きく寄与することとなっている。

#### ○職域3集団

システム関連会社、市場、医療関係団体という労働環境の異なる3集団に対して、定期健康診断（医療関係団体はドック健診）として健診を実施し、各業態勤労者の循環器疾患の危険因子の特徴や動向を比較検討している。

表22 所外健診検査件数

(件)

健診団体	健診日数	令和元年度	前年度
八尾市南高安地区	8	1,541 (204)	1,601 (217)
秋田県井川町	8	1,373	1,370
職域3団体	6	450	456
合計	22	3,364	3,427

注) 八尾市南高安地区( )の住民健診は、「南高安地区成人病予防会」の健康診断も併せて実施したため、健診検査件数を再掲載した。

## 4 検 査

画像検査、生理検査ならびに検体検査等の検査実績を表23及び表24に示す。表23には施設における検査の項目別実績を、表24にはがん検診における

細胞診、組織診、大腸便潜血検査実績を検査項目別件数として示す。

表23 施設における検査件数

(件)

区分		令和元年度	前年度	区分		令和元年度	前年度
放射線	胃 X 線 (16方向)	6,196	6,990	な生理 検 ど 査	ピロリ菌呼気検査	73	146
	胃 X 線 (8方向)	2,279	2,013		ピロリ菌除菌件数	46	104
	胸部 X 線	13,697	13,465	検 体 検 査	便 潜 血	13,420	13,116
	胸部 C T	3,014	2,802		検 尿	12,130	11,972
	マンモグラフィ	9,170	8,726		尿 沈 渣	1,211	1,093
心 電 図	10,778	10,441	血 液 検 査		12,086	11,916	
生理検査など	視 力 検 査	10,906	10,674	細 胞 診	子 宮 頸 部	7,848	7,359
	聴 力 検 査	10,865	10,643		子 宮 体 部	240	252
	骨 密 度	3,200	3,123		喀 痰 細 胞 診	91	1,225
	眼 底 検 査	7,111	7,262		乳 腺 吸 引 細 胞 診	188	93
	呼 吸 機 能 検 査	3,735	3,746		上 部 消 化 管	5,142	5,379
	腹 部 超 音 波 検 査	4,598	4,582	内 消 視 鏡 化 検 査 器	下 部 消 化 管	3	15
	腹部超音波検査(精検)	274	241		〔 上部消化管 下部消化 管の内 内 視 鏡 下 生 検 〕	(219)	(231)
	乳 腺 超 音 波 検 査	4,495	4,360			子 宮 レーザー蒸散術	11
	経 膈 超 音 波 検 査	507	415	そ 他			
	合 計						144,141

注) 数値の ( ) は再掲。

表24 細胞診・組織診・便潜血検査件数

(件)

検査内容	検査項目	依 頼 元	件 数	
			令和元年度	前 年 度
細胞診	子宮がん	車 検 診 (頸部)	10,677	10,074
		施 設 検 診 (頸部)	6,541	6,185
		” (体部)	129	142
		精 密 検 診 (頸部)	1,307	1,174
		” (体部)	111	110
		小 計	18,675	17,685
	肺がん	一 次 検 診 (喀痰)	914	1,215
		精 密 検 査 (喀痰)	4	10
		小 計	918	1,225
	乳 がん 精 密 検 診		188	93
	そ の 他		173	125
	合 計		20,044	19,128
	組織診	子 宮 が ん 精 密 検 査		304
胃 精 密 検 査		218	230	
大 腸 精 密 検 査		1	1	
合 計		523	508	
大 腸 便 潜 血 検 査		45,395	38,119	
総 合 計		65,962	57,755	

## 5 医療機関との連携

大阪府医師会傘下の医療機関との連携協調を事業の柱の1つとして推進している。

医療機関との連携事業としては、各種がん検診の精密検査の受入、患者紹介、施設見学、医療技術に関する研修などが中心であり詳細は下記の通りである。

### (1) 紹介患者の受け入れ

一般医療機関などから紹介された患者については、当センターでは検査のみを実施、検査結果を当該医療機関に報告し、結果の説明、治療などは原則として紹介元の医療機関で行うという方法をとっている。

令和元年度の一般医療機関などからの精密検査紹介患者数は、胃がん検診286人、子宮がん頸部検診27人、子宮がん体部検診3人、乳がん検診87人であった。

### (2) 患者の紹介

施設及び車での集団検診の結果、要精密検査とされた者のうち、主治医あるいは近医での受診を希望する者に対しては、精密検査に必要なフィルム、データなどをそろえて紹介している。

令和元年度の精検受診者の精検実施機関の内訳は、胃がん検診では83.9%、子宮がん検診では42.2%、乳がん検診では38.4%、大腸がん検診では99.9%が当センター以外の医療機関での精検受診であった。

また、当センターの精密検査で手術などの治療が必要と診断された患者に対しては、患者本人や家族と相談の上、適切な病院に紹介している。

### (3) 主な紹介医療機関

病院名	紹介数
大阪国際がんセンター	51
大阪医療センター	24
市立貝塚病院	9
大阪はびきの医療センター	6
大阪プレストクリニック	6
近畿大学病院	6
大阪市立総合医療センター	5
大阪医科大学附属病院	4
大手前病院	4
市立池田病院	4
大阪大学医学部附属病院	3
大阪労災病院	3
関西医科大学附属病院	3
和泉市立総合医療センター	2
大阪南医療センター	2
済生会吹田病院	2
ベルランド総合病院	2
八尾市立病院	2
石切生喜病院	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
大阪赤十字病院	1
河内総合病院	1
済生会中津病院	1
済生会野江病院	1
堺市立総合医療センター	1
佐藤病院	1
市立吹田市民病院	1
兵庫医科大学病院	1
耳原総合病院	1
淀川キリスト教病院	1

## 6 精度管理と研修

精度の高いがん検診を広く大阪府民に提供するためには、受診率の向上と検診そのものの精度管理が重要である。そのためには、検診に従事する者の資質の向上とがん検診の実態等の把握が必要である。

がん予防検診部門では、がん予防検診センター開設当初から、医療スタッフの技術研修や技術実習を行うとともに、がん検診の実態把握等に努めてきた。さらに、平成24年度からは大阪府からの委託を受け、組織型検診推進のための精度管理センター事業を行っている。

### (1) がん検診の実態把握

大阪府から委託を受け、精度管理基礎調査をもとに、がん検診の実態並びに検診成績等の把握を行っている。把握した調査結果は、毎年、冊子『大阪府におけるがん検診』にまとめて、大阪府内市町村や大阪府医師会等多くの関係機関に配布している。

これは、より効率的・効果的ながん検診を展開していくための基礎資料となっている。なお、これらの事業は大阪府精度管理システムを運用管理し実施している。

### (2) 市町村、検診機関支援

がん予防検診部門では調査室が中心となり、府内市町村や検診機関を対象に、がん検診精度向上に対する支援、がん検診提供体制確保に対する支援、受診率向上に対する支援を行った。支援事業内容の詳細は次頁に掲載する。

### (3) がん検診受診率向上事業

市町村がん検診受診率の向上を目的として、モデル市町村において受診率向上にかかる事業をモデル実施し、それらの効果検証を行うことにより、有効な受診率向上策を検討する。また、今後市町村で実施できるよう、市町村向けの事例集を作成し、配布することで普及を目指した。

### (4) 研修及び施設見学

前身のがん予防検診センター開設当初より、国内外の各方面から医療スタッフの研修生を受け入れ、研修・実習及び施設見学を多数実施してきた。

放射線技師室では、国際医療技術交流財団からの依頼を受け「JICA 医療技術スタッフ研修」として海外からの多数の技術職研修生を受け入れてきた。また、婦人科検診部でも開設当初から多くの海外研修生を受け入れ、技術研修及び技術実習を行ってきた。

これまでに、マレーシア、カンボジア、タンザニア、中国、台湾、韓国、スペイン、パラグアイ等の多くの国々から医師、放射線技師等の医療技術職研修生を受け入れた。

1. 検診精度の向上に対する支援

- (1) 精度管理委員会開催への支援  
市町村が開催する精度管理委員会における資料作成協力などを行った。  
支援市町村数 乳がん：1市1地域  
子宮がん：1地域  
肺がん：1地域  
大腸がん：1市
- (2) 精検受診率の向上に対する支援・精度管理指標の分析  
効率的な精密検査結果報告方法を検討するための助言や報告書案の作成などを行った。  
また、大阪府精度管理システムを活用し、精度管理指標の分析、評価を行った。  
支援市町村数：12市村

(別表1)

電話相談内容	件数
がん全般	15
胃がん	24
大腸がん	8
肺がん	20
子宮頸がん	27
乳がん	19
合計	113

- (3) 市町村からの電話相談・研修会の開催  
《電話相談》 件数：113件  
市町村がん検診担当者からの電話相談に対応した（別表1）。  
  
《研修会》 1回  
市町村がん検診担当者向けの研修会を開催した（別表2）。
- (4) 検診機関への支援  
講演会や研究会への講師派遣を通じ、医療機関や検診機関の精度向上への支援を行った。  
《講師派遣》 3回（別表3）

2. がん検診の提供体制の確保に対する支援

- (1) 実施要領や受診票の改訂に対する支援  
実施要領やがん検診問診票の改訂を行う市町村に対し、内容の確認や助言を行った。

3. 受診率向上に対する支援

- (1) 個別受診勧奨の推進に対する支援  
個別受診勧奨を実施する市町村に対し、勧奨対象の選定、勧奨方法、対象に応じた勧奨ツールの提案を行った。また、その効果について検証した。  
支援市町村数：8市町

4. その他

- (1) 大阪府精度管理システムの運用管理  
40市町村運用（うち令和元年度新規導入2市）
- (2) 精度管理システムの改修  
「地域保健・健康増進事業報告」の子宮頸がん検診の集計方法の変更および胃内視鏡検診を開始した市町村についてのシステム改修を行った。
- (3) 「市町村がん検診事業にかかる個別支援を目的とした市町村訪問」として、府内43全市町村を訪問することとし、うち18市町を訪問しヒアリングを行った。

## 5. がん検診受診率向上事業

大阪府内の8市町の協力を得て、下記のモデル事業を実施しその効果について検証した。  
各市町村が事業を実施できるようマニュアルを作成し、配布した。

- (1) 母子保健事業との連携による受診勧奨
- (2) 市教育委員会・PTAとの連携による受診勧奨
- (3) 検診期間を指定した受診勧奨
- (4) がん検診と特定健診の同時実施支援
- (5) 退職後の市町村検診受診移行支援

(別表2) 市町村がん検診担当者向け研修会

開催日	研修会名	テーマ	参加者数
令和元年 9月10日	市町村がん検診精度管理向上研修会 (第1部)	大阪府のがん対策 がん検診・精度管理の基礎	43名
	市町村がん検診精度管理向上研修会 (第2部)	がん検診のあり方検討会の動向 受診率向上についてのグループワーク	50名

(別表3) 医療機関や検診機関への講演会・研修会への講師派遣

開催日	講演会名	対象	派遣講師
平成31年 4月15日	細胞診定期講習会	臨床検査技師	田路 英作
令和元年 10月3日	第1回吹田市胃がん検診 (胃内視鏡検査)導入に向けての研修会	医療機関医師	石田 哲士
令和元年 11月28日	東大阪市 胃がん検診(内視鏡検査)研修会	胃がん検診委託医療機関 検査医・読影医	石田 哲士

## 7 循環器病予防活動

循環器病予防部門では、健康科学センターで培った科学的根拠を踏まえた健康づくり技法のノウハウ等を活かし、大阪府からの受託事業として、府内の市町村の循環器病予防対策の支援として地域の健康課題の明確化や行動変容プログラムの策定・実践指導、保健指導ツールの開発を行うとともに、循環器病健診事業等を行った。

### (1) 地域の健康課題の明確化(医療費及び特定健診・特定保健指導のデータ分析)

大阪府国民健康保険団体連合会、市町村国民健康保険等にかかる特定健診、特定保健指導及び医療費のデータを分析し、市町村国保における医療費や疾病構造にかかる課題、特定健診・特定保健指導の実施状況(受診率、メタボリックシンドロームの割合等)、健診有所見者状況の課題を明らかにした。

その結果、高血圧、喫煙率をはじめとする各所見や医療費の内訳において、市町村間の差や地理的な偏在が判明し、市町村の課題に応じた対策の重点化の必要性を示した(「市町村国民健康保険及び協会けんぽにおける特定健診・特定保健指導のデータ分析並びに市町村国民健康保険、後期高齢者医療及び協会けんぽにおける医療費データ分析」報告書(平成31年度))。これらのデータを元にデータヘルス計画策定に対する助言を行っている。

また、平成27年度からは、協会けんぽデータの分析も行っている。

### (2) 行動変容プログラムの提示・普及、モニタリング調査・分析(行動変容推進事業のフォローアップ事業)

行動変容推進事業は、データ分析の結果明らかになった健康課題を踏まえ、改善策について計画・実行・評価(PDCAサイクル)を行うことで、被保険者、保険者、関係者等の問題意識を高め行動変容につなげていくことを目指している。

本年度は、前年度まで実施していた市町村の取り組み状況のモニタリングを実施せず、プログラムの改訂を行うための実践部会を中心に事業を推進した。前年度の実践部会では、まず「糖尿病対策」、「特定健診の受診率向上」、「特定保健指導の実施率向上」の3種類のプログラムを検討した。次に、高血圧治療ガイドラインの改訂、タバコ対策(主に改正健康増進法)の動きを考慮し、令和元年度に「高血圧対策」、「禁煙支援」それぞれのプログラムの改訂を検討した。「標準的な健診・保健指導プログラム」の平成30年度版の公表があり、健診や保健指導の実施内容の変更等が市町村で発生しており、市町村からの事業に関する個別の相談へ支援や助言を実施した。(「行動変容推進事業」報告書(平成31年度))。

### (3) 循環器疾患と危険因子のモニタリング及び保健指導ツールの開発

所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施した。また、これらの調査データの分析を通じ、特定健診の結果を活用して将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」(平成23年度に開発)をホームページで公開している。このツールはいくつかの団体でも活用されているほか、所内の保健指導においても活用されている。モデル地域・職域での健診によって蓄積されたデータ及び、その他の学術的な資料に基づき、現場の声を聞きながら、循環器疾患の予防対策に役立つ保健指導用リーフレットを作成した。今年度は、「高血圧」がテーマの5種類のリーフレットを、「高血圧治療ガイドライン2019」の改定や「第3次大阪府健康増進計画」の策定に伴い更新した。資料は市町村に提供し、生活習慣病予防対策の推進を支援した。(「循環器疾患と危険因子のモニタリング、保健指導ツールの開発」報告書(平成31年度))

### (4) 総合健診事業

がん検診と循環器健診をセットにした「総合健診」を行うとともに、特定保健指導を同日実施することにより、特定健診受診率の向上に寄与した。

受診者のうち、特定保健指導(いわゆる「メタボ健診」)の対象とならないハイリスク者に対しても、保健師又は管理栄養士による個別面接を行い、「循環器疾患・発症予測ツール」を活用するなど保健指導を実施し、循環器病予防の推進に努めた。

また、これらのことにより培われた健診・保健指導の実施方法の工夫や生活習慣の改善に関する具体的な指導・助言などを、市町村の行動変容プログラムに採り入れた。

### (5) 循環器病予防のための情報発信

府民の健康指標の改善に資するため、府民、指導者、研究者に対し、循環器病・生活習慣等にかかる健康情報並びに指導者養成の教材・講演内容、研究論文などをホームページで提供するとともに、大阪府、保険者協議会、市町村、医師会等と連携して、医師、看護師、保健師等を対象に、特定健診・特定保健指導、禁煙支援など、健康づくりを推進するための専門研修を行った。

### (6) 調査研究事業

循環器病等の生活習慣病予防の推進を目的に、科学的根拠に基づいた実践的な健康づくり技法の開発や制度化のための調査研究を行うとともに、厚生労働省や文部科学省等の研究班の研究協力者として共同研究を行った。

令和元年度事業説明会および研修会の概要

令和元年度 保健事業担当者研修会

- 1 とき 令和元年5月22日(水)10時00分～17時00分(受付:9時30分から)
- 2 ところ 大阪赤十字会館 3階 301会議室(所在地:大阪市中央区大手前2丁目1番7号)
- 3 対象 市町村国保、衛生部門、特定健診・保健指導・がん検診・医療費適正化等担当者(技術職・事務職)、府保健所企画調整課、地域職域連携推進事業担当者、その他関係機関担当者等
- 4 目的 府が実施する健康づくり施策、国保ヘルスアップ支援事業、がん検診受診率向上等について、市町村担当者等が理解し、他機関と連携した効率的、効果的な保健事業を展開することができるようになる。併せて、研修会で保健事業、保健指導等の取り組み向上のスキルアップを行う。
- 5 主催 大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課、大阪がん循環器病予防センター

プログラム

時間	プログラム内容	講師等	資料
10:00	オリエンテーション 府の保健事業支援の全体像、本日の研修会の趣旨(20分)	大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課 島田 秀和	資料1
10:20	市町村保健事業推進ワーキング ・データを活用した保健事業企画の事例(25分) ～健康のターニングポイント年齢にささる受診勧奨～ 《保健活動活性化事業検討部会》	貝塚市高齢介護課 藤原 博子氏	資料2
10:45	・汎用性の高い行動変容プログラムの活用状況(20分) ・汎用性の高い行動変容プログラムの改訂の検討状況 《行動変容プログラム実践部会》	大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫 久保田 康彦	資料3
11:05	・特定健診、医療費等データの分析結果(10分)	大阪がん循環器病予防センター 清水 悠路	資料4
11:15	健康格差解決プログラム促進事業(10分) ・概要及び「かかりつけ医」と連携した特定健診の受診勧奨 《健康格差解決PG(特定健診)》	大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課 島田 秀和	資料5
11:25	・若い世代からのフレイル予防対策の推進(50分) 《健康格差解決PG(フレイル)》	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦 <講師> 国立健康・栄養研究所 身体活動研究部長 宮地 元彦 先生	資料6
12:15	— 休憩(65分) —		
13:20	・効果的な保健指導プログラムの開発と今後の展望 《健康格差解決PG(保健指導)》(50分)	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫 <講師> 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 特任准教授 野口 緑 先生	資料7

14 : 10	— 休憩 (10分) —		
14 : 20	第2期健康寿命延伸プロジェクト (10分) ～府民全体で健康づくりを推進～	大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課 島田 秀和	資料8
14 : 30	国保ヘルスアップ支援事業等(20分) ・保険者努力支援制度の結果概要 ・健康づくり支援プラットフォーム事業(アスマイル)	大阪府健康医療部健康推進室 国民健康保険課 谷 智代 上田 玄	資料9
14 : 50	・がん検診受診率向上の取組み (10分)	大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課 塩田 尚子	資料10
15 : 00	・協会けんぽ被扶養者の特定健診と市町村がん検診の同時実施(15分)	全国健康保険協会大阪支部 保健グループ 東 一昭	資料11
15 : 15	— 休憩 (10分) —		
15 : 25	糖尿病性腎症重症化予防の取組みの推進 ・大阪府糖尿病性腎症重症化予防総合プログラム (10分)	大阪がん循環器病予防センター 久保田 康彦	資料12
15 : 35	・「糖尿病性腎病重症化予防プログラムの現状と課題」 (50分)	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 久保田 康彦 <講師> 大阪大学大学院医学系研究科 総合ヘルスプロモーション科学 講座 助教 樺山 舞 先生 (厚労科研津下班 分担研究者)	資料13
16 : 25	その他 連絡事項 アンケート記入等		
17 : 00	終了予定		

令和元年度 行動変容推進事業フォローアップ研修会

- 1 と き 令和元年10月7日(月)13時30分～17時00分(受付:13時00分から)
- 2 ところ 大阪赤十字会館 3階 301会議室(所在地:大阪市中央区大手前2丁目1番7号)
- 3 対象 市町村国保、衛生部門、特定健診・保健指導等従事者・担当者(技術職・事務職)、府保健所企画調整課担当者、その他 関係機関担当者 等
- 4 目的 効果的に生活習慣病予防の保健指導を行うためのより実践的知識を学び、保健事業従事者のスキルアップを図ると共に、汎用性の高い行動変容プログラムに基づく取り組みの推進を図る。
- 5 主催 大阪がん循環器病予防センター(大阪府委託)  
\*本研修会は、大阪府健康推進室健康づくり課、公益社団法人大阪府栄養士会主催の府保健所及び市町村栄養士等合同研修会としても実施しております。

プログラム

時間	プログラム内容	講師等	資料
13:30	挨拶	大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦	
13:35	オリエンテーション(10分)	大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課 南 由美	資料1
13:45	【第1部】 情報提供 ・大阪府健康推進室より(30分) 健活10、健活フェスタ2019 アスマイル 日本人の食事摂取基準(2020年版)のポイント	大阪府健康医療部健康推進室 健康づくり課 島田 秀和 国民健康保険課 上田 玄 健康づくり課 村田 積美	資料2
14:15	・大阪府高齢介護室より(15分) 府内市町村における介護予防の取り組みについて	大阪府福祉部高齢介護室 介護支援課 梅室 朝香	資料3
14:30	・大阪府後期高齢者医療広域連合より(15分) 大阪府後期高齢者医療広域連合の取り組みについて	大阪府後期高齢者医療広域連合 保健担当課長補佐 多田 和代	資料4
14:45	—休憩—(15分)		
15:00	【第2部】 汎用性の高い行動変容プログラムフォローアップ 講座 ・高血圧対策(25分) 府民の高血圧の状況、府の高血圧対策 高血圧ガイドラインの改訂経緯とその趣旨等	大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫	資料5
15:25	・保健指導に役立つ栄養の知識 講演「食べる順番と時間から血糖値を考える —生活習慣病の栄養指導の理論と実際—」(70分) 講師 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 教授 今井 佐恵子 先生	<座長> 大阪がん循環器病予防センター 岡田 武夫	資料6
16:35	その他 連絡事項 アンケート記入等		
17:00	終了予定		

## IV 広報活動

## 1 概 要

広報活動として、がん及び生活習慣病に関する知識の啓発・普及活動並びに、当センターの事業紹介を行っている。

保健所や府内市町村などの協力も得て、喫煙習慣や食生活などの生活習慣の改善、がんの早期発見のために、がん検診を受診することの重要性などについての知識の普及を目指している。

また、所外で開催される研修会・講演会等に職員を講師として派遣している。

## 2 がん予防キャンペーン大阪2019

令和元年9月～令和2年3月にかけて、大阪府、大阪市、大阪府医師会をはじめ公衆衛生関係団体や婦人団体など計10団体で構成する「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会（事務局：当センター）の主催の下でキャンペーンを開催した。

検診受診率の向上は、がん対策の大きな柱である。がんについての正しい知識を広く提供し、大阪府のがん検診受診率を向上させるために、府民を対象に講演会を毎年開催している。令和元年度は「増えている子宮がん・乳がん！大切な検診と適切な治療」というテーマで講演会を行う予定であったが、台風の影響で中止となった。

また、前年に引き続き、当センターのホームページにおいて、作成した教材を閲覧及びダウンロードできるようにし、大阪府内はもとより全国規模で継続したがん予防のための啓発活動を展開した。事業内容の詳細は次頁に掲載する。

## 3 マスメディア

新聞・テレビ・ラジオ等の報道機関の取材に協力し、がん検診及び循環器病予防健診に関する知識の啓発・普及に努めた。

### 〈がん予防検診部門〉

#### 【新聞・雑誌】

- ・誌 名：公衆衛生 第83巻第10号
- ・執筆 掲載者：池宮城賀恵子
- ・内 容：列島ランナー127  
「大阪府のがん検診をよりよいものに！」を目標に
- ・日 時：令和元年10月15日

## 1. 講演会

講演会を開催予定であったが、台風19号の影響により止む無く中止となった。  
後日、申込者に講演会にて配布予定であったプログラム等を送付した。

### (1) 講演会のプログラム

- テーマ 「増えている子宮がん・乳がん！大切な検診と適切な治療」
- 日時 令和元年10月12日(土)午後1時～4時（台風の影響にて中止）
- 場所 ドーンセンター
- 申込人数 279名

#### 講演

『子宮がん・乳がん検診について』

和田 公子 氏（大阪がん循環器病予防センター 副所長兼乳腺検診部長）

『子宮がんの治療について』

上浦 祥司 氏（国際がんセンター 婦人科 主任部長）

『乳がんの治療について』

菰池 佳史 氏（近畿大学病院 外科 教授）

### (2) 広報活動

- 1) 府政だよりに掲載：2019年9月
- 2) 区政だよりに掲載：2019年9月
- 3) 産経新聞に掲載：2019年9月
- 4) 大阪府ホームページへの掲載
- 5) 大阪市ホームページへの掲載
- 6) 大阪がん循環器病予防センターホームページへの掲載

### (3) 資料等の配布

- 1) 子宮がん検診冊子
- 2) 乳がん検診冊子
- 3) 乳がん自己触診カード

## 2. 啓発資料の増刷・作成

「子宮がん検診冊子」「がん検診啓発リーフレット」の改訂、  
「乳がん検診冊子」「乳がん自己触診カード」の増刷。

- 1) 子宮がん検診冊子 (改訂) (A5版、カラー、6,500部)
- 2) がん検診啓発リーフレット (改訂) (A4版、カラー、10,000部)
- 3) 乳がん検診冊子 (増刷) (A5版、カラー、5,000部)
- 4) 乳がん自己触診カード (増刷) (A6版、カラー、10,000枚)

### 3. 2019年版がん予防啓発冊子等の配布

がん予防のための正しい知識を掲載した冊子等が、一人でも多くの府民の手に届くよう、各関係機関等の協力を得て、場所や経路に応じた配布を行った。

(別表5) 9月のがん征圧月間に配布した機関および冊子枚数一覧表

	子宮がん検診冊子	乳がん検診冊子	乳がん自己触診カード
主 催 団 体	各30部 合計180部	各30部 合計180部	各30部 合計180部
大 阪 府	5部	5部	5部
大阪府医師会 (郡市区医師会64カ所)	10部と各30部 合計1,930部	10部と各30部 合計1,930部	10部と各30部 合計1,930部
大 阪 市 (保健センター24カ所)	各50部 合計1,200部	各50部 合計1,200部	各50部 合計1,200部
東大阪市、堺市 摂津市 (13カ所)	各50部 合計650部	各50部 合計650部	各50部 合計650部
府内市町村 (39カ所) 豊中市は1カ所に300部	各50部 合計2,100部	各50部 合計2,100部	各50部 合計2,100部
大阪府保健所 (10カ所)	各20部 合計200部	各20部 合計200部	各20部 合計200部
合 計	6,265部	6,265部	6,265部

### 4. その他の資料の配布状況

啓発資料の追加を希望する団体には過去のがん予防キャンペーン大阪で作成した資料も含めて配布した。

(別表6) その他の資料の配布状況(追加希望等)

資料の種類	作成年度	市 町 村	医療機関 そ の 他	計
あなたはもう受けましたか？乳がん検診を！	2012	2,405	654	3,059
乳がん自己触診カード	2012	2,750	1,042	3,792
子宮がん検診 早期発見が決めて！	2012	1,355	746	2,101
がん検診啓発リーフレット	2013	8,653	770	9,423
大腸がん検診	2013	383	358	741
肺がん検診啓発リーフレット	2016	683	460	1,143
胃がん検診啓発リーフレット	2017	383	490	873

### 5. 乳がん自己触診モデルの貸し出し

乳がんの早期発見のための府民への啓発を目的とし、乳がん自己触診についての社内啓発や乳がん検診啓発イベントで活用いただける、乳房触診モデルの無償貸出しを行った。

貸出し機関数 8 機関 貸出し回数 9 回

**【主催団体】** 大阪府／大阪市／(一社)大阪府医師会／(公財)大阪対がん協会／(一財)大阪府結核予防会  
(公財)大阪公衆衛生協会／大阪府地域婦人団体協議会／大阪市地域女性団体協議会  
(公財)大阪成人病予防協会／当センター(事務局)

**【後援団体】** 大阪府市長会／大阪府町村長会／(一社)大阪府病院協会／(一社)大阪府歯科医師会 他21団体

**【協賛団体】** 東京海上日動火災保険(株)／東京海上日動あんしん生命保険(株)／第一生命保険(株)／住友生命保険(相)

## 4 講師派遣

大阪府内市町村や医師会、企業の健康保健組合等からの依頼により、市町村や企業の健康保険組合等が主催する研修会・講演会に講師等として職員を派遣し、がん・循環器疾患に関する知識の啓発・普及に努めた（表25）。

表25 講師派遣実績表

《伊藤 壽記 所長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
設立記念講演会 特別講演 統合医療の社会モデルへの展開	日本統合医療学会 岩手県支部会	アイーナ(盛岡市)	平成31年 4月28日
これからの統合医療を考える	日本統合医療学会 熊本県支部会	くまもと県民 交流館パレア	令和元年 5月11日
これからの統合医療を考える	日本統合医療学会 和歌山県支部会	高野山清涼院	令和元年 6月8.9日
これからの統合医療を考える	日本統合医療学会 北海道・東北ブロック会議	礼文町町民活動 総合センター	令和元年 7月5～7日
統合医療における医療モデルのエビ デンス構築と社会モデルへの展開	日本統合医療学会 サマーセミナー	名古屋 クラウンホテル	令和元年 7月13.14日
座長 Key Note Lecture Advances in PD-1 blockade can- cer immuno therapy:important roles of immune metabolism	第27回統合医療機能性食 品国際学会	ホテルロイトン (札幌市)	令和元年 7月27.28日
健康と病気の概念	日本統合医療学会 認定セミナー	A P 浜松(東京)	令和元年 8月25日
がんと生活習慣病	日本統合医療学会 認定セミナー	A P 浜松(東京)	令和元年 8月25日
座長 特別講演1 パーソナルヘルスコードを利用したビッ グデータの解析による統合医療の評価	第8回エビデンスに 基づく統合医療研究会	明治東洋医学院	令和元年 9月7.8日
臓器横断的パネルディスカッション 超高齢社会における移植医療を考える	第55回日本移植学会	広島国際会議場	令和元年 10月11日
日本統合医療学会近況報告	統合医療学会 京滋・阪奈支部ヨーガ部会	ヨーガニケタン 関西支部(西宮市)	令和元年 11月3日
座長 一般口演 手術手技(胆管・膵)	第46回日本臓器保存 生物医学会	ふくしま医療機器開発 支援センター(郡山市)	令和元年 11月8.9日

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
これからの統合医療を考える	京都健康経営セミナー	ウエダ本社(京都市)	令和元年 11月12日
我が国における統合医療の未来構想実現に向けて	第23回日本統合医療学会	かごしま県民交流センター	令和元年 12月7.8日
座長 大会長講演 21世紀少子高齢社会克服モデル～いのちの島奄美に学ぶ	第23回日本統合医療学会	かごしま県民交流センター	令和元年 12月7.8日
座長 特別講演1 我が国における統合医療の推進について～統合医療に関する施策の取り組み状況～	第23回日本統合医療学会	かごしま県民交流センター	令和元年 12月7.8日
第22回近畿臓移植検討会 座長	第22回近畿臓移植検討会	大阪大学 中の島センター	令和元年 12月14日
設立記念講演会 特別講演 これからの統合医療を考える	日本統合医療学会 栃木県支部会	満能寺(宇都宮市)	令和元年 12月15日

#### 〈がん予防検診部門〉

《和田 公子 副所長兼乳腺検診部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
女性のための健活セミナー 「気になる女性の乳がん」	全国健康保険協会 大阪支部	あべのハルカス	令和元年 9月6日
女性のための健活セミナー 「気になる女性の乳がん」	全国健康保険協会 大阪支部	グランフロント大阪	令和元年 11月18日
乳がん予防講演会 乳がんにならないために、なった時に知っておきたいこと	泉大津市	泉大津市立 ベルセンター 2階研修室	令和元年 12月12日

《石田 哲士 内視鏡検診部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
消化器内視鏡医からみた胃X線 －X線所見から内視鏡を想像する－	大阪消化管撮影技術研究会	大阪がん循環器病 予防センター	令和元年 8月25日

《田中 幸子 顧問》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
超音波を活用した膵癌早期診断システム	北河内膵癌早期診断勉強会	関西医科大学	平成31年 4月6日

《田路 英作 臨床検査室長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
細胞診定期講習会 細胞診総論・子宮頸部	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会	大阪医療技術学園 専門学校2階大教室	平成31年 4月15日

《池宮城 賀恵子 調査室長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
大阪府の受診率・精度管理指標 について	中河内医療圏がん診療 ネットワーク協議会 がん検診情報部会	八尾市立病院	令和元年 11月19日

《三浦 一利 放射線技師室長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
バリウム付着不良の改善方法 について（胃角部）	大阪消化管撮影技術研究会	大阪がん循環器病 予防センター	令和元年 8月3日
バリウム付着不良の改善方法 について（胃体部）	大阪消化管撮影技術研究会	SPACEMARKET 心齋橋	令和元年 9月7日
バリウム付着不良の改善方法 について（穹窿部）	大阪消化管撮影技術研究会	大阪長堀会議室	令和2年 1月11日
病変を見つけるために必要なこと	大阪消化管撮影技術研究会	大阪長堀会議室	令和2年 1月11日

〈循環器病予防部門〉

《木山 昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
第55回日本循環器病予防学会 学術集会 一般演題（口演3）	第55回日本循環器病 予防学会	久留米シティプラザ 第4会場	令和元年 5月11日
生活習慣病予防教室	池田市	池田市保健福祉 総合センター	令和元年 7月10日
筑波大学非常勤講師 「機能・構造と病態Ⅰ」	筑波大学医学 医療エリア支援室総務	筑波大学	令和元年 10月21日
SC大阪健康づくり大学校講座 「これからの健康管理について」	一般社団法人大阪府 老人クラブ連合会	大阪府社会福祉会館	令和元年 11月1日

《岡田 武夫 予防推進部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
4年次環境医学・公衆衛生学 実習の指導	大阪大学医学部	大阪がん循環器病 予 防 セ ン タ ー	平成31年 4月11日～ 令和元年 10月17日
第1回和歌山県在宅保健師の会 研修会「特定保健指導の現状と課題 について」	和歌山県国民健康保険 団体連合会	日 赤 会 館 3 階 会 議 室	令和元年 7月10日
箕面市食生活改善推進員（ヘルスメ イト）養成講座「府民の健康状況と生 活習慣病予防」	箕面市 みどりまちづくり部	箕 面 市 総 合 保 健 福 祉 セ ン タ ー 分 館	令和元年 11月21日

《清水 悠路 健康開発部長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
地域医療協働センターフォーラム 講演「血管修復過程としての動脈硬化」	長崎大学	長 崎 大 学 医 学 部 良 順 会 館 ボードインフォール	令和元年 12月20日
大阪大学大学院留学生 (Campus Asia)講演 「Atherosclerosis :Process of endothelial repair」	大阪大学	大阪がん循環器病 予 防 セ ン タ ー	令和2年 1月8日

《久保田 康彦 循環器病予防健診部医長》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
大阪大学医学部医学科3年 「環境医学・公衆衛生学」講義	大阪大学	大阪大学吹田キャン パス医学部講義棟	平成31年 4月26日
第55回日本循環器病予防学会学術 集会 教育セミナー	第55回日本循環器病予防 学会	久留米シティプラザ	令和元年 5月11日
社会医学系専門医研修プログラム 会議	大阪大学大学院医学系 研究科公衆衛生学	大 阪 大 学 大 学 院 医 学 系 研 究 科 公 衆 衛 生 学	令和元年 5月27日 12月11日

《本田 瑛子 保健師副主査》

講演・研修等内容	主催者	会場	開催日
石川県立看護大学 進路支援セミナー	公立大学法人 石川県立看護大学	石川県立 看護大学講堂	令和元年 7月12日
健康キャンパス・プロジェクト 生活習慣病及びがんに関する講演	大阪府健康医療部 健康推進室	桃山学院大学 和泉キャンパス	令和元年 10月17日
泉州ブロック保健所合同事業 「禁煙指導者研修会」	大阪府和泉保健所	大阪府和泉保健所	令和元年 11月20日
健康キャンパス・プロジェクト 喫煙及び受動喫煙に関する講演	大阪府健康医療部 健康推進室	大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス	令和元年 12月3日
「特定保健指導に関する研修会」	八尾市	八尾市保健センター	令和元年 12月12日
禁煙推進講演「目指せ！喫煙率ゼロ！楽に、確実に、あまりお金をかけずに禁煙しましょう！」	日鉄鋼板株式会社 西日本製造所	日鉄鋼板株式会社 西日本製造所 第三事務所 大ホール	令和2年 1月30日 2月7日

## 5 その他

### パンフレットの作成と配布

当センターの事業内容の紹介とがんの知識の啓発普及を図るために、当センターで作成したパンフレット類を希望する市町村や職域団体などに配布している。また、大阪府が発行しているパンフレットに当センター職員医師が委員として作成に携わっている。

- ◇大阪がん循環器病予防センター  
(センター紹介)
- ◇検診のご案内
- ◇自己検診で早期発見 (乳がん自己検診法)
- ◇女性と健康小読本 (大阪府発行)
- ◇糖尿病対策リーフレット
- ◇一般向け・事業者向けリーフレット等  
(健康づくりに関する啓発資材)



## V 受診者満足度調査

## 1 概 要

大阪がん循環器病予防センターでは、平成21年度から、受診者を対象としてアンケート方式による受診者満足度調査を実施してきた。

アンケートは施設と検診車で受診者、それぞれ500人を目処に自己記入方式により実施してきたが、平成29年度からは施設、検診車隔年ごとに実施することにした。

令和元年度の実施期間及び回答者数は次のとおりである。

・施設 10月15日から10月23日まで 501人

### (1) 年齢

「40歳代」が31.1%と最も多く、次いで「50歳代」28.1%、「60歳代」17.4%の順であった。

### (2) 性別

「女性」54.7%、「男性」45.3%の割合で、男性、女性の割合が均衡している。

### (3) 受診項目

「大腸がん検診」47.7%、「胃がん検診」45.3%、「肺がん検診」41.3%、「定期健康診断・人間ドック・循環器健診」35.1%、「乳がん検診」33.5%、「子宮がん検診」26.1%の割合であった。

### (4) 受診した理由（複数回答）

「毎年受診」44.1%、次いで「会社等の指定」が42.5%、「スタッフの対応が良い」11.8%、「アクセスが良い」11.0%、「評判が良いから」9.4%、「検査精度が高いから」8.6%、「精検同時実施」8.4%の順となっている。

### (5) 検診スタッフの言動・態度

「満足」89.1%、「ほぼ満足」5.7%で併せて94.8%を占め、「普通」4.6%、「やや不満」0.6%であった。「満足」と「ほぼ満足」を合せると前回に比べ0.6ポイント減少した。（表26）

### (6) 診察、健診等の十分な説明

「満足」90.3%と前回に比べ0.5ポイント減少したが、「ほぼ満足」6.5%で合わせて96.8%が満足しており、前回と同様の結果となった。

なお、「普通」2.8%、「やや不満」0.4%、「不満」はなしであった。（表27）

### (7) 健診にかかった時間

「思ったより早く受診できた」45.0%、「普通」44.6%、「思った以上に時間がかかった」10.4%となっている。

### (8) 次回も当センターを受診したいと思うか

「はい」と回答した受診者が92.6%、「いいえ」0.4%、「わからない」7.0%となっており、ほとんどの受診者が次回も当センターで受診したいと思っている。

### (9) センターに対する要望、改善点について

自由記載による当センターに対する要望や改善点についての質問では、全体で105件の意見があり、その内「感謝や満足、励まし」が42件で最も多く、全体の40.0%であった。

次いで「対応」に関する意見が多く13件12.4%であった。「意見・提案・要望」に対する意見が12件11.4%で、「検査結果の詳細をもっとわかりやすくしてほしい」「総合(最後)のあと、どうするか説明がほしい。」などの意見があった。

表26 検診スタッフの言動・態度に対する満足度

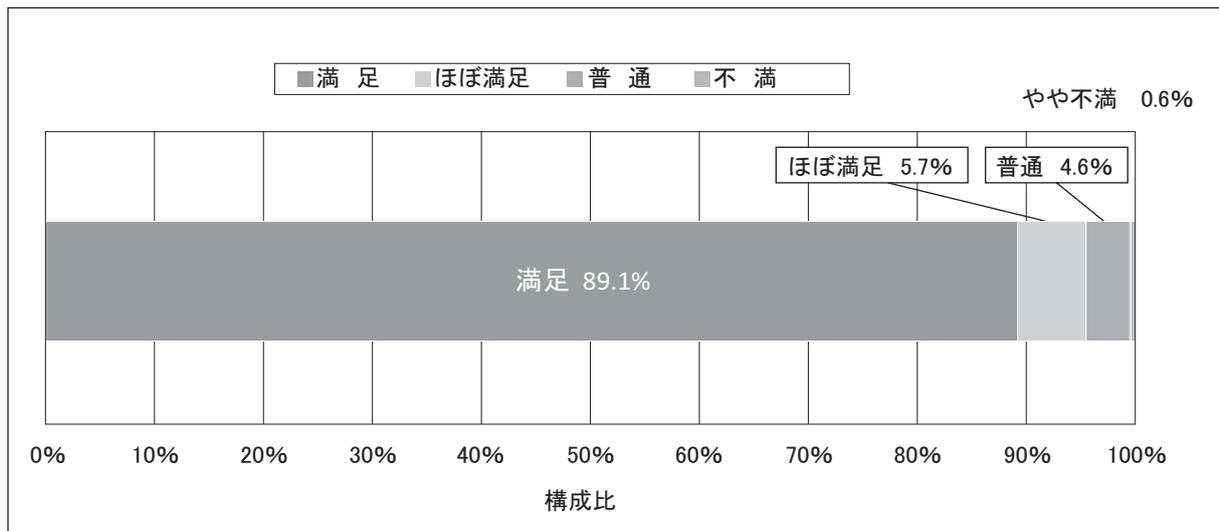
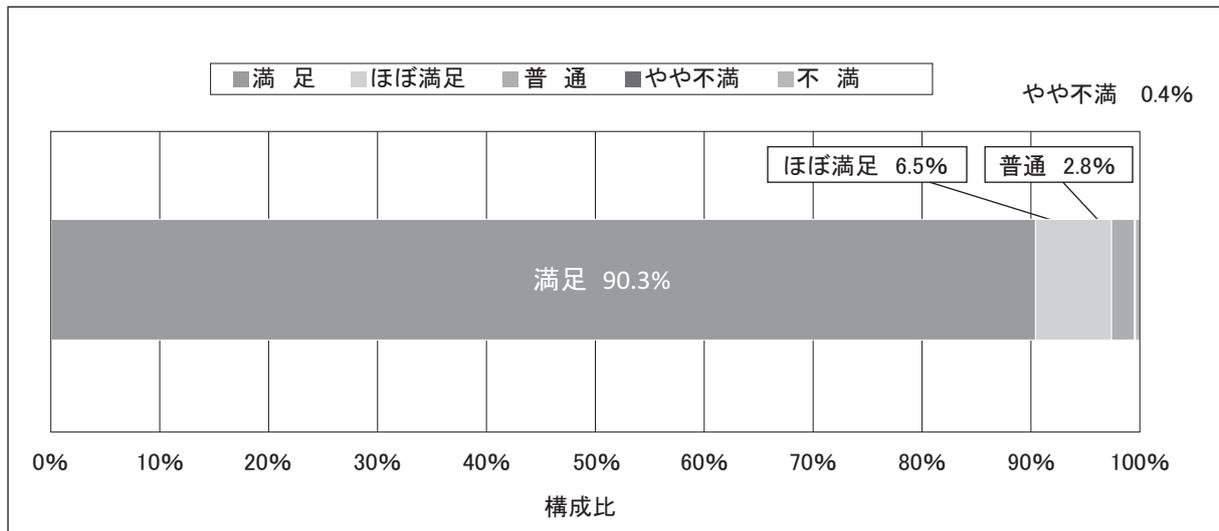


表27 診察、健診等の十分な説明に対する満足度



## 2 アンケート結果についての対応

本アンケートの結果を各所属に配布し、アンケートに寄せられた要望や改善点等の対応について、意見の提出を求めた。各所属では、まとめた意見をもとに順次改善のための対応を行うなど、アンケート結果を踏まえ、できるだけ多くの受診者の方に満足していただけるよう、今後ともセンター全職員「おもてなし」の心で対応させていただきたい。



## VI 研究及び研究支援

## 1 概 要

当センターでは、日常の検診業務、広報活動の他、国などの機関からの研究助成を受けて、がん及び循環器病の予防に向けた研究活動を行っている。職員は、専門領域での新技術の開発研究や検診の実態調査、疾患予防のための知識の普及活動にも取り組み、多くの関連学会・研究会の役員として活躍している。国など

の機関からの研究助成金、学会・研究会などの役員・委員、学会発表、学術講演、研究論文、著書などを以下に掲載する。

また、がん予防に関する研究やがん検診の普及活動などを行っている大阪府内の個人や団体を対象とした研究助成金の交付も行っている。

## 2 国などの研究班への参加

研 究 費 名	研 究 班 名	参 加 者
厚生労働科学研究費補助金	第1回 脾臓・腎臓移植の基準等に関する作業班	伊藤 壽 記 (研究分担者)
日本医療研究開発機構 (AMED) 革新的がん医療実用化研究事業	「低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究」班 (佐川班)	伊藤 壽 記 (研究分担者)
厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)	生涯にわたる循環器疾患の個人リスクおよび集団のリスク評価ツールの開発を目的とした大規模コホート統合研究	木山 昌 彦 (研究分担者)
科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 A	長期コホート研究による細菌・ウイルス感染の認知症発症への関与の疫学的解明	木山 昌 彦 (研究分担者)
科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 B	要介護認知症の介入可能な促進・抑制因子解明のための大規模コホート共同研究	木山 昌 彦 (研究分担者)
	脳卒中発症に及ぼす身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷についての疫学研究	木山 昌 彦 岡田 武 夫 (研究分担者)
	個人内血糖変動モニタリングによる諸指標と糖尿病発症に関する地域コホート研究	羽山 実 奈 (研究分担者)

研 究 費 名	研 究 班 名	参 加 者
科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 C	循環器疾患並びに認知症の発症予防に資する 日本食の特徴の探索：長期縦断研究	木 山 昌 彦 (研究代表者)
	早期動脈硬化の諸指標による循環器疾患発症 予測に関するコホート研究	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	大腸がん検診における組織型検診をめざした 受診行動サポートシステムの構築	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	レセプトデータに基づく循環器疾患診断アル ゴリズムの開発と妥当性検証	久 保 田 康 彦 (研究分担者)
科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 挑戦的研究(萌芽)	心理的健康と腸内細菌叢の相互連関につい ての疫学研究	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	中年期からのサルコペニア早期予防を目的 とした長期縦断疫学研究	久 保 田 康 彦 (研究分担者)

### 3 各種役員・委員

#### 【伊藤壽記 所長】

- ・日本統合医療学会 理事長
- 同 業務執行理事
- 同 エビデンス創生委員会 委員長
- ・統合医療機能性食品国際学会（ICNIM） 会長
- ・エビデンスに基づく統合医療（eBIM）研究会 理事長
- ・日本補完代替医療学会 理事
- 同 学会誌編集 委員
- ・日本機能性食品医学学会 理事
- ・日本移植学会 編集委員会 委員
- ・日本組織移植学会 理事
- ・近畿臓移植検討会 代表世話人
- ・日本臓器保存生物医学会 監事
- 同 理事
- ・日本臓器移植ネットワーク  
メディカルコンサルタント
- ・日本膵・膵島移植研究会 世話人
- ・日本制癌剤適応研究会 世話人
- ・日本胆膵生理機能研究会 世話人
- ・癌の低侵襲・集学的治療研究会 世話人
- ・関西サイコオンコロジー研究会 世話人
- ・日本肝胆膵外科学会  
肝膵移植外科関連委員会 委員
- ・NPO 奄美機能性食品開発研究会 理事
- ・臨床ゲノム医療学会 理事
- ・膵がん治療を考える会 監事
- ・21世紀の医療を考える会 世話人
- ・若手膵臓外科医を育てる会 代表世話人
- ・関西サイエンス・フォーラム 理事

#### 【黒田知純 顧問】

- ・腹部放射線学会 名誉会員

#### 【田中幸子 顧問】

- ・日本人間ドック学会 理事
- ・日本超音波医学会 名誉会員
- ・日本消化器がん検診学会 名誉会員
- ・日本がん検診診断学会 功労会員

#### 〈がん予防検診部門〉

#### 【和田公子 副所長兼 乳腺検診部長】

- ・豊中市乳がん検診精度管理委員会 委員
- ・大阪府がん対策推進委員会 委員

#### 【石田哲士 内視鏡検診部長】

- ・東大阪市胃がん検診運営委員会 外部委員
- ・吹田市胃内視鏡検診準備委員会 外部委員
- ・富田林市胃内視鏡検診運営委員会 外部委員

#### 【山崎秀男 特任部長】

- ・日本消化器がん検診学会近畿支部 幹事

#### 【田路英作 臨床検査室長】

- ・日本臨床細胞学会 評議員
- 同 渉外・広報委員会 委員
- 同 臨床試験ワーキンググループ 委員
- 同 細胞検査士がん検診委員会 委員長
- ・日本臨床細胞学会近畿連合会 理事
- ・大阪府臨床細胞学会 副会長
- ・大阪府細胞検査士会 会長
- ・大阪府医師会細胞診管理委員会  
ワーキンググループ 委員

#### 【前田智聡 看護長】

- ・近畿消化器内視鏡技師会 理事

#### 【池宮城賀恵子 調査室長】

- ・日本消化器がん検診学会  
近畿支部保健衛生研修委員会 運営委員
- 同 検診従事者委員
- ・豊中市乳がん検診精度管理委員会 委員

#### 【三浦一利 診療放射線技師室長】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 幹事
- 同 編集委員
- ・日本消化器画像診断情報研究会 世話人
- ・日本消化器がん検診学会  
近畿支部放射線研修会委員会 委員

#### 【久保文裕 診療放射線技師副主査】

- ・日本消化器がん検診学会  
近畿支部放射線研修会委員会 委員

#### 【末廣彬人 診療放射線技師】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 編集委員

#### 【杉本安莉 臨床検査室技師】

- ・大阪府細胞検査士会 幹事

**〈循環器病予防部門〉**

**【木山昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長】**

- ・ 日本循環器病予防学会 評議員
- ・ 日本疫学会 代議員
- ・ 日本公衆衛生学会 評議員
- ・ 日本高血圧学会 委 員
- ・ 大阪府食育推進計画評価審議会 委 員
- ・ 八尾市衛生問題対策審議会 委 員
- 同 専門部会 委 員
- ・ 八尾市健康日本21八尾計画  
    及び食育推進計画審議会 委 員
- ・ 大阪府健康アワード 審査委員
- ・ 井川健康づくり管理指導員会 委 員
- ・ 泉佐野市保健対策推進協議会 委 員
- ・ 泉佐野市健康増進計画・  
    食育推進計画策定委員会 委 員

**【岡田武夫 予防推進部長】**

- ・ 日本公衆衛生学会 評議員
- ・ 日本疫学会 代議員

**【清水悠路 健康開発部長】**

- ・ 日本生理人類学会 評議員
- ・ 日本疫学会 代議員
- ・ 日本公衆衛生学会 評議員

**【久保田康彦 循環器病予防健診部医長】**

- ・ 日本疫学会 代議員

**【本田瑛子 保健師副主査】**

- ・ 大阪府国民健康保険団体連合会  
    保健事業支援評価委員会 委 員

## 4 学会及び学術集会主催

1. 会 名： 大阪府細胞検査士会 第42回学術研修会  
会 期： 令和元年7月6日  
会 場： 大阪国際がんセンター 1階大ホール  
実施委員長： 田路英作
2. 会 名： 大阪府細胞検査士会 令和元年ワークショップ  
会 期： 令和元年10月14日  
会 場： 大阪医科大学附属病院 講義実習棟3F 大実習室  
実施委員長： 田路英作

## 5 学会発表及び学術講演

### 〈所長〉

1. ワークショップ「膵・膵島移植における残された課題」：脳死膵移植における周術期グラフと喪失の回避に向けたリスク因子の検討  
第119回日本外科学会；2019年4月 大阪  
浅岡忠史，伊藤壽記
2. 当院における脳死膵移植術後のグラフト十二指腸関連合併症の検討  
第55回日本移植学会；2019年10月 広島  
富丸慶史，江口英利，伊藤壽記，浅岡忠史，岩上佳史，秋田裕史，野田剛広，後藤邦仁，小林省吾，森 正樹，土岐祐一郎

### 〈がん予防検診部門〉

1. パネルディスカッション“新規超音波技術を用いた膵実質の評価”  
造影USによる膵癌の診断：造影CTとの対比  
日本超音波医学会第60回学術集会；2019年5月 東京  
田中幸子，福田順子，仲尾美穂，中尾恵子，岡垣すえつみ，蘆田玲子，井岡達也，片山和宏，池澤賢治，大川和良
2. ワークショップ“膵疾患に対する造影超音波検査の有用性と今後の展開”  
超音波で検出された膵内低エコー腫瘤像(≤2cm)の鑑別における造影USと造影CTの診断精度の比較  
第50回日本膵臓学会大会；2019年7月 東京  
田中幸子，福田順子，仲尾美穂，中尾恵子，岡垣すえつみ，蘆田玲子，井岡達也，片山和宏，池澤賢治，大川和良
3. 当センターにおける大腸CT撮影の実際  
第48回日本消化器がん検診学会近畿地方会；2019年8月 京都  
蓮尾智之，三浦一利，久保文裕，藤田陽蔵，末廣彬人，山口健人，池宮城光成，稲葉有美江，楠本美千代，房永佳那，桑野忠雄，福本弘幸，伊藤壽記
4. ポジショニング評価に関する検討  
第29回日本乳癌検診学会学術総会；2019年11月 福井  
楠本美千代，稲葉有美江，辻本百合恵，房永佳那，三浦一利，相川隆夫，和田公子

〈循環器病予防部門〉

1. 怒りと関連した脳卒中発症リスクの増加は家族や友人からのサポートで修飾される：CIRCS 研究  
第56回日本循環器病予防学会学術集会；2019年5月 福岡  
手塚一秀，久保田康彦，大平哲也，清水悠路，今野弘規，岡田武夫，木山昌彦，磯 博康
2. 糖尿病各種危険因子の人口寄与割合の推計—大阪府、秋田県の一般住民コホート研究より—  
第55回日本循環器病予防学会学術集会；2019年5月 福岡  
高田 碧，久保田康彦，手塚一秀，清水悠路，岡田武夫，木山昌彦，今野弘規，磯 博康
3. 職場の対人関係でのストレスと食習慣との関連の検討：大阪府下勤務者における横断研究  
第92回日本産業衛生学会；2019年5月 愛知  
手塚一秀，久保田康彦，清水悠路，岡田武夫，木山昌彦
4. PREFERRED FACTIONAL POTENTIAL OF ATHEROSCLEROSIS  
14th International Congress of Physiological Anthropology；2019年9月 シンガポール  
Yuji Shimizu, Shin-Ya Kawashiri, Kairi Kiyoura, Jun Koyamatsu, Shoichi Fukui, Mami Tamai,  
Kenichi Nobusue, Hiroto Yamanashi, Yasuhiro Nagata, Takahiro Maeda
5. 住民健診における糖尿病と関連する因子について  
第78回日本公衆衛生学会総会；2019年10月 高知  
岡田武夫，村木 功，羽山実奈，清水悠路，手塚一秀，今野弘規，大平哲也，北村明彦，佐藤眞一，  
木山昌彦
6. 造血能を考慮した動脈硬化と高血圧の関係  
第78回日本公衆衛生学会総会；2019年10月 高知  
清水悠路，小屋松 淳，山梨啓友，玉井慎美，有馬和彦，青柳 潔，前田隆浩
7. TV 視聴は主に肥満を介して心房細動リスクを上昇させる  
第78回日本公衆衛生学会総会；2019年10月 高知  
久保田康彦
8. 怒りと関連した循環器疾患リスクの増加は定年後の就労状況で修飾される：CIRCS 研究  
第78回日本公衆衛生学会総会；2019年10月 高知  
手塚一秀，久保田康彦，大平哲也，高田 碧，清水悠路，今野弘規，岡田武夫，木山昌彦，磯 博康
9. 疾病の新規診断が就労状況へ与える影響  
第78回日本公衆衛生学会総会；2019年10月 高知  
高田 碧
10. 壮・中年期男性の血圧レベルに関連する食事因子の検討  
第78回日本公衆衛生学会総会；2019年10月 高知  
宮崎純子，伯井朋子，石丸佳奈，本田瑛子，久保田康彦，岡田武夫，木山昌彦
11. 動脈硬化関連一塩基多型(rs3782886)と低身長の関係  
第80回日本生理人類学会；2019年10月 愛知  
清水悠路，有馬和彦，野口優子，小屋松 淳，山梨啓友，川尻真也，前田隆浩
12. 職場の対人関係でのストレスと肥満との関連・仕事の量的負担での群別検討  
第59回近畿産業衛生学会；2019年11月 京都  
手塚一秀，久保田康彦，高田 碧，清水悠路，岡田武夫，木山昌彦

13. Forty-year trends in population attributable fractions of major risk factors for cardiovascular disease in Japan, 1975–2014: the Circulatory Risk in Communities Study  
American Heart Association's EPI/Lifestyle 2020 Scientific Sessions. ; 2020年3月 アメリカ  
Midori Takada, Yasuhiko Kubota, Hironori Imano, Kazumasa Yamagishi, Mitsumasa Umesawa,  
Yuji Shimizu, Tomoko Sankai, Takeo Okada, Masahiko Kiyama, Hiroyasu Iso
14. 血管修復能を考慮した握力と高血圧の関係  
第90回日本衛生学会総会 ; 2020年3月 コロナウイルス対策の為、誌上発表  
清水悠路, 小屋松 淳, 山梨啓友, 福井翔一, 近藤英明, 前田隆浩

## 6 研究論文・著書

### 〈所長〉

1. Immune adjuvant therapy using bacillus Calmette–Guerin cell wall skeleton (BCG–CWS) in advanced malignancies: A phase I study of safety and immuno–genicity assessments.  
J Medicine 2019 ; 98 (33) : e16771  
S. Nishida, A. Tsuboi, A. Tanamura, T. Ito, H. Nakajima, T. Shirakata, S. Morimoto, F. Fujiki, N. Hosen, Y. Oji, A. Kumanogoh, I. Kawase, Y. Oka, I. Azuma, S. Morita, H. Sugiyama.
2. Short-term meditation modulates EEG activity in subjects with post-traumatic residual disabilities.  
Front Hum Neurosci 2019 ; 4 : 30–36  
M. Hata, H. Hayashi, R. Ishii, L. Canuet, RD. Pascual-Marqui, Y. Aoki, S. Ikeda, T. Sakamoto, M. Iwata, K. Kimura, M. Iwase, M. Ikeda, T. Ito.
3. Effective dose display system in gastric cancer X-ray screening.  
J Med Physics 2019 ; 44(1) : 35–38  
K. Yamamoto, N. Fujiwara, M. Kiyama, Y. Takeda, T. Kuwano, T. Katsuda, M. Azuma, T. Ito.
4. Predictive factors of posttransplant glucose intolerance in Japanese patients with type I diabetes after pancreas transplantation.  
Endocrine J 2019 ; 66(12) : 1101–1112  
Y. Takahi, K. Miyashita, M. Takahara, N. Katakami, A. Kuroda, T. Matsuoka, M. Matsuhisa, T. Ito, I. Shimomura.
5. 著明な QOL の改善が得られた、遺伝性膵炎に対する自家膵島移植の本邦第1例  
移植 2019 ; 54(4月5日) : 217–222  
富丸慶人, 江口英利, 伊藤壽記, 野口洋文, 宮下和幸, 川本弘一, 岩上佳史, 秋田裕史, 野田剛広, 後藤邦仁, 小林省吾, 永野浩昭, 森正樹, 土岐祐一郎
6. 本邦膵移植症例登録報告 (2019)  
移植 2019 ; 54(2月3日) : 111–119  
浅岡忠史, 伊藤壽記, 剣持 敬

〈がん予防検診部門〉

1. Frequency and significance of epidermal growth factor receptor mutations detected by PCR methods in patients with non-small cell lung cancer  
ONCOLOGY LETTER 2019 ; 17 : 5125-5131  
EIJI NAKAJIMA, MICHIO SUGITA, NORIHIKO IKEDA, and WILBUR FRANKLIN
2. 肺がんの早期診断と人間ドック超音波検査  
人間ドック 2019 ; 33(5) : 668-674  
田中幸子
3. 人間ドックにおけるがん登録—2013年度の成績  
人間ドック 2019 ; 33(6) : 714-729  
三原修一, 石坂裕子, 田中幸子, 井上和彦, 杉森裕樹, 祖父江友孝, 岩男 泰, 伊藤千賀子 (日本人間ドック学会がん登録委員会)

〈循環器病予防部門〉

1. Urinary 8-Hydroxy-2'-Deoxyguanosine Levels and Cardiovascular Disease Incidence in Japan.  
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 2020 Epub ahead of print  
Nagao M, Kobashi G, Umesawa M, Cui R, Yamagishi K, Imano H, Okada T, Kiyama M, Kitamura A, Sairenchi T, Haruyama Y, Ohira T, Iso H; CIRCS Investigators.
2. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated with the Frequency of Laughter: Longitudinal Study of Japanese General Population: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).  
Journal of Epidemiology 2020 Epub ahead of print  
Ikeda S, Ikeda A, Yamagishi K, Hori M, Kubo S, Sata M, Okada C, Umesawa M, Sankai T, Kitamura A, Kiyama M, Ohira T, Tanigawa T, Iso H.
3. Cardiovascular reactivity to acute stress associated with sickness absence among Japanese men and women: A prospective study.  
Brain and behavior. 2020 Epub ahead of print  
Hirokawa K, Ohira T, Kajiura M, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Iso H.
4. Moderate Levels of N-Terminal Pro-B-Type Natriuretic Peptide is Associated with Increased Risks of Total and Ischemic Strokes among Japanese: The Circulatory Risk in Communities Study.  
Journal of atherosclerosis and thrombosis. 2020 Epub ahead of print  
Ebihara K, Yamagishi K, Umesawa M, Muraki I, Cui R, Imano H, Kubota Y, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Ohira T, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators.
5. Anger Expression and the Risk of Cardiovascular Disease Among Urban and Rural Japanese Residents: The Circulatory Risk in Communities Study.  
Psychosomatic medicine. 2020 ; 82(2) : 215-223  
Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Shimizu Y, Yamagishi K, Umesawa M, Sankai T, Imano H, Okada T, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators.
6. Effects of Low-Dose Therapist-Led Self-Exercise Education on the Management of Chronic Low Back Pain: Protocol for a Community-Based, Randomized, 6-Month Parallel-Group Study.  
Spine surgery and related research. 2019 ; 3(4) : 377-384  
Jinnouchi H, Matsudaira K, Kitamura A, Kakihana H, Oka H, Hayama-Terada M, Muraki I, Honda E, Imano H, Yamagishi K, Ohira T, Okada T, Kiyama M, Iso H.

7. Green tea consumption and risk of hematologic neoplasms: the Japan Collaborative Cohort Study for Evaluation of Cancer Risk (JACC Study).  
Cancer Causes & Control 2019 ; 30(11) : 1223-1230  
Takada M, Yamagishi K, Iso H, Tamakoshi A.
  
8. Circulating CD34+ cells and active arterial wall thickening among elderly men: A prospective study  
Scientific Report 2020  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Kiyoura K, Koyamatsu J, Fukui S, Tamai M, Nobusue K, Yamashi H, Nagata Y, Maeda T
  
9. Insulin-Like Growth Factor-1 (IGF-1) and reduced tongue pressure in relation to atherosclerosis among community-dwelling elderly Japanese men: A cross-sectional study  
Dysphagia 2020  
Shimizu Y, Yamanashi H, Noguchi Y, Koyamatsu J, Higashi M, Fukui S, Kawashiri SY, Arima K, Takamura N, Maeda T
  
10. The role of mental disease on the association between multimorbidity and medical expenditure  
Family Practice 2020  
Yamanashi H, Nobusue K, Nonaka F, Honda Y, Shimizu Y, Akabame S, Sugimoto T, Nagata Y, Maeda T
  
11. Anti-thyroid peroxidase antibody and thyroid cysts among the general Japanese population: a cross-sectional study  
Environmental Health and Preventive Medicine 2020  
Shimizu Y, Nabeshima-Kimura Y, Kawashiri SY, Noguchi Y, Nagata Y, Maeda T, Hayashida N
  
12. Association between human T cell leukemia virus type-1 (HTLV-1) infection and advanced periodontitis in relation to atherosclerosis among elderly Japanese: a cross-sectional study  
Environmental Health and Preventive Medicine 2019  
Shimizu Y, Yamanashi H, Kitamura M, Furugen R, Iwasaki T, Fukuda H, Hayashida H, Kawasaki K, Kiyoura K, Kawashiri SY, Kawakami A, Maeda T
  
13. Gamma-glutamyl transpeptidase ( $\gamma$ -GTP) has an ambivalent association with hypertension and atherosclerosis among elderly Japanese men: a cross-sectional study  
Environmental Health and Preventive Medicine 2019  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Kiyoura K, Nobusue K, Yamanashi H, Nagata Y, Maeda T
  
14. Reticulocyte levels have an ambivalent association with hypertension and atherosclerosis in the elderly: a cross-sectional study  
Clinical Interventions in Aging 2019 ; 8(14) : 849-857  
Shimizu Y, Kawashiri SY, Yamanashi H, Koyamatsu J, Fukui S, Kondo H, Tamai M, Nakamichi S, Maeda T
  
15. Association between human T cell leukemia virus 1 (HTLV-1) infection and advanced periodontitis in relation to hematopoietic activity among elderly participants: a cross-sectional study  
Environmental Health and Preventive Medicine 2019  
Shimizu Y, Yamanashi H, Kitamura M, Furugen R, Iwasaki T, Fukuda H, Hayashida H, Kawasaki K, Kiyoura K, Kawashiri SY, Kawakami A, Maeda T

16. Short stature-related single-nucleotide polymorphism (SNP) activates endothelial repair activity in elderly Japanese  
Environmental Health and Preventive Medicine 2019  
Shimizu Y, Yamanashi H, Noguchi Y, Koyamatsu J, Nagayoshi M, Kiyoura K, Fukui S, Tamai M, Kawashiri SY, Arima K, Maeda T
17. Cardio-ankle vascular index and circulating CD34-positive cell levels as indicators of endothelial repair activity in older Japanese men  
Geriatrics & Gerontology International 2019 ;2019(19) : 567-652  
Shimizu Y, Yamanashi H, Noguchi Y, Koyamatsu J, Nagayoshi M, Kiyoura K, Fukui S, Tamai M, Kawashiri SY, Kondo H, Maeda T
18. Association between chronic kidney disease and carotid intima-media thickness in relation to circulating CD34-positive cell count among community-dwelling elderly Japanese men  
Atherosclerosis 2019 ;283 : 85-91  
Shimizu Y, Yamanashi H, Noguchi Y, Koyamatsu J, Nagayoshi M, Kiyoura K, Tamai M, Kawashiri SY, Kondo H, Maeda T
19. Consumptive reduction following increased production of CD34-positive cells and carotid intima-media thickness in non-hypertensive elderly Japanese men  
Cogent Medicine 2019  
Shimizu Y, Yamanashi H, Noguchi Y, Koyamatsu J, Kiyoura K, Kawashiri SY, Maeda T

## 7 受賞及び表彰

### 〈循環器病予防部門〉

1. 怒りと関連した脳卒中発症リスクの増加は家族や友人からのサポートで修飾される：CIRCS 研究  
Young Investigator's Award 最優秀賞  
第9回日本循環器病予防学会・第55回日本循環器病予防学会学術集会；2019年5月11日  
手塚一秀，久保田康彦，大平哲也，清水悠路，今野弘規，岡田武夫，木山昌彦，磯博康
2. 怒りと関連した循環器疾患リスクの増加は定年後の就労状況で修飾される：CIRCS 研究  
口演賞  
第78回日本公衆衛生学会総会；2019年10月24日  
手塚一秀，久保田康彦，大平哲也，高田 碧，清水悠路，今野弘規，岡田武夫，木山昌彦，磯博康
3. 職場の対人関係でのストレスと肥満との関連：仕事の量的負担での群別検討  
優秀演題賞  
第59回近畿産業衛生学会；2019年11月9日  
手塚一秀，久保田康彦，高田 碧，清水悠路，岡田武夫，木山昌彦

## 8 大阪がん予防対策基金

当センターでは、がん予防に関する研究・研修・啓発の促進を目的に、各界各層からのご寄附・浄財により「大阪がん予防対策基金」を設けている。

令和元年度寄附件数は2件、寄附金額は12,000円で設立当初よりのご寄附額は累計で200,457,356円となっている。この基金による事業の一環として、がん予防対策基金研究助成金制度を設け、医療従事者等のがん関連の調査研究に対して助成を行っているが、元年度事業として2件の研究に助成を行った。

### (1) 大阪がん予防対策基金寄附状況

令和元年度対策基金寄附内訳

・10万円以上	0件	0円
・10万円未満	2件	12,000円
元年度寄附金合計	2件	12,000円
設立当初よりの寄附金累計額		200,457,356円

### (2) 大阪がん予防対策基金研究助成

<受贈者> 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター  
病理・細胞診断科 中村 ハルミ

<研究内容> 喫煙とDNAメチル化異常を介した肺がん発生の免疫組織学的研究

<受贈者> 大阪がん循環器病予防センター 看護室 受診支援グループ  
代表：浅井 恵美子

<研究内容> がん検診の受診支援につながる情報提供とその評価

### (3) 大阪がん予防対策基金研究助成交付者一覧表

年度	交付者名（団体・代表者名）	研究課題
昭和62年度	大阪府医師会臨床検査センター	肺癌集団検診のための集細胞喀痰細胞診の開発
	大阪がん予防検診センター	がんの一次予防のための新しい健康教育システムの開発
	大阪がん予防検診センター 河島輝明	胃がんの進展速度に関する研究
昭和63年度	大東保健所 柳尚夫	がんを中心とした成人病の一次予防のための健康教育の地域での実践的研究
	八尾保健所 伊藤裕康	保健所におけるがん死亡データの活用方法の開発
	吹田市立保健センター	特定年齢(40歳・50歳)を対象とした総合健康診査の実施
	美原町健康推進室 石澤靖子	美原町における包括的・効果的がん予防活動のあり方
	城東区医師会	医師会としての大腸がん集団検診への積極的取り組み

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
昭和63年度	藤井寺市医師会	集団検診における悪性腫瘍の発見及び頻度
	大阪市保健指導研究会	乳がん自己検診法の指導の評価
	がん予防研究会	肺がん予防のための禁煙教室の開催
	大阪がん予防検診センター 検査部	細胞診による子宮体癌検診のための新しい 内膜細胞採取器具の開発
	大阪がん予防検診センター 内視鏡検診部 岡野 彌高	胃がん検診における内視鏡第1次精検の新しい 試み
平成1年度	枚方保健所	生活習慣における発がんのリスクファクターに ついて
	大阪府母子保健総合医療センター	乳児神経芽腫スクリーニングにおける要精検カ ットオフ値の検討と設定
	門真市役所	乳がん検診における自己検診法の普及に ついて
	箕面市医療保健センター	箕面市における各種がん検診評価に関する 研究
	近畿大学医学部 第一外科	乳癌集団検診でのマンモグラフィと超音波の有 用性の比較検討
	大阪市環境保健局保健部 保健管理課	胃部X線集団検診における方向表示器の活用 について
	大阪市環境保健局 健康指導課	超音波検診による乳がん集団検診について
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	子宮体癌診断精度向上に関する研究
	大阪がん予防検診センター 看護婦グループ	胃がん検診要精検者に対する内視鏡のオリエン テーションVTR作成とその活用効果について
	大阪がん予防検診センター 診療放射線グループ	レントゲン検診部門管理システムのネット ワーク化について
平成2年度	柏原中小企業健康問題研究会	中小企業における禁煙、肥満教育
	寝屋川保健所 堀毛 輝江	禁煙・飲酒に関する地域健康教育ネットワー クシステムの研究 —酒害対策の発展を踏まえて—
	東大阪市保健衛生部	乳がん予防のための健康教育のあり方
	寝屋川市学校保健教育研究会	寝屋川市における小中学生の喫煙状況の実態 調査と喫煙防止の指導のあり方の研究
	大阪市住之江区医師会	住之江区における大腸がん集団検診
	岸和田徳州会病院 消化器内科	大腸癌の早期発見及び内視鏡的治療
	大阪市保健衛生検査所	集団検診による神経芽細胞腫の特性と疫学的 事項に関する研究
	大阪がん予防検診センター 三木 信夫	消化器総合検診(胃・大腸同時集検)の検討
	大阪がん予防検診センター 宮本真由美	集検発見胃がん患者の予後の分析

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成2年度	大阪がん予防検診センター 田路英作	子宮頸部上皮細胞のHPV (Human Papilloma Virus)感染様式の検討とその臨床応用に関する研究
	大阪がん予防検診センター 布引 治	子宮体癌スクリーニングに適した新しい標本作製方法の試み
平成3年度	古妻クリニック 古妻嘉一	関西新空港による生活環境の変化に基づく乳がんの一次予防に関する研究
	近畿大学医学部 光林 茂	ポリメラーゼαによる膀胱腫瘍増殖能の検討
	大阪府立公衆衛生研究所 中村清一	環境変異原を不活性化する生体成分について
	大阪府立公衆衛生研究所 原 嘉宏	子宮頸癌の危険因子に関する研究
	大阪市交通局 健康管理室	がん検診による早期発見の可能性と限界について
	大阪市保健指導研究会	子宮がん(頸部)検診でがんと診断された者の受診態様からみた検診の有り方について
	大阪がん予防検診センター 綿谷正弘	乳癌一次検診へのマンモグラフィの導入—肥満女性に対するマンモグラフィの検討から—
	大阪がん予防検診センター 山本倫子	HPV感染の指標となる細胞診パターンの確認
	大阪がん予防検診センター 検査部	Papanicolaou 染色標本における細胞移動の試み
	大阪がん予防検診センター 桑野忠雄	胃集検におけるX線照射線量低減のための体側フィルタの製作
	大阪がん予防検診センター 安達正子	乳房自己検診法(BSE)指導方法についての検討
	大阪がん予防検診センター 横溝美穂	妊婦とその家族を対象とした禁煙指導の有効性評価に関する研究
	平成4年度	大阪中央病院産婦人科 前田隆義
泉佐野保健所		受動喫煙の灰中ニコチンによる定量的評価と禁煙・分煙
八尾保健所		胸部間接撮影における描出能と有用性の検討
岸和田保健所		トータルヘルスをめざした健康教育の有効に関する研究—保健所を中心にして—
大阪市保健衛生検査所		乳癌集団検診で使用している水浸式超音波診断装置(オクトゾン方式)の撮影条件の検討
大阪がん予防検診センター 検診第2部		新しい自己細胞採取器具(マイハップ)による子宮頸部細胞診臨床試験
大阪がん予防検診センター 検査部		子宮頸部ヒト乳頭腫ウイルス感染症の Follow up について
大阪がん予防検診センター 山本兼右		当センターにおけるパソコン利用の一考察—がん患者画像データベース—
大阪がん予防検診センター 大森美恵子		大腸がん精密検査における不安及び緊張の緩和に関する研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成4年度	大阪がん予防検診センター 遠藤幸子	がん検診情報システムの更新にあたっての取り組み
平成5年度	北摂病院 御前治	妊婦における細胞診の必要性とその要精検妊婦の管理
	吹田市医師会がん検診部会	乳がん個別検診のデータ解析による成績評価と今後の展望
	堺市宿院保健所 淵 勲	がん予防・健康講座の実践
	池田保健所	地域・職域における効果的な禁煙指導法の開発・普及のための研究
	吹田保健所	大腸がん検診における精密検査実施状況及び実施体制の実態調査
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	細胞診における新しい判定方法“ベセスダシステム”についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸がん検診精度管理に関する研究(細胞診誤陰性例のチェック方法とその再検討)
	大阪がん予防検診センター 中川智美	便潜血検査判定による大腸がん検診の精度
	大阪がん予防検診センター 矢竹秀稔	胃集検用硫酸バリウム製剤(145W/V ゾル)の総合的評価についての研究
	大阪がん予防検診センター 田端和代	子宮がん精密検査受診率向上についての検討
平成6年度	堺市医師会呼吸器疾患談話会	FCRを用いた肺癌早期発見の研究
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	泉佐野市保健センター	泉佐野市における胃がん検診 —計画検診の3年間のまとめ—
	八尾保健所	肺がんの発生と呼吸器疾患既往歴との関連
	大阪市環境保健協会	発見大腸がん患者等についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部における接着分子(カドヘリン)の発現と組織—細胞所見
	大阪がん予防検診センター 牧本和代	大腸がん検診における精検方法の改良に関する研究—主として前処置について—
平成7年度	石切生喜病院 山片重房	乳がん・子宮がん複合検診の効用と効果
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	豊中保健所 森定一稔	豊中市におけるがん死亡の地域特性について
	熊取町大腸がん検診研究グループ	健康教室・住民説明会を併用した大腸がん検診の精度
	胃集団検診研究会	胃集検用高濃度バリウムの有用性について
平成8年度	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成8年度	大阪がん予防検診センター 濱田紘一郎	子宮頸部腺系初期癌および前癌病変の早期診断・治療・管理に関する研究
	大阪がん予防検診センター 前田喜徳	がんに関する検診の調査研究
平成9年度	禁煙サポートグループ	成人病専門施設で働く看護婦の禁煙指導の現状と課題
	本多正治	免疫学的便潜血検査法によって発見された大腸癌の解析と効果的な検診方法の検討
	大阪市婦人科腫瘍研究グループ	頸部擦過細胞診を用いた PCR 法による HPV - DNA 検出法とタイピング法の有用性の検討
平成10年度	谷口定之	子宮頸がん検診に関する臨床的研究
	府立羽曳野病院 第2内科	小細胞肺癌患者の長期生存例における第2癌の発生ならびに晩発性再発についての因子解析
平成11年度	旭区医師会肝癌検診グループ	「効率の良い肝癌検診の確立」肝癌早期発見のため検診対象者の設定、検診方法、検診間隔の設定
	肝疾患対策研究グループ	地域における肝がん予防対策推進に関する研究
平成12年度	関西労働保険協会	腹部(肝臓, 胆嚢, 膵臓, 腎臓)超音波検診の精度
	府立羽曳野病院 外科	喫煙係数からみた肺癌手術予後
平成13年度	大阪鉄道病院 保健管理部消化器科	職員検診を活用した肝細胞癌の予防・早期発見システムの構築
平成15年度	大阪がん予防検診センター 岡野彌高	検診機関におけるヘリコバクターピロリ菌陽性潰瘍例の除菌療法の評価と追跡調査の検討
	大阪府立成人病センター 福島良志幸	
平成16年度	枚方市立枚方市民病院 外科	乳癌の早期発見(マンモグラフィの有用性の検討)
平成17年度	堺市医師会乳がん検診	マンモグラフィ併用乳がん検診の有用性について
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山本兼右	胃がん集団検診における高濃度低粘性硫酸バリウム粉末製剤のmAs値の評価
平成18年度	枚方市妊産婦への禁煙支援グループ	妊婦禁煙と出産後の禁煙継続のための支援プログラム
	貝塚市健康づくり推進委員会	各校区毎の健康教室の開催や、大腸がん検診のスティック配布によりがん予防に対する知識を地域に広め、がん検診受診率の向上に寄与する
	大阪がん予防検診センター 婦人科検診部 植田政嗣	婦人科癌における遺伝子多型解析
平成19年度	大阪がん予防検診センター 乳腺検診部 森田眞照	乳癌マンモグラフィ検診の普及と精度向上を目指して

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成19年度	大阪がん予防検診センター 臨床検査室 田路英作	HPV検査(HC-2)法におけるハイリスク陽性症例の子宮頸部細胞診所見
平成20年度	大東市 健康いきがい課 足立安正	肺がん検診が禁煙指導に及ぼす影響
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山本兼右	胃がん検診における高濃度と中濃度硫酸バリウム製剤のX線被曝線量評価に関する研究
平成22年度	大阪府四条畷保健所 企画調整課 山口和子	未成年者に対する喫煙防止教育の充実
	府中病院 消化器内科 廣岡大司	泉州地域における大腸がん検診の受診率・精検受診率の向上に向けた活動
	大阪がん予防検診センター 乳がん検診看護チーム 浅井恵美子	大阪府の乳がん検診受診率の向上を目指した、地域ボランティアシステムの構築
平成23年度	泉大津市立保健センター 鈴木友子	子育て世代に対する子宮がん予防の効果的な啓発について
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 田淵貴大	医療保険等の社会的背景に基づくがん検診受診率格差の実証的研究
	市立貝塚病院 乳がん高度検診・治療センター 山口美保子	外来看護師の積極的介入による若年者への乳がんの検診受診の啓発
平成24年度	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 伊藤ゆり	大阪府における市町村がん検診の検診精度管理指標に関する分析
	生長会府中大腸がん検診研究会 廣岡大司	泉州地域における大腸がん検診の普及に向けた住民講座などの啓発活動
平成25年度	田附興風会医学研究所北野病院 八隅秀二郎	地域ぐるみの連携システムの構築
	PANDRA PROJECT 井岡達也	膀胱癌早期診断を目指した適正な検診間隔を検討するための研究
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 井岡亜希子	神経芽細胞腫マスキング中止による影響評価に関する研究
平成26年度	医療法人橘会東住吉森本病院 地域医療連携センター 地域がん対策チーム 田中 宏	院内がん登録を基礎とした当地区における癌の特徴分析と効果的な予防啓発活動に関する研究
	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山本兼右	注腸X線検査における受診者の被ばく線量(実効線量)の算出と生涯がん死亡リスクの推定
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部 植田政嗣	ベセスダシステム異型腺細胞の臨床病理学的背景ならびにHPV感染に関する研究
平成27年度	和泉市医師会「胃がんリスク検査」研究会 廣岡大司	H. pylori 血清抗体(以下HP抗体)とPG検査で行う「胃がんリスク検査」の確立、胃がん予防、診断、その成果・問題点についての検討
	森島敏隆 (大阪府立成人病センターがん予防情報センター)	喫煙習慣が肺がん患者の生存期間に及ぼす影響

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成28年度	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山本 兼 右	胃がんX線検診における受診者の被ばく線量の算出 －Flat Panel Detector (FPD) デジタル撮影－
平成29年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 佐藤 亮	がんサバイバーに対するがん検診の意義に関する研究
	ダイハツ保健センター	職域における疾病早期発見対策として導入した甲状腺エコー検査の実績と、その評価
平成30年度	市立豊中病院 消化器外科 富丸 慶人	十二指腸乳頭癌における他臓器重複癌の調査および十二指腸乳頭癌早期発見プロジェクトの開発
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	病理医だけが知っている肺癌と喫煙の関係
令和1年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	喫煙 DNA メチル化異常を介した肺がん発生の免疫組織学的研究
	大阪がん循環器病予防センター 看護室 受診支援グループ 代表：浅井恵美子	がん検診の受診支援につながる情報提供とその評価

# 資 料 編



## **Ⅶ がん検診結果集計資料**

1-1(1) 胃がん検診実績表 (施設検診・車検診号車別)

対象検診期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ~ 令和 2 年 03 月 31 日

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
1号	検診数 78	665	947	983	514	743	795	756	633	516	689	297	7,616
	検診回数 2	17	22	24	13	19	20	18	17	14	17	9	192
2号	検診数 445	705	860	802	465	729	791	901	649	506	519	247	7,619
	検診回数 12	18	20	20	13	17	19	22	17	13	13	7	191
8号	検診数 220	581	916	676	263	552	883	843	433	470	458	296	6,591
	検診回数 7	15	22	17	7	14	20	20	11	13	12	9	167
12号	検診数 184	380	793	503	212	525	745	493	579	269	458	133	5,274
	検診回数 5	9	19	12	5	13	18	12	15	8	11	5	132
車合計	検診数 927	2,331	3,516	2,964	1,454	2,549	3,214	2,993	2,294	1,761	2,124	973	27,100
	検診回数 26	59	83	73	38	63	77	72	60	48	53	30	682
施設計	検診数 606	815	931	1,151	972	1,234	1,176	1,130	862	708	767	686	11,038
	検診回数 20	19	20	22	21	19	21	20	19	18	18	21	238
総合計	検診数 1,533	3,146	4,447	4,115	2,426	3,783	4,390	4,123	3,156	2,469	2,891	1,659	38,138
	検診回数 46	78	103	95	59	82	98	92	79	66	71	51	920

# 1- (2) 胃がん検診結果集計表

対象期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ～ 令和 2 年 03 月 31 日

X線	要精検率		精検受診率 (%)	精検結果						39才以下の割合										
	要精検 (%)	精検受診 (%)		胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍瘢痕	その他		異常なし	がん症例の治療 切除 非切除 切除 非切除 切除 非切除 切除 非切除 不明								
地域合計	27469	1839	6.7	1626	88.4	37	25	309	28	95	1049	108	37	0	0	0	0	0	1.1	22.6
(27 市町村)																				
職域合計	7961	261	3.3	222	85.1	1	1	32	3	7	151	28	1	0	0	0	0	0	16.5	20.2
(144 団体)																				
検診友の会等合計	145	4	2.8	3	75.0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	22.8	27.6
X線合計	35575	2104	5.9	1851	88.0	38	26	341	31	102	1203	136	38	0	0	0	0	0	4.6	22.1
(1度目の読影で要精検)	1500			1318	87.9	30	18	255	27	76	844	86	29	0	0	0	0	0	1.3	26.0
(2度目の読影で要精検)	604			533	88.2	8	8	86	4	26	359	50	9	0	0	0	0	0	2.0	24.5

内視鏡	要精検率		精検受診率 (%)	精検結果						39才以下の割合										
	要精検 (%)	精検受診 (%)		胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍瘢痕	その他		異常なし	がん症例の治療 切除 非切除 切除 非切除 切除 非切除 切除 非切除 不明								
内視鏡合計	2563	28	1.1	24	85.7	2	2	0	0	0	22	0	2	0	0	0	0	0	6.3	30.5
総合計	38138	2132	5.6	1875	87.9	40	28	341	31	102	1225	136	40	0	0	0	0	0	4.7	22.7

1- (3) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象検診期間： 平成31年04月01日～令和2年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴		その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	胃がん		精検結果		その他	異常なし	
			初	回						1年前	1年前	うち早期がん	率(%)			良性隆起
【男】																
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	16	0.1	13	2	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	70	0.6	57	9	4	7	10.0	3	42.9	0	0.00	0	0	0	3	0
40～44	815	7.6	467	242	106	39	4.8	31	79.5	0	0.00	3	1	24	3	3
45～49	892	8.3	327	391	174	47	5.3	39	83.0	0	0.00	3	2	28	6	6
50～54	859	8.0	258	405	196	56	6.5	44	78.6	0	0.00	7	1	34	2	2
55～59	757	7.0	196	407	154	47	6.2	38	80.9	1	0.13	5	1	30	1	1
60～64	1065	9.9	339	503	223	85	8.0	72	84.7	2	0.19	12	1	54	3	3
65～69	2169	20.1	503	1260	406	218	10.1	193	88.5	6	0.28	30	4	142	11	11
70～74	2355	21.8	279	1593	483	269	11.4	232	86.2	11	0.47	45	4	162	10	10
75～79	1160	10.8	68	838	254	113	9.7	105	92.9	4	0.34	23	3	70	5	5
80～84	498	4.6	22	353	123	56	11.2	50	89.3	5	1.00	10	0	30	5	5
85～	132	1.2	3	96	33	15	11.4	14	93.3	0	0.00	4	0	10	0	0
計	10788	100.0	2532	6099	2157	952	8.8	821	86.2	29	0.27	142	17	587	46	46
【女】																
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	35	0.2	29	5	1	1	2.9	1	100.0	0	0.00	0	0	1	0	0
35～39	172	1.0	129	28	15	5	2.9	5	100.0	0	0.00	1	0	2	2	2
40～44	1920	11.2	1071	487	362	77	4.0	67	87.0	0	0.00	17	2	43	5	5
45～49	2208	12.9	650	881	677	76	3.4	65	85.5	0	0.00	16	0	46	3	3
50～54	1958	11.4	472	839	647	83	4.2	76	91.6	0	0.00	15	0	54	7	7
55～59	1738	10.1	400	821	517	61	3.5	53	86.9	1	0.06	13	1	33	5	5
60～64	2067	12.1	387	1015	665	121	5.9	111	91.7	0	0.00	20	0	83	8	8
65～69	2819	16.5	400	1628	791	183	6.5	170	92.9	2	0.07	35	4	118	11	11
70～74	2605	15.2	211	1609	785	176	6.8	161	91.5	3	0.12	37	4	103	14	14
75～79	1152	6.7	55	730	367	88	7.6	82	93.2	2	0.17	21	0	56	3	3
80～84	370	2.2	24	233	113	23	6.2	21	91.3	2	0.54	3	0	13	3	3
85～	81	0.5	6	55	20	7	8.6	7	100.0	0	0.00	1	0	5	1	1
計	17125	100.0	3834	8331	4960	901	5.3	819	90.9	10	0.06	179	11	557	62	62

1- (4) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [職域]

対象検診期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ~ 令和 2 年 03 月 31 日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精検結果									
											胃がん 率 (%)	うち早期がん 率 (%)	悪性隆起	潰瘍	その他	異常なし				
【 男 】																				
~29	74	1.2	44	20	10	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30~34	245	3.8	90	134	21	6	2.4	5	5	83.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
35~39	581	9.1	196	330	55	8	1.4	7	7	87.5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
40~44	913	14.3	203	585	125	12	1.3	7	7	58.3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
45~49	1237	19.4	211	855	171	32	2.6	27	27	84.4	0	0	0	5	0	0	0	0	0	3
50~54	1172	18.4	186	808	178	37	3.2	30	30	81.1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	4
55~59	1070	16.8	165	718	187	41	3.8	35	35	85.4	0	0	0	3	1	28	0	0	0	3
60~64	657	10.3	102	461	94	37	5.6	34	34	91.9	0	0	0	6	0	24	0	0	0	4
65~69	304	4.8	44	212	48	17	5.6	12	12	70.6	0	0	0	0	0	9	0	0	0	3
70~74	104	1.6	24	60	20	10	9.6	8	8	80.0	0	0	0	2	0	6	0	0	0	0
75~79	12	0.2	1	9	2	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80~84	5	0.1	0	4	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85~	2	0.0	0	1	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6376	100.0	1266	4197	913	200	3.1	165	165	82.5	0	0.00	0	25	1	119	0	0	0	20
【 女 】																				
~29	59	1.7	46	11	2	2	3.4	1	1	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30~34	161	4.6	89	53	19	1	0.6	1	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
35~39	339	9.7	150	152	37	2	0.6	1	1	50.0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
40~44	534	15.3	162	287	85	9	1.7	9	9	100.0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	1
45~49	706	20.2	142	444	120	15	2.1	11	11	73.3	0	0	0	3	0	7	0	0	0	1
50~54	690	19.8	121	425	144	12	1.7	12	12	100.0	0	0	0	2	0	9	0	0	0	1
55~59	532	15.2	97	340	95	18	3.4	17	17	94.4	0	0	0	1	1	14	0	0	0	1
60~64	324	9.3	59	203	62	8	2.5	8	8	100.0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	2
65~69	95	2.7	21	56	18	5	5.3	4	4	80.0	1	1.05	1	1	0	2	0	0	0	0
70~74	43	1.2	9	25	9	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	6	0.2	2	2	2	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80~84	2	0.1	1	0	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85~	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3492	100.0	899	1999	594	72	2.1	64	64	88.9	1	0.03	1	8	2	45	0	0	0	8



1- (6) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [総合計]

対象検診期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ~ 令和 2 年 03 月 31 日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	胃がん		精検結果		その他	異常なし	
										率 (%)	うち早期がん	率 (%)	良性隆起			
【男】																
~29	81	0.5	50	21	10	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
30~34	273	1.6	113	138	22	6	2.2	5	83.3	0	0.00	0	0	0	0	2
35~39	666	3.8	263	342	61	15	2.3	10	66.7	0	0.00	0	0	0	0	3
40~44	1755	10.1	682	837	236	51	2.9	38	74.5	0	0.00	0	1	0	8	3
45~49	2166	12.5	549	1262	355	80	3.7	67	83.8	0	0.00	0	5	1	29	3
50~54	2044	11.8	448	1221	375	93	4.5	74	79.6	0	0.00	0	8	2	48	9
55~59	1851	10.7	366	1142	343	89	4.8	74	83.1	1	0.05	0	13	1	54	6
60~64	1737	10.0	445	975	317	124	7.1	108	87.1	2	0.12	1	18	2	59	4
65~69	2499	14.4	555	1485	459	235	9.4	205	87.2	6	0.24	3	30	4	80	7
70~74	2474	14.2	305	1665	504	279	11.3	240	86.0	11	0.44	7	47	4	151	14
75~79	1187	6.8	75	853	259	114	9.6	106	93.0	4	0.34	2	23	3	71	5
80~84	509	2.9	23	361	125	56	11.0	50	89.3	5	0.98	5	10	0	30	5
85~	135	0.8	4	97	34	15	11.1	14	93.3	0	0.00	0	4	0	10	0
計	17377	100.0	3878	10399	3100	1157	6.7	991	85.7	29	0.17	18	167	18	711	66
【女】																
~29	59	0.3	46	11	2	2	3.4	1	50.0	0	0.00	0	0	0	0	1
30~34	199	1.0	121	58	20	2	1.0	2	100.0	0	0.00	0	0	0	1	1
35~39	526	2.5	287	186	53	7	1.3	6	85.7	0	0.00	0	1	0	3	2
40~44	2470	11.9	1236	785	449	86	3.5	76	88.4	0	0.00	0	18	2	50	6
45~49	2929	14.1	796	1331	802	91	3.1	76	83.5	0	0.00	0	19	0	53	4
50~54	2660	12.8	595	1274	791	95	3.6	88	92.6	0	0.00	0	17	0	63	8
55~59	2283	11.0	498	1171	614	80	3.5	71	88.8	1	0.04	1	14	2	48	6
60~64	2405	11.6	448	1227	730	129	5.4	119	92.2	0	0.00	0	20	1	88	10
65~69	2936	14.1	424	1696	816	188	6.4	174	92.6	3	0.10	2	36	4	120	11
70~74	2665	12.8	225	1640	800	176	6.6	161	91.5	3	0.11	3	37	4	103	14
75~79	1171	5.6	59	739	373	89	7.6	82	92.1	2	0.17	2	21	0	56	3
80~84	374	1.8	25	234	115	23	6.1	21	91.3	2	0.53	2	3	0	13	3
85~	84	0.4	6	58	20	7	8.3	7	100.0	0	0.00	0	1	0	5	1
計	20761	100.0	4766	10410	5585	975	4.7	884	90.7	11	0.05	10	187	13	603	70

1- (7) 胃がん精検機関別精検受診数 (令和1年度)

	精 検 機 関			総 計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関		
地 域	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	192	1,447	1,639
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	192 ( 11.7 )	1,447 ( 88.3 )	1,639 ( 100.0 )
職 域	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	106	122	228
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	106 ( 46.5 )	122 ( 53.5 )	228 ( 100.0 )
検診友の会等	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	3	4	7
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	3 ( 42.9 )	4 ( 57.1 )	7 ( 100.0 )
合 計	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	301	1,573	1,874
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	301 ( 16.1 )	1,573 ( 83.9 )	1,874 ( 100.0 )

1- (8) 市町村別胃がん検診精密検査機関 (令和1年度)

市町村名	要精検数	精検受診数 (率)	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	38	35 ( 92.1 )	6	22	3	0	4
能勢町	29	26 ( 89.7 )	1	8	2	0	15
吹田市	184	161 ( 87.5 )	8	36	41	10	66
摂津市(車)	1	1 ( 100.0 )	1	0	0	0	0
茨木市	15	13 ( 86.7 )	1	1	5	0	6
門真市	35	25 ( 71.4 )	9	4	7	0	5
四條畷市	21	20 ( 95.2 )	5	0	9	0	6
八尾市	213	196 ( 92.0 )	31	20	20	1	124
八尾市(施設)	3	3 ( 100.0 )	1	0	1	0	1
柏原市	55	52 ( 94.5 )	10	21	1	2	18
柏原市(施設)	7	6 ( 85.7 )	1	1	1	0	3
松原市	154	133 ( 86.4 )	28	3	51	5	46
羽曳野市	136	126 ( 92.6 )	13	29	33	27	24
羽曳野市(施設)	7	6 ( 85.7 )	1	0	0	0	5
藤井寺市	129	113 ( 87.6 )	10	28	12	38	25
藤井寺市(施設)	1	1 ( 100.0 )	0	0	0	0	1
富田林市	117	104 ( 88.9 )	2	3	75	0	24
太子町	21	21 ( 100.0 )	1	1	16	1	2
千早赤阪村	8	8 ( 100.0 )	0	2	5	0	1
河内長野市	34	30 ( 88.2 )	4	18	2	0	6
和泉市	54	44 ( 81.5 )	6	23	9	2	4
泉大津市	108	97 ( 89.8 )	9	61	5	1	21
高石市	70	50 ( 71.4 )	5	5	14	20	6
高石市(施設)	3	2 ( 66.7 )	1	0	0	1	0
忠岡町	20	20 ( 100.0 )	0	8	8	0	4
貝塚市	102	91 ( 89.2 )	0	49	10	2	30
熊取町	44	39 ( 88.6 )	6	15	10	0	8
泉南町	60	48 ( 80.0 )	0	4	18	17	9
阪南町	96	88 ( 91.7 )	0	54	5	2	27
岬町	20	20 ( 100.0 )	0	4	13	0	3
大阪府	32	32 ( 100.0 )	20	4	4	2	2
大阪府国保(トック)	3	2 ( 66.7 )	2	0	0	0	0
大阪府国保(無料トック)	11	8 ( 72.7 )	3	2	2	0	1
大阪府国保(特定トック)	22	19 ( 86.4 )	8	1	5	1	4
合計	1,853	1,640 ( 88.5 )	193	427	387	132	501

(註) 公的病院に大学附属病院を含む

## 2- (1) 子宮がん検診結果集計表

対象検診期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ~ 令和 2 年 03 月 31 日

	頸部受診数		要精検率		精検受診率		頸がん		精検結果			がん症例の治療				39才以下の割合	初回の割合						
	要精検	要精検 (%)	精検	精検 (%)	精検	精検 (%)	頸がん	体がん	うち微小浸癌	CIN3 異型増殖	CIN2・CIN1 複・単増殖	その他	異常なし	手術	非手術			微小浸潤癌	浸潤癌	治癒切除	非治癒切除	結果不明	
地域合計 (26 市町村)	11542	216	1.9	182	84.3	0	0	0	29	(24)	51	(1)	90	12	0	0	0	0	0	0	0	14.6	65.8
職域合計 (112 団体)	45	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.2	66.7	
検診友の会等 合計	5037	143	2.9	129	90.2	2	2	9	(9)	42	(1)	69	7	0	1	0	0	0	0	0	31.1	70.0	
	49	2	4.1	2	100.0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4.1	44.9	
	621	14	2.3	13	92.9	0	0	1	(1)	3	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6.4	53.0	
	31	1	3.2	1	100.0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6.5	38.7	
総合計	17200	373	2.2	324	86.9	2	2	39	(34)	96	(2)	166	21	1	0	0	0	0	0	0	19.1	66.6	
	125	3	2.4	3	100.0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	51.2	

註：( )内は、前がん病変で治療を受けたものを再掲。

2- (2) 子宮がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ~ 令和 2 年 03 月 31 日

年齢階級 [頸部]	うち 受診数 初回		判 定										精 査 結 果			精 査 結 果								
	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	LSIL (中度)	LSIL (高度)	LSIL (上皮)	SCC	AGC	AIS	Adeno carci	Other	判定 不能	要精検	精検 率 (%)	精検 受診数	精検 受診率 (%)	頸癌	うち 微小浸 潤癌	CIN3	CIN2・CIN1	そ 他	異 常 な し	
20~19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
25~24	270	6	1	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17	6.3	12	70.6	0	0	0	0	0	0	0
30~29	537	10	0	10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	24	4.5	19	79.2	0	0	2(2)	8	7	2	2
35~34	1149	20	3	12	1	4	3	0	2	0	0	0	0	45	3.9	40	88.9	1	1	4(4)	15	18	2	2
40~39	1332	10	3	12	5	3	2	0	0	0	0	0	0	35	2.6	28	80.0	0	0	5(5)	13	8	2	2
45~44	1973	19	5	17	6	3	2	2	6	0	0	0	0	60	3.0	52	86.7	0	0	11(9)	16	23	2	2
50~49	2190	1641	2129	13	3	1	2	1	9	0	0	0	0	61	2.8	52	85.2	0	0	5(3)	12	33	2	2
55~54	2143	1307	2096	8	5	2	1	4	4	0	0	0	0	47	2.2	45	95.7	0	0	1(1)	13	27	4	4
60~64	1733	967	1712	4	1	0	1	1	0	1	0	0	0	21	1.2	20	95.2	0	0	2(2)	2	14	2	2
65~69	1623	825	1609	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	14	0.9	12	85.7	0	0	2(2)	4	5	1	1
70~74	1520	641	1506	6	3	5	0	0	0	0	0	0	0	14	0.9	13	92.9	0	0	2(1)	2	8	1	1
75~79	723	255	721	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.3	2	100.0	0	0	0	0	0	0	0
80~84	186	50	184	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1.1	2	100.0	0	0	0	0	0	0	0
85~	32	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
計	17200	11453	16826	159	32	97	26	16	11	8	23	1	0	373	2.2	324	86.9	2	1	39(34)	96	166	21	21

年齢階級 [体部]	うち 受診数 初回		判 定			精 査 結 果			精 査 結 果				
	陰性	疑陽性	陽性	判定 不能	要精検	精検 率 (%)	精検 受診数	精検 受診率 (%)	体癌	異 型 増 殖	複 増 殖	単 純 型 増 殖	そ の 他
20~19	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
25~24	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
30~29	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
35~34	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
40~39	5	4	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
45~44	10	6	10	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
50~49	24	14	23	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
55~54	37	16	33	3	0	8.1	3	100.0	0	0	0	0	3
60~64	18	8	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
65~69	13	7	13	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
70~74	5	3	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
75~79	2	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
80~84	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
85~	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
計	125	64	120	3	2	2.4	3	100.0	0	0	0	0	3

註) ( )内は前がん病変で治療を受けたものを再掲示

2- (3) 子宮がん精検機関別精検受診数 (令和1年度)

地域	精検機関				総計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関			
域	頸部	78 ( 43.3 )	102 ( 56.7 )		180 ( 100.0 )
	体部	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )		0 ( 0.0 )
職	頸部	96 ( 74.4 )	33 ( 25.6 )		129 ( 100.0 )
	体部	2 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		2 ( 100.0 )
検診友の会等	頸部	12 ( 92.3 )	1 ( 7.7 )		13 ( 100.0 )
	体部	1 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		1 ( 100.0 )
合	頸部	186 ( 57.8 )	136 ( 42.2 )		322 ( 100.0 )
	体部	3 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		3 ( 100.0 )

2- (4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関 (令和1年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
能勢町	13 (0)	12 (0)	2 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
豊中市	11 (0)	10 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)
摂津市(車)	19 (0)	14 (0)	11 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)
摂津市(施設)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
島本町	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
門真市	8 (0)	7 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四條畷市	7 (0)	7 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
大東市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
八尾市	21 (0)	17 (0)	4 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	7 (0)
八尾市(施設)	4 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市(施設)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
松原市	17 (0)	16 (0)	9 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)
羽曳野市	19 (0)	17 (0)	4 (0)	10 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)
大阪狭山市	10 (0)	10 (0)	1 (0)	8 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
富田林市	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)
太子町	6 (0)	6 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)
河内町	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
河内町(施設)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
千早赤阪村	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
泉大津市	2 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
高石市(施設)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
貝塚市	4 (0)	4 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
熊取町	12 (0)	12 (0)	1 (0)	8 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
泉南市	5 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市美原保健センター	7 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市北保健センター	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市西保健センター	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市東保健センター	3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
堺市南保健センター	4 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
堺市保健センター	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大坂市	24 (0)	20 (0)	19 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
合計	216 (0)	182 (0)	79 (0)	52 (0)	22 (0)	8 (0)	21 (0)

註) 公的病院に大学附属病院を含む

註) ( ) 内は体部

### 3-1 (1) 乳がん検診結果集計表

対象検診期間： 平成31年04月01日～令和2年03月31日

	受診数	要精検	要精検率 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療		39才以下の割合	初回の割合				
						乳がん(うち早期がん)	線維腺腫	乳腺腫	乳腺症	その他			異常なし	治癒切除	非治癒切除	結果不明
地域合計 (27市町村)	15633	700	4.5	641	91.6	79	52	39	45	339	139	74	0	5	2.1	32.5
職域合計 (108団体)	4616	171	3.7	163	95.3	10	8	10	13	90	40	9	0	1	18.4	19.4
検診友の会等合計	1041	36	3.5	35	97.2	3	2	1	4	23	4	2	0	1	8.5	15.4
総合計	21290	907	4.3	839	92.5	92	62	50	62	452	183	85	0	7	6.0	28.8

3- (2) 乳がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ~ 令和 2 年 03 月 31 日

年齢階級	受診数	割合 (%)	うち 初回	要精検数	要精検率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果					
								乳がん (%)	うち早期がん	線維脈腫	乳腺症	その他	異常なし
~29	204	1.0	111	9	4.4	8	88.9	0	0	4	1	3	0
30~34	440	2.1	211	10	2.3	10	100.0	0	0	1	2	6	1
35~39	628	2.9	253	21	3.3	20	95.2	1	1	2	4	13	0
40~44	2801	13.2	1512	154	5.5	141	91.6	12	5	14	8	83	24
45~49	3240	15.2	1019	193	6.0	179	92.7	8	5	7	17	113	34
50~54	3012	14.1	734	143	4.7	135	94.4	18	15	7	10	68	32
55~59	2593	12.2	587	102	3.9	93	91.2	10	7	5	5	51	22
60~64	2339	11.0	516	87	3.7	82	94.3	14	7	2	5	42	19
65~69	2433	11.4	544	88	3.6	82	93.2	10	8	2	5	38	27
70~74	2224	10.4	422	73	3.3	66	90.4	15	12	4	4	24	19
75~79	1037	4.9	165	18	1.7	14	77.8	1	1	1	1	8	3
80~84	270	1.3	49	7	2.6	7	100.0	3	1	0	0	2	2
85~	69	0.3	14	2	2.9	2	100.0	0	0	1	0	1	0
合計	21290	100.0	6137	907	4.3	839	92.5	92	62	50	62	452	183

3- (3) 乳がん精検機関別精検受診数 (令和1年度)

	精 検 機 関			総 計
	大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関		
地 域	349 ( 54.4 )	293 ( 45.6 )		642 ( 100.0 )
職 域	135 ( 81.8 )	30 ( 18.2 )		165 ( 100.0 )
検診女の会等	35 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )		35 ( 100.0 )
合 計	519 ( 61.6 )	323 ( 38.4 )		842 ( 100.0 )

3- (4) 市町村別乳がん検診精密検査機関 (令和1年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
池田市	7	6 ( 85.7)	0	6	0	0	0
池田市休日	52	45 ( 86.5)	10	34	1	0	0
能勢町	8	8 ( 100.0)	2	6	0	0	0
豊中	14	13 ( 92.9)	6	5	1	0	1
摂津市(車)	31	31 ( 100.0)	22	1	7	1	0
摂津市(施設)	5	5 ( 100.0)	5	0	0	0	0
島本	13	13 ( 100.0)	7	3	3	0	0
門真	42	40 ( 95.2)	32	2	0	1	5
四條	12	12 ( 100.0)	9	0	3	0	0
大東	5	5 ( 100.0)	5	0	0	0	0
八尾市(施設)	10	10 ( 100.0)	10	0	0	0	0
柏原	25	23 ( 92.0)	8	11	0	0	4
柏原市(施設)	5	5 ( 100.0)	5	0	0	0	0
松原	24	24 ( 100.0)	14	0	4	0	6
羽曳野	36	35 ( 97.2)	13	18	3	0	1
羽曳野市(施設)	11	11 ( 100.0)	10	0	0	0	1
藤井寺	25	23 ( 92.0)	8	9	3	0	3
藤井寺市(施設)	2	2 ( 100.0)	1	0	0	0	1
大阪狭山	32	29 ( 90.6)	5	20	4	0	0
富田	19	18 ( 94.7)	1	1	13	0	3
太子	6	6 ( 100.0)	0	0	3	0	3
太子町(施設)	2	2 ( 100.0)	2	0	0	0	0
河内	1	1 ( 100.0)	1	0	0	0	0
河内町(施設)	2	2 ( 100.0)	0	1	1	0	0
千早	30	27 ( 90.0)	3	18	3	0	3
河内市	36	33 ( 91.7)	8	9	1	13	2
高石	8	8 ( 100.0)	7	0	0	1	0
高石市(施設)	2	2 ( 100.0)	1	1	0	0	0
忠通	37	35 ( 94.6)	9	26	0	0	0
熊取	15	14 ( 93.3)	2	11	0	0	1
泉南	2	1 ( 50.0)	0	0	1	0	0
岬	26	4 ( 15.4)	4	0	0	0	0
堺市美原保健センター	1	1 ( 100.0)	1	0	0	0	0
堺市中保健センター	4	2 ( 50.0)	1	0	0	0	0
堺市東保健センター	2	1 ( 50.0)	0	0	1	0	0
堺市南保健センター	2	1 ( 50.0)	0	0	1	0	0
堺市堺保健センター	3	2 ( 66.7)	2	0	0	0	0
東大阪	1	1 ( 100.0)	1	0	0	0	0
大阪府健康づくり課	136	133 ( 97.8)	132	0	1	0	0
大阪府健康づくり課	8	8 ( 100.0)	1	6	1	0	0
合計	700	641 ( 91.6)	348	188	55	16	34

註) 公的病院に大学附属病院を含む  
大阪府健康づくり課は、四條畷市・寝屋川市・門真市・八尾市・柏原市・東大阪市の乳がん検診として実施

### 4-1 (1) 肺がん検診結果集計表

対象検診期間： 平成31年04月01日～令和2年03月31日

	受診数	X線 受診数	CT 受診数	喀痰該 当者数	喀痰提 出者数	要精検	要精検率 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	がん症例の治療		
										肺がん	治癒切除	非治癒切除
地域 (19市町)	16289	16266	88	638	580	759	4.7	709	93.4	15	11	0
職域合計 (131団体)	11405	10960	925	262	236	397	3.5	357	89.9	8	7	0
検診友の会等 合計	692	367	327	31	29	44	6.4	40	90.9	0	0	0
総合計	28386	27593	1340	931	845	1200	4.2	1106	92.2	23	18	0

註) 本表には、労働衛生安全法に基づく定期健康診断、人間ドック等による胸部X線検査の受診者数(9,699)の結果を含む

4-1 (2) 肺がん検診 (CT) 結果集計表 (性・年齢階級別)

対象検診期間：平成31年04月01日～令和2年03月31日

年齢階級	集 検 受診数	割合 (率)	CT のみ	CT 喀痰	受診歴 初 回 1 年前	CT判定区分*					要精検率精 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果					
						A	B	C	D	E				肺がん 異常なし	転移性肺腫瘍 その他	不明			
【男】																			
～29	10	1.9	9	1	9	7	2	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
30～34	13	2.4	10	3	8	6	6	0	1	1	7.7	1	100.0	0	0	0	1	0	0
35～39	33	6.1	30	3	21	17	13	2	1	1	3.0	1	100.0	0	0	0	1	0	0
40～44	48	8.9	41	7	23	18	28	1	1	1	2.1	1	100.0	0	1	0	0	0	0
45～49	78	14.5	58	20	31	31	38	1	8	10.3	6	6	75.0	0	1	0	5	0	0
50～54	49	9.1	41	8	17	12	32	0	5	10.2	3	3	60.0	0	0	0	3	0	0
55～59	79	14.7	59	20	27	29	42	3	5	6.3	3	3	60.0	0	1	0	2	0	0
60～64	90	16.7	65	25	18	22	56	1	11	12.2	9	9	81.8	1	1	0	7	0	0
65～69	66	12.3	50	16	18	6	46	0	14	21.2	12	12	85.7	1	2	0	9	0	0
70～74	40	7.4	28	12	10	3	31	0	6	15.0	4	4	66.7	0	0	0	4	0	0
75～79	22	4.1	15	7	9	0	17	0	5	22.7	4	4	80.0	0	0	0	4	0	0
80～84	7	1.3	5	2	1	0	4	0	3	42.9	3	3	100.0	0	0	0	3	0	0
85～	3	0.6	1	2	2	0	2	0	1	33.3	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
計	538	100.0	412	126	194	151	317	9	61	11.3	47	47	77.0	2	6	0	39	0	0
【女】																			
～29	2	0.7	1	1	2	1	1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
30～34	8	2.8	7	1	7	7	1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
35～39	20	6.9	17	3	7	9	11	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
40～44	31	10.7	28	3	11	8	20	1	2	6.5	2	2	100.0	0	0	0	2	0	0
45～49	22	7.6	18	4	8	7	12	0	3	13.6	3	3	100.0	0	0	0	3	0	0
50～54	43	14.8	39	4	15	6	31	1	5	11.6	4	4	80.0	1	0	0	3	0	0
55～59	47	16.2	39	8	13	7	32	1	7	14.9	7	7	100.0	0	1	0	6	0	0
60～64	43	14.8	31	12	13	7	31	2	3	7.0	2	2	66.7	0	0	0	2	0	0
65～69	31	10.7	24	7	10	3	23	0	5	16.1	5	5	100.0	0	0	0	5	0	0
70～74	23	7.9	20	3	6	2	18	0	3	13.0	3	3	100.0	0	0	0	3	0	0
75～79	14	4.8	11	3	4	0	14	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
80～84	5	1.7	3	2	2	0	5	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
85～	1	0.3	1	0	0	0	0	0	1	100.0	1	1	100.0	0	0	0	1	0	0
計	290	100.0	239	51	98	57	199	5	29	10.0	27	27	93.1	1	1	0	25	0	0

注\* CT判定区分 A:読影不能 B:異常所見を認めず C:異常所見を認めるも精検不要 D:異常所見を認めるも肺がん以外 E:肺がん疑い

4- (3) 肺がん検診 (直接X線) 結果集計表 (性・年齢階級別)

対象検診期間： 平成 31 年 04 月 01 日 ～ 令和 2 年 03 月 31 日

年齢階級	受診数	割合 (率)	X線のみ	X線 喀痰	X線 受診歴 初回 1 年前	X線判定区分*					要精検率精 検 受診数 (%)	精検受診率 (%)	精 検 結 果							
						A	B	C	D	E			肺がん	異常なし	転移性肺腫瘍	その他	不明			
【男】																				
～29	2	0.0	2	0	2	0	2	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30～34	35	0.5	35	0	18	14	32	3	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	
35～39	132	1.8	132	0	47	72	123	7	1	1	0.8	1	100.0	0	0	0	1	0	0	
40～44	721	10.0	718	3	343	283	659	46	4	12	1.7	12	100.0	1	5	0	6	0	0	
45～49	878	12.2	869	9	297	417	776	75	8	19	2.2	18	94.7	0	7	0	11	0	0	
50～54	903	12.5	820	83	238	487	765	94	12	32	3.5	26	81.3	1	10	0	16	0	0	
55～59	877	12.1	780	97	178	542	714	109	7	47	5.4	45	95.7	0	22	0	23	0	0	
60～64	595	8.2	493	72	197	296	474	78	12	31	5.2	28	90.3	0	7	0	21	0	0	
65～69	1014	14.0	900	114	307	551	790	150	2	72	7.1	67	93.1	1	23	0	43	0	0	
70～74	1098	15.2	964	134	209	727	759	236	8	95	8.7	88	92.6	4	22	0	62	0	0	
75～79	624	8.6	557	67	58	460	419	161	9	35	5.6	30	85.7	0	4	0	26	0	0	
80～84	269	3.7	245	24	17	206	165	80	3	21	7.8	21	100.0	0	2	0	19	0	0	
85～	73	1.0	70	3	5	51	30	33	2	8	11.0	6	75.0	0	0	0	6	0	0	
計	7221	100.0	6585	606	1916	4106	5708	1072	68	373	5.2	342	91.7	7	102	0	234	0	0	
【女】																				
～29	15	0.1	15	0	12	1	15	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	35	0.3	35	0	23	10	35	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	101	0.9	101	0	53	36	88	9	1	3	3.0	3	100.0	0	2	0	1	0	0	0
40～44	1220	11.4	1219	1	657	358	1138	48	13	21	1.7	20	95.2	0	12	0	8	0	0	0
45～49	1478	13.8	1475	3	506	552	1338	100	11	29	2.0	27	93.1	0	14	0	13	0	0	0
50～54	1414	13.2	1388	26	395	592	1261	103	9	41	2.9	38	92.7	3	15	0	20	0	0	0
55～59	1165	10.9	1149	16	289	590	972	141	9	43	3.7	43	100.0	1	9	0	33	0	0	0
60～64	1170	11.0	1153	17	294	549	954	155	13	48	4.1	43	89.6	1	13	0	29	0	0	0
65～69	1461	13.7	1448	13	295	811	1129	258	12	62	4.2	60	96.8	2	14	0	44	0	0	0
70～74	1498	14.0	1486	12	208	935	1111	291	15	81	5.4	79	97.5	2	15	0	62	0	0	0
75～79	803	7.5	798	5	74	529	573	164	11	55	6.8	52	94.5	0	13	0	39	0	0	0
80～84	241	2.3	240	1	26	151	164	55	3	19	7.9	19	100.0	0	2	0	17	0	0	0
85～	73	0.7	73	0	6	52	45	19	3	6	8.2	6	100.0	0	1	0	5	0	0	0
計	10674	100.0	10580	94	2838	5166	8823	1343	100	408	3.8	390	95.6	9	110	0	271	0	0	0

注\* X線判定区分 A: 読影不能 B: 異常所見を認めず C: 異常所見を認めるも精検不要 D: 異常所見を認めるも肺がん以外 E: 肺がん疑い

5-1 (1) 大腸がん（便潜血）検診結果集計表

対象検診期間： 平成31年04月01日～令和2年03月31日

	受診数	陽性数	要精検率 (%)	精検受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療			39才以下の割合	初回割合			
						大腸がん(うち早期がん)	腺腫	その他の隆起	憩室他異常なし	早期手術	ポリペクトミ			進行治療切除	不明	
地域合計 (23市町村)	27436	1379	5.0	1152	83.5	80	528	126	172	246	9	42	26	3	0.3	21.9
職域合計 (100団体)	9855	408	4.1	314	77.0	12	116	41	55	90	2	6	4	0	14.9	20.7
検診友の会等合計	384	20	5.2	14	70.0	0	7	2	0	5	0	0	0	0	15.1	27.1
総合計	37675	1807	4.8	1480	81.9	92	651	169	227	341	11	48	30	3	4.2	21.7

5- (2) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象検診期間： 平成31年04月01日～令和2年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前 受診歴	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	大腸がん		うち早期がん	精 検 率 (%)	結 果 腺腫	その他隆起	その他	異常なし	
										率 (%)	数							
【男】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	5	0.0	3	1	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	31	0.3	29	1	1	1	3.2	1	100.0	0	0	0	0.00	0	0	0	1	11
40～44	673	6.7	400	202	71	31	4.6	22	71.0	0	0	2	0.24	6	4	1	6	7
45～49	819	8.1	308	341	170	38	4.6	25	65.8	0	2	2	0.24	9	1	6	3	3
50～54	771	7.6	224	378	169	37	4.8	24	64.9	0	0	0	0.00	18	2	1	4	5
55～59	698	6.9	169	386	143	35	5.0	27	77.1	1	1	1	0.14	30	5	4	5	8
60～64	947	9.4	280	470	197	66	7.0	56	84.8	9	9	7	0.74	62	3	6	6	13
65～69	1982	19.6	477	1142	363	135	6.8	119	88.1	15	10	10	0.50	88	11	18	17	17
70～74	2388	23.6	318	1656	414	180	7.5	147	81.7	10	9	2	0.38	41	13	19	12	9
75～79	1152	11.4	68	865	219	87	7.6	75	86.2	3	2	0	0.17	18	10	12	6	7
80～84	486	4.8	20	365	101	45	9.3	39	86.7	5	0	0	0.00	5	3	6	2	2
85～	151	1.5	5	119	27	15	9.9	10	66.7	0	0	0	0.00	2	1	2	1	2
計	10103	100.0	2301	5926	1876	670	6.6	545	81.3	45	31	31	0.31	289	53	75	83	83
【女】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	8	0.0	7	1	0	1	12.5	0	0.0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	34	0.2	29	3	2	1	2.9	1	100.0	0	0	0	0.00	0	1	0	0	0
40～44	1548	8.9	941	362	245	57	3.7	48	84.2	1	1	1	0.06	17	7	7	16	16
45～49	1898	11.0	595	682	621	53	2.8	42	79.2	2	2	2	0.11	8	7	7	18	18
50～54	1860	10.7	443	788	629	70	3.8	61	87.1	2	1	1	0.05	20	4	12	23	23
55～59	1768	10.2	403	862	503	60	3.4	52	86.7	1	1	1	0.06	22	3	10	16	16
60～64	2169	12.5	454	1073	642	78	3.6	71	91.0	9	6	6	0.28	26	6	17	13	13
65～69	3058	17.6	442	1824	792	119	3.9	101	84.9	6	4	4	0.13	49	12	12	22	22
70～74	3067	17.7	295	2016	756	143	4.7	121	84.6	8	3	3	0.10	44	19	17	33	33
75～79	1374	7.9	77	924	373	83	6.0	77	92.8	3	2	2	0.15	41	8	8	17	17
80～84	428	2.5	21	301	106	39	8.2	28	80.0	2	1	1	0.23	10	6	6	4	4
85～	121	0.7	12	82	27	5	7.4	5	55.6	1	0	0	0.00	2	0	1	1	1
計	17333	100.0	3719	8918	4696	709	4.1	607	85.6	35	21	21	0.12	239	73	97	163	163

5- (3) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [職域]

対象検診期間： 平成31年04月01日～令和2年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精 検 結 果		異常なし
										大腸がん 率 (%)	うち早期がん 率 (%)	
【男】												
～29	85	1.4	41	39	5	4	4.7	3	75.0	0	0.00	1
30～34	207	3.5	67	126	14	6	2.9	4	66.7	0	0.00	2
35～39	550	9.2	170	340	40	12	2.2	11	91.7	0	0.00	4
40～44	839	14.0	191	539	109	19	2.3	13	68.4	0	0.00	5
45～49	1135	19.0	212	796	127	46	4.1	33	71.7	0	0.00	8
50～54	1051	17.6	177	721	153	36	3.4	27	75.0	0	0.00	6
55～59	1044	17.4	151	740	153	52	5.0	43	82.7	2	0.19	5
60～64	604	10.1	80	470	54	39	6.5	30	76.9	2	0.33	8
65～69	320	5.3	48	242	30	29	9.1	20	69.0	1	0.31	2
70～74	123	2.1	26	85	12	9	7.3	8	88.9	0	0.00	0
75～79	17	0.3	2	13	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0
80～84	6	0.1	0	6	0	1	16.7	1	100.0	0	0.00	0
85～	4	0.1	1	3	0	2	50.0	2	100.0	1	25.00	0
計	5985	100.0	1166	4120	699	255	4.3	195	76.5	9	0.15	32
【女】												
～29	85	2.2	47	33	5	2	2.4	1	50.0	0	0.00	1
30～34	168	4.3	71	84	13	7	4.2	4	57.1	0	0.00	2
35～39	370	9.6	144	189	37	15	4.1	10	66.7	0	0.00	4
40～44	573	14.8	142	350	81	23	4.0	18	78.3	0	0.00	6
45～49	778	20.1	145	516	117	27	3.5	21	77.8	1	0.13	10
50～54	771	19.9	129	525	117	29	3.8	22	75.9	0	0.00	7
55～59	605	15.6	107	420	78	26	4.3	21	80.8	0	0.00	9
60～64	341	8.8	57	246	38	14	4.1	12	85.7	1	0.29	7
65～69	112	2.9	21	77	14	5	4.5	5	100.0	0	0.00	0
70～74	56	1.4	9	37	10	5	8.9	5	100.0	0	0.00	3
75～79	7	0.2	3	3	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0
80～84	3	0.1	1	1	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0
85～	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0
計	3870	100.0	876	2482	512	153	4.0	119	77.8	3	0.08	23

5- (4) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [検診友の会等]

対象検診期間： 平成31年04月01日～令和2年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	受診歴 回数	1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	大腸がん		精 検 率 (%)		結 果 腺腫	その他 隆起	その他 異常なし	
											率 (%)	うち早期がん	率 (%)	うち早期がん				
【男】																		
～29	7	3.2	6	1	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
30～34	18	4.2	8	1	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
35～39	18	8.3	12	4	2	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
40～44	25	11.6	8	8	2	1	5.6	1	100.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
45～49	13	6.0	4	14	7	3	12.0	1	33.3	0.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0
50～54	30	13.9	6	8	1	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
55～59	20	9.3	5	19	5	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
60～64	19	8.8	5	14	1	1	5.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
65～69	19	8.8	2	16	8	2	10.5	1	50.0	0.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0
70～74	23	10.6	6	14	3	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
75～79	13	6.0	3	9	1	3	23.1	2	66.7	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
80～84	2	0.9	2	0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	216	100.0	71	116	29	10	4.6	5	50.0	0.0	0	0.00	0	0.00	3	0	0	2
【女】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
30～34	4	2.4	2	1	1	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
35～39	20	11.9	11	5	4	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
40～44	14	8.3	3	10	1	3	21.4	3	100.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	1	0	2
45～49	13	7.7	1	5	7	2	15.4	2	100.0	0.0	0	0.00	0	0.00	2	0	0	0
50～54	11	6.5	2	8	1	1	9.1	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
55～59	17	10.1	2	12	3	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
60～64	16	9.5	3	11	2	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
65～69	19	11.3	2	13	4	1	5.3	1	100.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	1	0	0
70～74	24	14.3	4	13	7	2	8.3	2	100.0	0.0	0	0.00	0	0.00	2	0	0	0
75～79	20	11.9	3	15	2	1	5.0	1	100.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
80～84	5	3.0	0	3	2	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	5	3.0	0	5	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	168	100.0	33	101	34	10	6.0	9	90.0	0.0	0	0.00	4	0.00	2	0	0	3

5- (5) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [総合計]

対象検診期間：平成31年04月01日～令和2年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	受診歴 1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 受診数	精検査受診率 (%)	大腸がん		うち早期がん		精 率(%)	結 果 腺腫	その他 隆起	その他 異常なし	
										大腸がん	率(%)	うち早期がん	率(%)					
【男】																		
～29	92	0.6	47	40	5	4	4.3	3	75.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	1	
30～34	221	1.4	78	128	15	6	2.7	4	66.7	0	0.00	0	0.00	0	0	2	2	
35～39	599	3.7	211	345	43	13	2.2	12	92.3	0	0.00	0	0.00	0	3	4	5	
40～44	1530	9.4	599	749	182	51	3.3	36	70.6	0	0.00	0	0.00	9	8	2	17	
45～49	1979	12.1	452	1151	304	87	4.4	59	67.8	2	0.10	2	0.10	25	4	13	15	
50～54	1835	11.3	405	1107	323	73	4.0	51	69.9	1	0.05	0	0.00	31	6	4	9	
55～59	1772	10.9	326	1145	301	87	4.9	70	80.5	4	0.23	3	0.17	37	11	8	10	
60～64	1571	9.6	365	954	252	106	6.7	86	81.1	11	0.70	9	0.57	42	6	11	16	
65～69	2321	14.2	530	1392	399	166	7.2	140	84.3	16	0.69	11	0.47	78	12	19	15	
70～74	2530	15.5	346	1757	427	189	7.5	155	82.0	11	0.43	9	0.36	92	13	22	17	
75～79	1192	7.3	76	892	224	87	7.3	75	86.2	3	0.25	2	0.17	41	10	12	9	
80～84	505	3.1	23	380	102	49	9.7	42	85.7	5	0.99	0	0.00	19	4	6	8	
85～	157	1.0	8	122	27	17	10.8	12	70.6	1	0.64	1	0.64	5	1	3	2	
計	16304	100.0	3538	10162	2604	935	5.7	745	79.7	54	0.33	37	0.23	379	79	107	126	
【女】																		
～29	85	0.4	47	33	5	2	2.4	1	50.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1	
30～34	180	0.8	80	86	14	8	4.4	4	50.0	0	0.00	0	0.00	2	0	0	2	
35～39	424	2.0	184	197	43	16	3.8	11	68.8	0	0.00	0	0.00	2	2	3	4	
40～44	2135	10.0	1086	722	327	83	3.9	69	83.1	2	0.09	1	0.05	21	11	11	24	
45～49	2689	12.6	741	1203	745	82	3.0	65	79.3	3	0.11	3	0.11	12	12	10	28	
50～54	2642	12.4	574	1321	747	100	3.8	83	83.0	2	0.08	1	0.04	23	8	20	30	
55～59	2390	11.2	512	1294	584	86	3.6	73	84.9	1	0.04	1	0.04	30	3	14	25	
60～64	2526	11.8	514	1330	682	92	3.6	83	90.2	10	0.40	7	0.28	29	6	18	20	
65～69	3189	14.9	465	1914	810	125	3.9	107	85.6	6	0.19	4	0.13	53	14	12	22	
70～74	3147	14.7	308	2066	773	150	4.8	128	85.3	8	0.25	3	0.10	47	20	17	36	
75～79	1401	6.6	83	942	376	84	6.0	78	92.9	3	0.21	2	0.14	41	8	8	18	
80～84	436	2.0	22	305	109	35	8.0	28	80.0	2	0.46	1	0.23	10	6	6	4	
85～	127	0.6	12	88	27	9	7.1	5	55.6	1	0.79	0	0.00	2	0	1	1	
計	21371	100.0	4628	11501	5242	872	4.1	735	84.3	38	0.18	23	0.11	272	90	120	215	

5- (6) 大腸がん精検機関別精検受診数 (令和1年度)

		精 検 機 関			総 計
		大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関		
地 域	X線受診	0	0	0	
	内視鏡受診	0	1,052	1,052	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	98 ( 100.0 )	98 ( 100.0 )	
職 域	X線受診	0	1	1	
	内視鏡受診	1	309	310	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	1 ( 0.3 )	3 ( 99.7 )	3 ( 100.0 )	
検診友の会等	X線受診	0	0	0	
	内視鏡受診	0	14	14	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 ( 0.0 )	0 ( 100.0 )	0 ( 100.0 )	
合 計	X線受診	0	1	1	
	内視鏡受診	1	1,375	1,376	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	1 ( 0.1 )	101 ( 99.9 )	101 ( 100.0 )	
			1,477	1,478	

5-1 (7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関 (令和1年度)

市町村名	要精検査数	精検査受診数(率)	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	28	27 ( 96.4 )	0	22	0	0	5
能勢町	27	24 ( 88.9 )	0	7	4	0	13
吹田市	94	78 ( 83.0 )	0	14	15	27	22
摂津市(車)	3	2 ( 66.7 )	0	0	2	0	0
摂津市(施設)	2	2 ( 100.0 )	0	0	1	0	1
門真市	26	15 ( 57.7 )	0	1	8	1	5
四條畷市	1	1 ( 100.0 )	0	0	0	1	0
大東市	3	3 ( 100.0 )	0	0	0	1	2
八尾市(施設)	4	4 ( 100.0 )	0	1	0	3	0
柏原市	60	43 ( 71.7 )	0	19	9	12	3
柏原市(施設)	8	8 ( 100.0 )	0	1	1	5	1
松原市	132	102 ( 77.3 )	0	2	53	38	9
羽曳野市	147	137 ( 93.2 )	0	33	48	48	8
羽曳野市(施設)	9	8 ( 88.9 )	0	0	1	6	1
藤井寺市	145	133 ( 91.7 )	0	34	8	81	10
藤井寺市(施設)	1	0 ( 0.0 )	0	0	0	0	0
太子町	20	20 ( 100.0 )	0	2	13	4	1
千早赤阪村	14	14 ( 100.0 )	0	5	6	1	2
千早赤阪村(施設)	1	1 ( 100.0 )	0	0	0	0	1
河内長野市	35	32 ( 91.4 )	0	18	2	0	12
泉大津市	116	92 ( 79.3 )	0	58	17	12	5
高石市	63	51 ( 81.0 )	0	6	21	23	1
高石市(施設)	3	3 ( 100.0 )	0	0	0	3	0
貝塚市	63	53 ( 84.1 )	0	37	8	1	7
熊取町	52	47 ( 90.4 )	0	23	15	1	8
泉南市	81	57 ( 70.4 )	0	18	20	16	3
阪南市	86	72 ( 83.7 )	0	44	10	0	18
岬町	26	22 ( 84.6 )	0	6	12	2	2
大坂市	65	55 ( 84.6 )	0	13	18	16	8
大坂市国保(トック)	7	3 ( 42.9 )	0	0	2	1	0
大坂市国保(無料トック)	16	12 ( 75.0 )	0	3	4	3	2
大坂市国保(特定トック)	41	31 ( 75.6 )	0	6	14	5	6
合計	1,379	1,152 ( 83.5 )	0	373	312	311	156

(註) 公的病院に大学附属病院を含む

## 編 集 後 記

2019年5月から、年号が平成から令和へと変わりました。その年末から、中国武漢市から端を発した新型コロナウイルス感染症が出現し、翌年からあっという間に拡がりパンデミックを引き起こしました。現在も、未だ収束がみられず、今後のワクチン接種の普及に期待される所です。

さて、令和元年度は、第2期中期（5年）経営計画（H31（R1）～R2）の3年目にあたります。その中で公益財団法人として、がんならびに循環器疾患の予防に関する、さらなる専門性の向上と受診者へのサービス充実に向けた効率的かつ効果的な事業の展開ならびに法人経営の自立化を目指しております。

令和元度は、検診の肝になる検診システムの新規導入を行いました。また、内視鏡機器も更新しました。

施設におきましては、5がん（胃、大腸、肺、乳、子宮）を中心に、きっちりとした精度管理の下、がん検診を行うとともに、より侵襲の低い治療で根治できるよう、早期がん発見のために、造影エコー検査・大腸CT検査などの新たな検査法や子宮頸がん前がん病変のレーザー治療などの導入にも積極的に取り組んでおります。

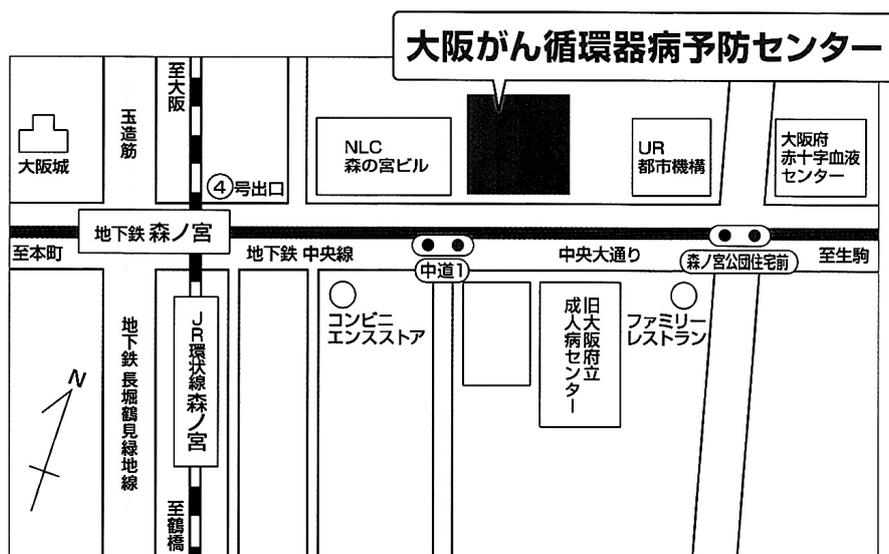
一方、健康で豊かな超高齢社会の実現に向けて、生活習慣病予備群の早期発見とその予防のための日常生活の指導が重要です。保健指導、特定保健指導を健診当日に受けていただけるよう努めてまいります。また、ビッグデータの解析を通じて、大阪府民の方々の健康寿命の延伸に役立つような情報の提供も行っております。

がん予防検診部門と循環器病予防部門が一体となり、精度の高い検診を行うための技術の向上、受診者に喜んでいただけるような温かい検診の提供に日々努めております。

私共の令和元年度の業績をまとめましたので、ご高覧頂けましたら幸いです。

令和3年5月

公益財団法人 大阪府保健医療財団  
大阪がん循環器病予防センター  
所長 伊藤 壽記



<交通>

- JR環状線「森ノ宮」下車 北出口
- 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車 ④号出口  
東へ徒歩2分

## 事業年報（令和元年度）

発行日 令和3年5月  
 編集・発行 大阪がん循環器病予防センター  
 〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号  
 TEL 06(6964)0666(代)  
 FAX 06(6964)0665  
 URL <http://www.osaka-ganjun.jp>

印刷所 石川特殊特急製本株式会社

ISSN 2188-0093

